令 和 5 年 度

病　院　年　報

地方独立行政法人　堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

理　　念

すべての患者さんの権利と人格を尊重し、安心・安全で心の通う医療を提供します。

憲　　章

一、思いやりとふれあいの心がかよう人間尊重の医療サービスを提供します。
一、安心と満足を与え、信頼が得られる医療サービスを提供します。
一、医療機関との連携を基本として、きめ細かい医療サービスを提供します。
一、常に医療水準の向上に努め、専門的かつ高度な医療サービスを提供します。
一、地域の中核病院としての役割を認識し、効果的で効率的な医療サービスを提供します。

患者さんの権利に関する宣言

すべての患者さんは個人として人格を尊重され、医療の中心は患者さんである、という理念のもとに最善の医療を受ける権利をもっています。「患者さん中心の医療」を実践するために、患者さんには次の権利があることを宣言します。

1. 平等に医療を受ける権利

患者さんは、社会的地位、民族、国籍、宗教、信条、性、障害の有無などに関わらず、最善の医療を平等に受ける権利があります。

2. 十分な説明と情報を得る権利

患者さんは、わかりやすい言葉や方法で、十分理解し納得できるまで医療に関する説明や情報の提供を受ける権利があります。

3. 自己決定する権利

患者さんは、提供された情報と医療従事者の説明をよく聞き理解したうえで、自分の意志で検査や治療などの医療を受けるか受けないかを決める権利があります。別の医療機関の意見を聞きたい場合は、検査結果の提供を受けたり、紹介状の発行をしてもらうことができます。

4. 自分の受けた医療について知る権利

患者さんは、自分が受けた医療について知る権利があります。そのために、十分な説明を受けることができます。必要な場合には、診療記録の開示などを受けることもできます。

5. 個人情報が守られる権利

患者さんは、診療過程における個人情報を保護され、プライバシーを侵害されない権利があります。

6. 臨床研究に対象として参加するかどうかを自由に決める権利

患者さんは、臨床研究（患者さん自身を対象とした医学研究や開発途上にある治療の実施）に、その目的、方法、危険性などについて、十分に説明を受け理解した上で、研究対象として参加するかどうかを自由に決める権利があります。

以上のような権利を実現するためには、患者さんは自らの権利を自覚するとともに、納得できるまで質問することが大切です。また、医療従事者による医療提供や他の患者さんへの治療に支障を与えないようにする必要があります。

子どもの権利に関する宣言

公益社団法人日本小児科学会に定められている「医療における子ども憲章」に則って、医療における子どもに次の権利があることを宣言します。

1. 人として大切にされ、自分らしく生きる権利
2. 子どもにとって一番良いこと（子どもの最善の利益）を考えてもらう権利
3. 安心・安全な環境で生活する権利
4. 病院などで親や大切な人といっしょにいる権利
5. 必要なことを教えてもらい、自分の気持ち・希望・意見を伝える権利
6. 希望どおりにならなかったときに理由を説明してもらう権利
7. 差別されず、こころやからだを傷つけられない権利
8. 自分のことを勝手にだれかに言われない権利
9. 病気のときにも遊んだり勉強したりする権利
10. 訓練を受けたスタッフから治療とケアを受ける権利
11.今だけでなく将来も続けて医療やケアを受ける権利

目次

Ⅰ 病 院 の 沿 革 …… 1

Ⅱ 病 院 の 現 状

概　　要 …… 8

病 院 配 置 図 …… 9

組　織　図 …… 11

Ⅲ 経　理　状　況

決 算 報 告 書 …… 13

貸 借 対 照 表 …… 14

損 益 計 算 書 …… 16

Ⅳ 業　務　状　況

入院患者延数（科別）…… 17

外来患者延数（科別）…… 17

平均在院日数（科別）…… 18

救急搬送受入件数（救急隊別）…… 18

新　入　院（科別）…… 19

病　院　新　来（科別）…… 19
総合内科・内科 …… 20
血　液　内　科 …… 20
腎　臓　内　科 …… 20
糖尿病・内分泌・代謝内科…… 20
呼 吸 器 内 科 …… 20
消 化 器 内 科 …… 20
循 環 器 内 科 …… 20
脳 神 経 内 科 …… 20
心　療　内　科 …… 20
小　　児　　科 …… 21
がんセンター …… 21
外 科 統 括 部 …… 21
胃 食 道 外 科 …… 21
大腸肛門外科 …… 21
肝 胆 膵 外 科 …… 21
乳腺・内分泌外科…… 21
呼 吸 器 外 科 …… 21
救 命 救 急 科 …… 21
整　形　外　科 …… 22
脳 神 経 外 科 …… 22
心臓血管外科 …… 22
皮　　膚　　科 …… 22
形　成　外　科 …… 22
泌　尿　器　科 …… 22
産　婦　人　科 …… 22
アイセンター …… 23
耳鼻咽喉科・頭頸部外科…… 23
歯科口腔外科 …… 23
放射線治療科 …… 23
放射線診断科・放射線技術科…… 23
病 理 診 断 科…… 23
麻　　酔　　科 …… 23
診療科別手術室件数…… 24
臨床検査技術科 …… 24
薬　　剤　　科 …… 24

リハビリテーション科…… 24
臨 床 工 学 科 …… 24
栄 養 管 理 科 …… 25
看　　護　　局 …… 25
病床管理センター…… 25
救命救急センター…… 25
集中治療センター…… 25
予 防 健 診 科 …… 25

Ⅴ 研　究　研　修
原著・総説・著書 …… 26
学会研究会報告 …… 35
学　術　講　演 …… 48
院内研究活動 …… 52

Ⅰ　病院の沿革

病　院　の　沿　革

大正 12年	7月	堺市宿院町東3丁に堺市立公民病院として開設(内科、外科、産婦人科、放射線科)
14年	7月	堺市立公民病院施設拡張工事完了
昭和 2年	5月	附属看護婦養成所を設置(昭和26年3月閉鎖)
	6月	健康保険法に基づく患者取扱いを開始
6年	8月	夜間診療開始
8年	5月	市立堺市民病院と改称し、小児科を新設
9年	6月	火災により焼失、材木町に臨時診療所を開設
9年	9月	関西大風水害にて臨時診療所被災
11年	8月	市立堺市民病院処務規程制定
13年	9月	堺宿院町西2丁1番1号に市立堺市民病院を再建(鉄筋コンクリート3階建及び木造診療棟)
	12月	耳鼻咽喉科、眼科を新設、市立堺予防(性病)診療所を院内に開設
19年	9月	市立堺市民病院の木造建築物(1階小児科・産婦人科・2階看護婦寄宿舎)強制疎開のため撤去
20年	7月	戦火による損傷が甚だしく、府立堺中学校(現府立三国丘高等学校)内に仮診療所を設置
20年	10月	東館が復旧、診療を開始
21年	3月	七道西町に分院を開設(昭和23年3月閉鎖)
22年	5月	歯科を新設
	6月	市立堺花柳病診療所を院内に開設
23年	7月	結核病棟を増築(52床)
	10月	看護婦寄宿舎(木造平屋建)新築工事竣工
24年	12月	中館の増築工事起工
25年	7月	皮膚泌尿器科を新設
	9月	ジェーン台風により被災、病院で救護班を編成し出動
26年	4月	市立堺病院と改称、中館(鉄筋コンクリート3階建)が完成
	6月	病院運営円滑化のため医長会(幹部会)発足
	9月	市立堺病院において全国公立病院長会議を開催
27年	6月	夜間診療開始
	8月	東光学園(土塔町)内に市立堺病院東百舌鳥診療所を開設(昭和33年5月閉鎖)
28年	1月	性病診療所を堺市保健所内に移設
	7月	病院創立30周年記念式挙行
29年	4月	附属准看護婦養成所を再開(昭和34年3月閉鎖)
	5月	完全看護・完全給食を実施するためインターホンを設置
	10月	給食場(鉄筋コンクリート平屋建て)を増築、完全看護・完全給食を実施
31年	9月	西看護婦宿舎(鉄筋コンクリート4階建て)完成
32年	4月	西館(鉄筋コンクリート3階建)及び併設伝染病棟(鉄筋コンクリート3階建)完成
	8月	医療法に基づく総合病院となる
33年	9月	基準看護・基準給食・基準寝具を実施
	11月	伝染病棟のうち3階部分(28床)を一般病棟に空床利用
35年	12月	東館4階部分の増築工事完成
36年	4月	企業会計方式採用(地方公営企業法　財務規定適用)
	9月	機構改革により、従来の医局、薬局、事務局を診療局と事務局の二局とし、 診療局を部長制に、事務局に庶務課と業務課の二課を新設
37年	10月	整形外科を新設、皮膚泌尿器科を皮膚科、泌尿器科に分科
39年	6月	中館・西館渡り廊下を設置
40年	11月	中館と西館の間の道路敷無償取得

41年	10月	レントゲンテレビ装置を設置
42年	5月	伝染病棟を12床増床（合計72床）
	8月	増改築第1期工事完成（内科待合室完成、応急ベット8床増設）
43年	8月	大阪府赤十字血液センター堺出張所開設（昭和60年4月閉鎖）
	8月	結核病棟廃止、一般病床に転用
	9月	増改築第2期工事完成（玄関ホール、中央検査室改築）
		病棟の冷房実施
44年	2月	中央手術部独立
	4月	院内学級を開設（堺市立浅香山養護学校、昭和50年8月府立泉北養護学校に変更、平成9年4月堺市教育委員会に変更）
	7月	外来診療棟の冷房実施
	8月	人工透析室を新設（コルフ型）
	10月	人工透析装置を増設（キール型）
	12月	大阪府救急医療ブロックセンターとなる
45年	2月	救急告示病院（25床）
	3月	東看護婦宿舎、地下駐車場完成
	7月	全館冷暖房実施
	9月	小児科・耳鼻咽喉科待合室、シンチレーションカメラ室、リハビリ室完成
	12月	院内保育所を設置（平成11年3月廃止）
46年	9月	第2レントゲンテレビ室完成、装置増設
47年	2月	特類看護実施
	4月	臨床研修病院に指定
	9月	大町職員宿舎、一般会計より移管
49年	2月	運動療法施設基準所得
	3月	リニアック棟完成
	8月	セントラルパイピング工事完成
	10月	特Ⅱ類看護実施
50年	4月	コンピューターによる薬品管理事務を開始
	8月	レントゲンテレビジョン装置取替え
51年	4月	伝票会計方式採用
52年	8月	市立堺病院運営審議会を設置
	12月	血液ガス分析装置導入
53年	1月	市立堺病院運営審議会より「市立堺病院の運営のあり方について」の中間答申
54年	3月	市立堺病院運営審議会より「市立堺病院の運営のあり方」について最終答申
		西新館（鉄筋コンクリート3階建）完成
55年	7月	電子走査型超音波診断装置設置
56年	1月	電子顕微鏡設置
	10月	重症者の看護及び重症者の収容基準実施
57年	3月	全身用コンピューター断層撮影装置を設置
	6月	市内9病院の輪番制による二次救急診療実施
	12月	全自動成分採血装置設置
58年	11月	リニア電子走査形超音波診断装置設置
59年	12月	「市立堺病院改築検討試料報告書」作成
60年	3月	市立堺病院建設基金条例制定
		循環器X線撮影装置設置
	4月	コンピューターによる外来会計業務開始

60年	11月	コンピューターによる入院会計業務開始
61年	3月	生化学自動分析装置設置
	4月	伝染病棟2階、3階部分（54床）を空床利用
	9月	時間外診療体制の充実
62年	7月	神経内科標榜
63年	4月	事務局に病院建設準備担当を設置
		コンピューターによる薬剤管理業務開始
	7月	「市立堺病院移転新築基本構想」策定
	9月	市立堺病院建設用地決定（堺市南安井町1丁1番）
平成　元年	8月	市立堺病院建設計画専門委員を設置
2年	4月	看護部を診療局から分離
	10月	コンピューターによる給食管理業務開始
		放射線CR装置設置
3年	4月	病院建設室を設置（病院建設準備担当を格上げ）
		4週6休制実施
	6月	病院建設に関する増床許可申請が認可される
	10月	コンピューターによる入院調剤業務開始
4年	4月	特Ⅲ類看護（東1、東4、西2）実施
	11月	特Ⅲ類看護（中2、西3）実施
5年	3月	新病院建設工事着工
	4月	週休2日制実施
		コンピューターによる放射線受付業務開始
		FAXによる地域医療連携予約システムの開始
	7月	神経内科部（昭和62年7月標榜済）　麻酔科部（平成8年4月標榜）を設置
6年	1月	入院調剤技術基本料認可（投薬の施設基準）
	3月	病院70年誌発行
	8月	電算研修室（オーダリング入力研修室）完成
	11月	新看護実施（2:1、A加算）
	12月	給食オーダリングシステム開始
7年	1月	阪神淡路大震災医療救護班派遣（平成7年3月まで）
	12月	エイズ拠点病院に指定
8年	1月	中央検査室オーダリングシステム開始
	3月	市立堺病院憲章制定（平成8年10月実施）
		新病院定礎式実施
		外来カルテA版化導入
	4月	事務局機構改革（医事業務一部委託、給食調理業務全面委託、洗濯業務全面委託
		設備管理業務一部委託、宿日直業務全面委託、建設室を開院準備担当に変更
		経営企画課新設、庶務課を総務課に変更）
		麻酔科標榜
	8月	永代宿舎完成入居開始
	9月	新病院竣工内覧会実施
	10月	堺市南安井町1丁1番1号に新病院を開設
		一般480床　伝病20床　計500床
		脳神経外科標榜
		機構改革（診療局に医局部、中央部、薬剤・技術部設置、看護部→看護局に
		外来看護科、中央看護科、病棟看護科設置、開院準備担当を解散）

8年	12月	少林寺宿舎完成　入居開始
9年	3月	災害拠点病院に指定
	7月	市民健康教育講座開設
10年	3月	(財)日本医療機能評価機構から一般病院種別Bの認定を受ける
		(認定期間　平成10年3月9日から平成15年3月8日まで)
	4月	耳原総合病院の臨床研修指定病院連携病院となる
		医療業務マニュアル発行
	11月	院内学術雑誌創刊号発行
11年	3月	職場保育所廃止(既受付済者への経過措置有　12年3月完全廃止)
	4月	伝病法の改正により伝病廃止
		感染症病床　1類1床、2類12床(一般480床　感染症13床　計493床)
		投書箱設置
12年	4月	経営企画課廃止、診療局に医療情報科設置
	6月	看護相談室開設
	7月	ICU病棟改装(3床室1室をカンファレンスルームに、旧伝病3室をICU1床室3室に)
		病院ボランティア制度導入開始(市立堺病院ボランティアグループ　もず)
13年	5月	院内全面禁煙実施・院内喫煙所全廃・屋外喫煙所の設置
	10月	医薬分業開始・院外処方せん相談窓口の開設(堺市薬剤師会)
		外来会計方法の変更(平均待時間30分前後から10分前後に短縮)
14年	4月	組織改正(診療局に第一診療部・第二診療部を設置、内科の臓器別診療体制を実施、
		看護局職名変更(婦長→看護主幹、管理婦長→看護科長)
		(注:法律上の名称(看護婦→看護師、等)は14年3月に変更)
		新病院5周年記念誌「市立堺病院の臨床と実績」発行
	9月	外来化学療法の実施
15年	4月	電子カルテ化に向けた新しい診療支援システムの一部稼働
		消化器科、循環器科、呼吸器科を標榜
		感染症病棟・病室(陰圧室)の換気回数強化工事施工(SARS対策)
	8月	(財)日本医療機能評価機構から継続認定(一般病院)を受ける
		(認定期間　平成15年3月9日から平成20年3月8日まで)
	10月	新医師臨床研修制度による管理型臨床研修病院に指定
16年	1月	「患者さんの権利に関する宣言」制定
	4月	機構改革(医療情報科廃止、事務局に経営企画課設置。事務局内各課グループ制導入)
		女性外来開設
	5月	新制度による研修医受入
	10月	電子カルテ本格稼働
		乳がん検診(マンモグラフィ併用)実施
17年	7月	敷地内指定場所以外禁煙実施
	10月	乳腺センター、脳脊髄神経センター開設
18年	4月	敷地内禁煙実施
	7月	DPC実施
		HCU開設
	10月	がんセンター、循環器病センター、消化器病センター開設
19年	1月	DMAT(災害派遣医療チーム)発足
		外来化学療法室を外来化学療法センターに拡充
	4月	医療サポートセンターの組織新設
	6月	7対1一般病棟入院基本料実施

19年	7月	眼科診療の休診
	8月	関西国際空港における医療救護活動に関する協定書の締結
20年	4月	新病院建設準備室の組織新設
	8月	(財)日本医療機能評価機構より一般(審査体制区分3)の認定の更新を受ける
		(認定期間　平成20年3月9日から平成25年3月8日まで)
	12月	新病院基本構想発表
21年	4月	大阪府がん診療拠点病院に指定
	10月	眼科診療を紹介予約制で再開
22年	11月	地方独立行政法人への移行を発表
		新病院設備基本計画策定
22年	12月	地方独立行政法人堺市立病院機構定款が堺市議会において可決
23年	3月	東北地方太平洋沖地震の被災者支援のためDMAT(災害派遣医療チーム)を派遣
	6月	ドクターカー運用開始
	7月	頭頸部外科標榜
	10月	電子カルテシステムの更新
		形成外科標榜
	11月	市立堺病院後利用事業者を医療法人清恵会に決定
		地域医療支援病院の承認を受ける
		新病院基本設計業務完了
24年	1月	リハビリテーション科標榜
	4月	地方独立行政法人への移行
		地方独立行政法人　堺市立病院機構　市立堺病院と改称
		腎臓・代謝内科、血液内科、臨床検査科、救急科標榜
		放射線科から放射線治療科、放射線診断科標榜変更
25年	3月	(財)日本医療機能評価機構より一般(審査体制区分3)の認定の更新を受ける
		(認定期間　平成25年3月9日から平成30年3月8日まで)
		「地域医療連携業務」の土曜日窓口の開始
		消費税法改正に伴う保険適用外の料金改定
	6月	入院センターの設置
	7月	院内保育所ぞうさん開所
	8月	病院開院90周年式典・講演会・発表会開催
26年	2月	職員厚生会設立総会 兼 開院90周年記念パーティー
	3月	看護方式変更について(PNS導入)
	4月	感染症病床　1類1床、2類6床(一般480床　感染症7床　計487床)
	5月	病理診断科標榜
	8月	地域がん診療連携拠点病院に指定
	10月	臨床教育支援センターの設立
27年	6月	ゆるキャラ(エバちゃん、ラジくん)の誕生
	7月	地方独立行政法人　堺市立病院　堺市立総合医療センターと改称
		西区家原寺町1丁1番1号へ移転
		三次救急医療機関に認定
		心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科標榜
		手術支援ロボット「da Vinci(ダビンチ)Xi」の導入
		院内保育所「ぞうさん」開所
		「わくわくるーむ(プレイルーム)」設置
		がん患者・家族サロン「なないろ」設置
		「シミュレーションセンター」設置

28年	4月	熊本地震の被災者支援のためDMAT（災害派遣医療チーム）派遣
	5月	NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）による外部評価認定を受ける
	7月	登録医総会の開催（第1回）
29年	4月	多職種チーム医療を実現するための診療センター化を構築
		初期研修医地域研修の見直し（僻地から市内へ）
	6月	患者用送迎バス路線拡大（1路線⇒3路線）
30年	3月	（財）日本医療機能評価機構より一般(審査体制区分3）の認定の更新を受ける
		（認定期間　平成30年3月9日から令和5年3月8日まで）
	4月	DPCⅡ群（特定病院群）病院に認定
		感染症内科標榜
	6月	大阪北部地震へのDMAT（災害派遣医療チーム）派遣
	10月	神経内科を脳神経内科に標榜科名変更
		腎臓・代謝内科を腎臓内科に標榜科名変更
		糖尿病内科、リウマチ科、膠原病内科、緩和ケア内科標榜
		緩和ケアセンター開設
		電子カルテシステムの更新
	11月	大阪府難病診療連携拠点病院に指定
31年	4月	ピロリ菌外来開設
令和　元年	5月	大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関に認定
	6月	G20大阪サミット対応
	8月	IVRセンター設置
	10月	遺伝カウンセリング外来開設
	11月	がんゲノムセンターをゲノムセンターへ名称変更
		遺伝診療科標榜
	12月	難病センター設置
2年	2月	新型コロナウイルス感染症対策本部設置
		新型コロナウイルス感染症入院患者初受入
	3月	新型コロナウイルス感染症患者受入要請への協力
		ドクターカーの更新
	4月	疾病予防管理センター設置
		救命救急センターの充実段階評価（令和元年度分）S評価取得
		新型コロナウイルス感染症患者専用病棟運用開始
		帰国者・接触者外来運用開始
		院内LAMP検査開始
	5月	新型コロナウイルス感染症トリアージ病院運用開始
		NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）による外部評価認定を受ける
	7月	1階救命救急センター病棟（HCU）設置
		大阪府より「大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関」に指定
	8月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生医療機関へのDMAT派遣
	10月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生医療機関へのDMAT派遣
	12月	地域外来・検査センターの建設および運用開始
3年	3月	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種開始
		大阪府より「令和2年度おおさかストップ温暖化　特別賞」を受賞
		新型コロナウイルス感染症対策として陰圧個室増床
	4月	腫瘍内科設置
	6月	糖尿病内科を糖尿病・内分泌・代謝内科に標榜科名変更
		地域連携ICT本稼働開始

3年	7月	新型コロナウイルス感染症カクテル療法ロナプリーブ開始
	8月	新型コロナウイルス感染症陽性者外来開始
	9月	CGA外来開始
4年	1月	産後ケア病床運用の開始
	3月	6階東病棟にSCU設置
		国際規格ISO15189の認定
		新型コロナウイルス感染症小児ワクチン接種開始
		関西大学人間健康学部と包括連携協定を締結
	4月	「医療機関と産学官民との連携による複合的フレイル予防の試行に関する調査研究事業」が厚生労働省令和4年度老人保健健康増進等事業に採択
5年	2月	(公財)日本医療機能評価機構より一般病院2(3rdG:Ver.2.0)の認定の更新を受ける(認定期間　令和5年3月9日から令和10年3月8日まで)
	7月	創立100周年
6年	1月	能登半島地震被災者支援のためDMAT(災害派遣医療チーム)派遣(1隊目)
	2月	能登半島地震被災者支援のためDMAT(災害派遣医療チーム)派遣(2隊目)

Ⅱ　病 院 の 現 状

概　　要

施　設　概　要

所在地:大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

敷地及び建築延面積(単位:㎡)

	敷　地　面　積	建　築　面　積	延　床　面　積
病　　院	19,693.47	9,771.50	41,680.20
宿　　舎	5,257.66	1,151.98	2,971.07

診　療　科　目

内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病・内分泌・代謝内科／リウマチ科／
膠原病内科／血液内科／脳神経内科／感染症内科／緩和ケア内科／外科／心臓血管外科／消化器外科／
乳腺・内分泌外科／呼吸器外科／脳神経外科／整形外科／形成外科／産婦人科／小児科／眼科／
耳鼻咽喉科／頭頸部外科／皮膚科／泌尿器科／歯科口腔外科／放射線治療科／放射線診断科／麻酔科／
臨床検査科／病理診断科／リハビリテーション科／救急科

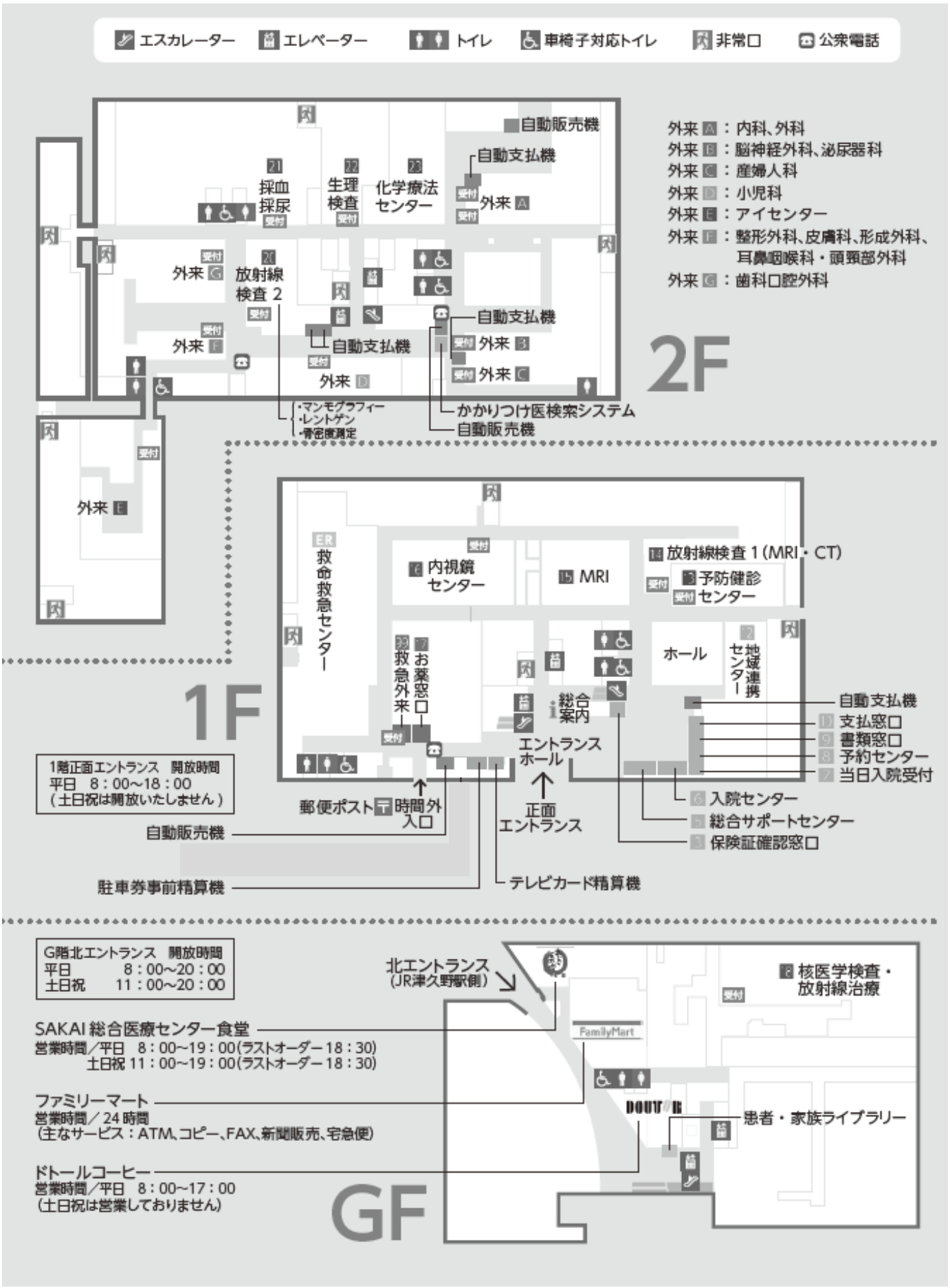
病　　床　　数

一　　般	480床
感　染　症	7床
計	487床

各種指定等（令和6年3月31日現在）

- 保険医療機関
- 労災保険指定医療機関
- DPC特定病院群
- 地域医療支援病院
- 生活保護法等に関する指定医療機関
- 救急医療機関
- 大阪府指定三次救急医療機関
- 臨床研修指定病院
- 外国人医師修練施設
- 外国医師歯科医師臨床修練指定病院
- 災害拠点病院
- 難病の患者に対する医療等の指定医療機関
- 大阪府難病診療連携拠点病院
- 指定小児慢性特定疾病医療機関
- 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
- 指定自立支援医療機関（腎臓・口腔・心臓）
- 母体保護法指定施設
- 児童福祉施設（助産施設）
- 地域がん診療連携拠点病院
- がんゲノム医療連携病院
- 大阪府小児地域医療センター
- 大阪府肝炎専門医療機関
- 感染症指定医療機関（第一種、第二種）
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関（内科・疑似症定点）
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関（小児科・疑似症定点）
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関（基幹・疑似症定点）
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関（眼科定点）
- 感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）
- 結核指定医療機関
- エイズ診療拠点病院
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法指定地方公共機関
- 被爆者一般疾病医療機関
- 管理栄養士を置かなければならない特定給食施設
- 大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関
- 不在者投票施設
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 卒後臨床研修評価機構認定病院

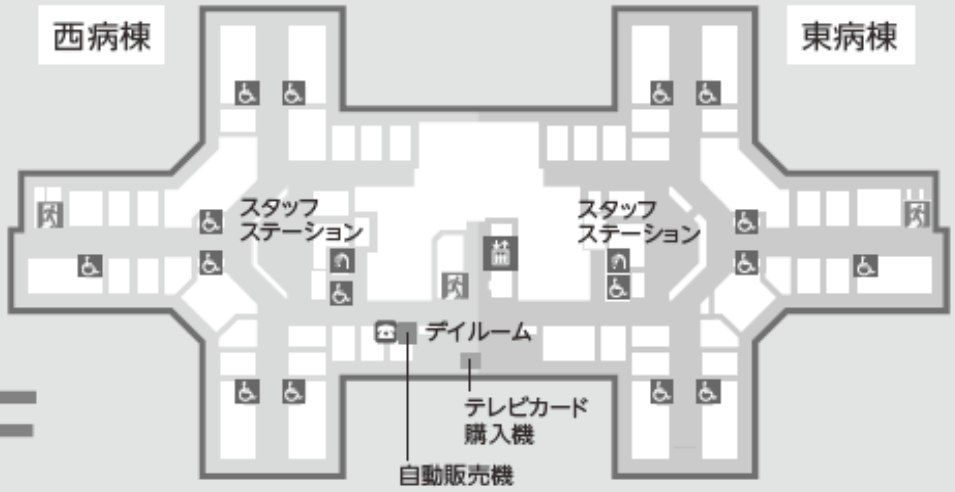
病院配置図（GF～9F）


エスカレーター
エレベーター
トイレ
車椅子対応トイレ
非常口
公衆電話
2F
外来 A：内科、外科
外来 B：脳神経外科、泌尿器科
外来 C：産婦人科
外来 D：小児科
外来 E：アイセンター
外来 F：整形外科、皮膚科、形成外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科
外来 G：歯科口腔外科
自動販売機
自動支払機
21 採血 採尿
22 生理検査
23 化学療法センター
外来 A
外来 G
20 放射線検査 2
外来 F
外来 B
外来 C
外来 D
・マンモグラフィー
・レントゲン
・骨密度測定
かかりつけ医検索システム
1F
外来 E
ER 救命救急センター
E 内視鏡センター
D MRI
14 放射線検査 1（MRI・CT）
3 予防健診センター
ホール
2 地域連携センター
救急外来
7 お薬窓口
総合案内
自動支払機
D 支払窓口
9 書類窓口
8 予約センター
7 当日入院受付
6 入院センター
5 総合サポートセンター
4 保険証確認窓口
エントランスホール
正面エントランス
郵便ポスト
時間外入口
自動販売機
駐車券事前精算機
テレビカード精算機
1階正面エントランス 開放時間
平日 8：00～18：00
（土日祝は開放いたしません）
GF
G階北エントランス 開放時間
平日 8：00～20：00
土日祝 11：00～20：00
北エントランス
（JR津久野駅側）
F 核医学検査・放射線治療
SAKAI 総合医療センター食堂
営業時間／平日 8：00～19：00（ラストオーダー 18：30）
土日祝 11：00～19：00（ラストオーダー 18：30）
FamilyMart
ファミリーマート
営業時間／24 時間
（主なサービス：ATM、コピー、FAX、新聞販売、宅急便）
DOUTOR
患者・家族ライブラリー
ドトールコーヒー
営業時間／平日 8：00～17：00
（土日祝は営業しておりません）

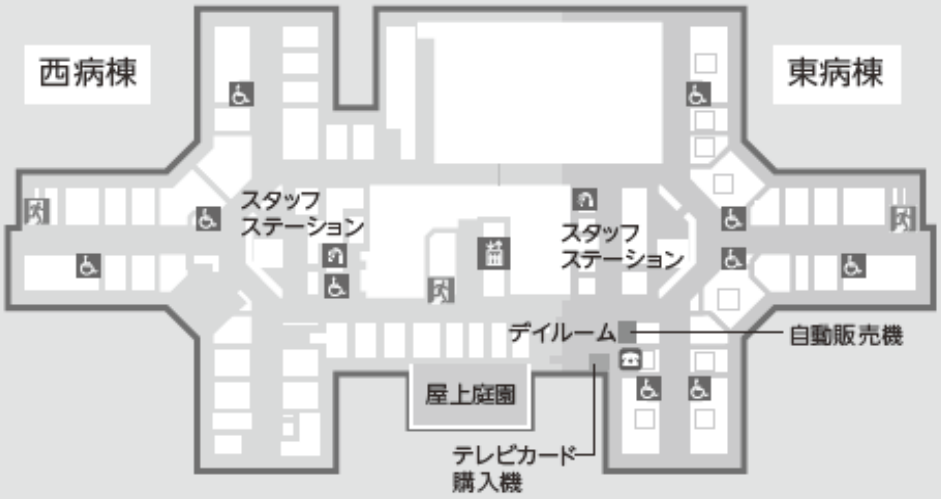
エスカレーター　エレベーター　トイレ　車椅子対応トイレ　非常口　公衆電話

非常時に備えあらかじめ避難口をご確認ください。また、非常時には病院スタッフの指示に従ってください。

6～9F



5F



3F

別表第１（法人の組織）１

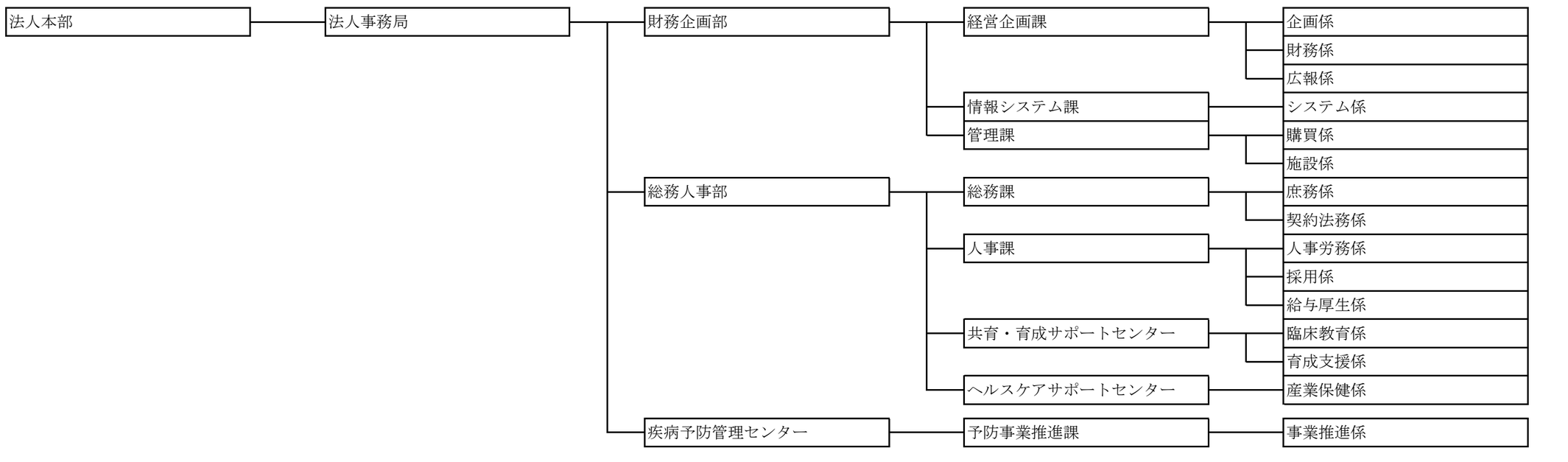
地方独立行政法人堺市立病院機構　組織図（全体）

令和５年８月１日改正

別表第１（法人の組織）２

※地方独立行政法人堺市立病院機構　組織図（法人本部）

令和５年８月１日改正



Ⅲ　経　理　状　況

令 和 5 年 度 決 算 報 告 書

地方独立行政法人堺市立病院機構　　（単位:円）

区　　分	予　算　額	決　算　額	差　　額 （決算額－予算額）	備　　考
収入				
営業収益	22,394,596,000	22,500,366,737	105,770,737	
医業収益	20,104,588,000	20,064,839,509	▲ 39,748,491	
運営費負担金	2,152,156,000	2,152,157,000	1,000	
その他営業収益	137,852,000	283,370,228	145,518,228	新型コロナウイルスに対応するための補助金による収益増
営業外収益	218,557,000	237,965,353	19,408,353	
運営費負担金	77,265,000	73,911,000	▲ 3,354,000	
その他営業外収益	141,292,000	164,054,353	22,762,353	目的外収入及び駐車場収入等による収益増
臨時利益	9,000,000	30,000	▲ 8,970,000	
資本的収入	760,000,000	522,926,600	▲ 237,073,400	
長期借入金	660,000,000	420,000,000	▲ 240,000,000	医療機器等の購入に当たり、一部自己資金から支出することとしたため
運営費負担金	100,000,000	100,000,000	0	
その他資本収入	0	2,926,600	2,926,600	
その他収入	0	0	0	
計	23,382,153,000	23,261,288,690	▲ 120,864,310	
支出				
営業費用	20,798,945,000	20,942,149,295	143,204,295	
医業費用	20,322,780,000	20,504,501,596	181,721,596	
給与費	9,794,236,000	10,030,703,401	236,467,401	
材料費	6,658,320,000	6,832,716,187	174,396,187	物価上昇によるもの
経費	3,755,107,000	3,552,929,316	▲ 202,177,684	契約見直しによるもの
研究研修費	115,117,000	88,152,692	▲ 26,964,308	WEB会議等への切替による減
一般管理費	476,165,000	437,647,699	▲ 38,517,301	
営業外費用	155,287,000	153,928,647	▲ 1,358,353	
臨時損失	15,405,000	0	▲ 15,405,000	
資本的支出	2,144,046,000	2,091,009,418	▲ 53,036,582	
建設改良費	863,234,000	811,398,435	▲ 51,835,565	
償還金	1,278,412,000	1,278,410,983	▲ 1,017	
投資	2,400,000	1,200,000	▲ 1,200,000	
その他支出	0	0	0	
計	23,113,683,000	23,187,087,360	73,404,360	
単年度資金収支（収入－支出）	268,470,000	74,201,330	▲ 194,268,670	

（注）損益計算書の計上額と決算額の相違の概要は、以下のとおりであります。

（1）損益計算書の営業収益に含まれている資産見返運営費負担金戻入及び資産見返補助金等戻入並びに資産見返寄附金戻入は、決算額に含まれておりません。

（2）損益計算書の減価償却費および固定資産除却損は、決算額には含まれておりません。

（3）上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

貸 借 対 照 表

（令和6年3月31日）

地方独立行政法人堺市立病院機構　　（単位：円）

科　　目				
資産の部				
Ⅰ　固定資産				
1　有形固定資産				
土地		3,047,666,896		
建物	15,749,118,362			
建物減価償却累計額	▲ 6,363,729,173	9,385,389,189		
構築物	549,012,466			
構築物減価償却累計額	▲ 325,268,071	223,744,395		
器械備品	11,138,705,573			
器械備品減価償却累計額	▲ 9,330,997,541	1,807,708,032		
車輌	60,653,825			
車輌減価償却累計額	▲ 41,748,276	18,905,549		
有形固定資産合計		14,483,414,061		
2　無形固定資産				
ソフトウェア		4,506,747		
施設利用権		37,414,145		
無形固定資産合計		41,920,892		
3　投資その他の資産				
保証金		600,000		
長期貸付金		1,800,000		
投資その他の資産合計		2,400,000		
固定資産合計			14,527,734,953	
Ⅱ　流動資産				
現金及び預金		12,910,640,422		
医業未収金	3,872,313,719			
貸倒引当金	▲ 84,187,135	3,788,126,584		
未収金		123,982,309		
医薬品		98,692,396		
診療材料		2,770,412		
前払費用		22,442,783		
未収収益		2,523,559		
流動資産合計			16,949,178,465	
資産合計				31,476,913,418

貸 借 対 照 表

（令和6年3月31日）

地方独立行政法人堺市立病院機構　　（単位：円）

科　　目			
負債の部			
Ⅰ　固定負債			
資産見返負債（注）			
資産見返運営費負担金（注）	195,578,883		
資産見返補助金等（注）	708,730,102		
資産見返寄附金（注）	13,262,324		
長期借入金	11,257,756,718		
移行前地方債償還債務	2,255,291,201		
引当金			
退職給付引当金	4,383,322,890		
資産除去債務	7,604,000		
固定負債合計		18,821,546,118	
Ⅱ　流動負債			
寄附金債務（注）	48,188,030		
一年以内返済予定長期借入金	912,612,074		
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	114,839,589		
未払金	2,493,610,721		
未払費用	73,708,288		
未払消費税等	8,282,300		
前受金	325,600		
預り金	156,040,816		
引当金			
賞与引当金	462,426,980		
流動負債合計		4,270,034,398	
負債合計			23,091,580,516
純資産の部			
Ⅰ　資本金			
設立団体出資金	303,592,310		
資本金合計		303,592,310	
Ⅱ　資本剰余金			
資本剰余金	3,105,948,825		
資本剰余金合計		3,105,948,825	
Ⅲ　利益剰余金			
病院施設整備等積立金（注）	4,648,001,425		
当期未処分利益	327,790,342		
（うち当期総利益）	(327,790,342)		
利益剰余金合計		4,975,791,767	
純資産合計			8,385,332,902
負債・純資産合計			31,476,913,418

（注）これらは、地方独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目であります。

損 益 計 算 書

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

地方独立行政法人堺市立病院機構　　（単位：円）

科　　目	金　　額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	13,004,557,175		
外来収益	6,444,771,579		
その他医業収益	560,402,210	20,009,730,964	
運営費負担金収益（注）		2,152,157,000	
補助金等収益（注）		279,732,472	
寄附金収益（注）		231,841	
資産見返運営費負担金戻入（注）		56,097,899	
資産見返補助金等戻入（注）		102,978,650	
資産見返寄附金戻入（注）		6,729,861	
その他営業収益		2,001,018	
営業収益計			22,609,659,705
営業費用			
医業費用			
給与費	10,021,750,663		
材料費	6,222,389,561		
経費	3,267,339,762		
研究研修費	82,148,440		
減価償却費	1,420,554,661	21,014,183,087	
一般管理費			
給与費	385,128,094		
経費	47,707,278		
減価償却費	4,191,705	437,027,077	
営業費用計			21,451,210,164
営業利益			1,158,449,541
営業外収益			
運営費負担金収益（注）		73,911,000	
財務収益		5,288,785	
その他		148,195,475	
営業外収益合計			227,395,260
営業外費用			
財務費用			
移行前地方債償還債務利息	41,733,882		
長期借入金利息	106,133,586		
その他支払利息	41,482	147,908,950	
控除対象外消費税等		898,186,445	
その他		5,336,737	
営業外費用合計			1,051,432,132
経常利益			334,412,669
臨時利益			
固定資産売却益		27,273	
臨時利益合計			27,273
臨時損失			
固定資産除却損		6,649,600	
臨時損失合計			6,649,600
当期純利益			327,790,342
当期総利益			327,790,342

（注）これらは、地方独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目であります。

Ⅳ　業　務　状　況

入院患者延数(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期差異
総合内科	560	448	456	560	464	482	527	425	355	297	412	502	444	453	5,377	6,725	▲1,348
血液内科	492	435	372	450	479	553	429	501	490	385	498	423	389	250	5,219	5,899	▲680
腎臓内科	548	612	585	668	595	656	677	582	648	551	647	538	573	628	7,348	6,572	776
感染症内科	251	87	23	22	72	98	154	95	54	55	96	128	139	112	1,048	3,015	▲1,967
糖尿病・内分泌・代謝内科	165	168	170	133	158	135	205	125	120	151	93	294	224	205	2,013	1,982	31
リウマチ膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	1,046	1,373	1,086	1,136	901	1,034	1,680	1,559	1,546	1,502	1,399	1,841	1,496	1,299	16,479	12,556	3,923
消化器内科	654	622	835	693	720	667	613	687	767	567	525	470	488	428	7,460	7,853	▲393
循環器内科	448	631	552	671	560	566	605	575	456	478	658	880	686	887	7,574	5,377	2,197
脳神経内科	547	671	584	604	593	544	577	618	590	665	670	824	924	857	8,050	6,560	1,490
小児科	562	778	712	996	1,085	942	801	756	637	632	643	696	681	757	9,338	6,738	2,600
外科	1	3	0	0	0	0	0	0	28	2	0	0	0	0	30	7	23
胃食道外科	397	421	296	430	523	479	458	382	341	448	451	463	361	416	5,048	4,769	279
大腸肛門外科	518	520	557	447	497	691	622	437	376	392	568	520	588	548	6,243	6,212	31
肝胆膵外科	307	342	349	337	421	380	338	328	320	267	353	356	299	354	4,102	3,679	423
呼吸器外科	178	208	232	145	284	229	175	146	171	198	231	207	247	229	2,494	2,132	362
乳腺・内分泌外科	111	136	63	113	158	123	143	130	141	169	206	136	116	128	1,626	1,333	293
救命救急科	1,311	1,446	1,509	1,597	1,275	1,210	1,497	1,574	1,490	1,352	1,469	1,416	1,478	1,489	17,356	15,734	1,622
整形外科	758	766	605	585	767	759	974	751	690	776	763	840	765	913	9,188	9,099	89
脳神経外科	736	828	587	863	627	757	899	852	837	898	848	793	943	1,036	9,940	8,835	1,105
心臓血管外科	214	274	333	250	244	298	234	262	327	259	250	270	308	252	3,287	2,571	716
皮膚科	165	246	179	336	276	231	342	331	265	164	171	193	205	253	2,946	1,983	963
形成外科	210	264	341	251	228	285	192	305	337	314	227	213	228	252	3,173	2,522	651
泌尿器科	569	742	635	621	770	760	646	785	861	834	899	649	647	797	8,904	6,826	2,078
産婦人科	389	398	407	345	472	397	416	365	402	494	385	339	374	380	4,776	4,670	106
眼科	54	64	67	55	51	81	68	57	54	78	76	77	64	40	768	649	119
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	220	271	225	284	253	247	344	260	368	319	264	201	224	259	3,248	2,641	607
歯科口腔外科	54	69	66	24	87	136	97	79	68	65	48	39	75	47	831	645	186
救急・総合診療科	12	15	11	5	5	11	3	2	5	7	91	25	8	12	185	139	46
緩和ケア科	-	-	14	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	-	-
合計	11,477	12,840	11,851	12,628	12,572	12,751	13,716	12,969	12,744	12,319	12,941	13,333	12,974	13,281	154,079	137,723	16,356
前年度	-	-	10,625	11,266	10,850	11,898	12,647	11,359	11,138	11,607	11,727	12,015	11,019	11,572	137,723	-	-
差異	-	-	1,226	1,362	1,722	853	1,069	1,610	1,606	712	1,214	1,318	1,955	1,709	16,356	-	-

外来患者延数(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期差異
総合内科	466	484	383	498	518	486	534	482	502	484	467	505	475	468	5,802	5,587	215
血液内科	900	854	871	887	887	856	907	912	858	855	793	832	801	791	10,250	10,797	▲547
腎臓内科	438	489	467	464	482	457	496	497	493	531	526	432	511	510	5,866	5,252	614
感染症内科	383	142	155	101	118	108	155	145	119	101	193	253	116	135	1,699	4,592	▲2,893
糖尿病・内分泌・代謝内科	632	659	611	661	666	610	720	604	679	646	679	695	670	664	7,905	7,589	316
リウマチ膠原病内科	52	46	47	55	43	52	65	37	60	41	45	34	41	33	553	624	▲71
呼吸器内科	1,409	1,428	1,327	1,351	1,480	1,315	1,578	1,515	1,460	1,501	1,473	1,324	1,397	1,420	17,141	16,913	228
消化器内科	1,275	1,292	1,458	1,313	1,431	1,233	1,251	1,284	1,331	1,252	1,289	1,231	1,224	1,202	15,499	15,297	202
循環器内科	569	569	601	525	578	562	579	568	578	531	583	540	574	614	6,833	6,827	6
脳神経内科	478	516	462	510	506	510	551	514	543	517	533	514	515	513	6,188	5,735	453
心療内科	107	112	98	111	116	103	113	103	103	110	125	114	115	134	1,345	1,280	65
小児科	799	788	713	740	828	851	946	797	758	713	792	786	700	832	9,456	9,589	▲133
外科	157	160	141	150	176	169	160	174	135	163	147	176	167	165	1,923	1,881	42
胃食道外科	403	412	414	450	429	372	469	384	450	381	415	410	402	365	4,941	4,837	104
大腸肛門外科	788	630	705	747	747	584	664	621	600	613	617	591	540	531	7,560	9,453	▲1,893
肝胆膵外科	334	340	316	380	348	326	360	308	343	347	324	351	367	304	4,074	4,008	66
呼吸器外科	152	175	160	181	179	171	170	208	191	147	177	182	155	184	2,105	1,827	278
乳腺・内分泌外科	751	795	780	741	799	764	887	833	816	808	774	774	784	774	9,534	9,016	518
救命救急科	181	199	209	215	181	214	209	201	199	175	210	185	181	214	2,393	2,174	219
整形外科	1,137	1,099	1,046	1,039	1,090	1,015	1,075	1,140	1,175	1,041	1,126	1,112	1,182	1,151	13,192	13,647	▲455
脳神経外科	452	478	445	517	492	410	477	456	466	521	508	457	486	500	5,735	5,425	310
心臓血管外科	166	165	192	156	168	159	168	166	176	163	171	158	151	150	1,978	1,997	▲19
皮膚科	1,057	1,154	1,085	1,135	1,145	1,172	1,246	1,173	1,183	1,133	1,176	1,107	1,105	1,187	13,847	12,682	1,165
形成外科	465	483	455	457	526	529	464	479	482	467	501	451	462	518	5,791	5,583	208
泌尿器科	1,171	1,160	1,159	1,172	1,232	1,121	1,227	1,238	1,184	1,114	1,167	1,117	1,003	1,189	13,923	14,055	▲132
産婦人科	1,069	1,023	1,028	987	1,021	977	1,013	1,067	1,065	1,030	1,073	937	1,001	1,080	12,279	12,827	▲548
眼科	1,007	850	964	832	967	775	909	841	759	857	825	832	824	809	10,194	12,084	▲1,890
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	659	758	680	757	786	723	814	665	839	725	763	797	786	760	9,095	7,906	1,189
放射線治療科	645	644	739	704	508	428	596	582	668	624	658	640	754	825	7,726	7,737	▲11
放射線診断科	166	167	197	169	199	148	162	147	191	160	134	140	158	194	1,999	1,996	3
歯科口腔外科	685	698	717	695	784	690	719	699	672	659	647	681	706	708	8,377	8,215	162
救急・総合診療科	497	474	458	509	551	537	559	499	418	414	474	485	383	402	5,689	5,968	▲279
緩和ケア科	25	31	28	36	27	25	31	18	27	29	33	34	32	46	366	301	65
麻酔科	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	5	2	3
遺伝診療科	3	3	3	2	2	1	3	3	4	3	2	1	5	4	33	31	2
発熱外来（再掲）	374	15	91	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183	-	-
合計	19,478	19,275	19,114	19,247	20,010	18,454	20,278	19,361	19,527	18,857	19,420	18,878	18,774	19,377	231,297	233,734	▲2,437
前年度	-	-	19,087	18,859	20,161	19,610	21,188	19,325	19,322	19,218	19,406	18,600	17,926	21,032	233,734	-	-
差異	-	-	27	388	▲151	▲1,156	▲910	36	205	▲361	14	278	848	▲1,655	▲2,437	-	-

平均在院日数(科別)	前年度平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年同期平均	前年同期差異
総合内科	12.2	10.7	9.7	9.7	9.4	9.8	10.7	12.5	9.5	9.0	10.7	13.8	12.6	10.5	12.2	▲1.7
血液内科	15.0	17.2	18.5	14.5	18.6	10.7	13.1	15.9	13.9	18.7	17.1	12.8	11.0	15.0	15.0	▲0.1
腎臓内科	10.2	10.9	11.6	10.1	10.9	10.4	11.8	10.7	8.0	9.3	9.2	9.1	9.1	10.0	10.2	▲0.2
感染症内科	9.9	5.4	5.1	8.0	5.4	7.6	8.0	6.6	11.3	9.7	9.5	13.7	12.9	8.6	9.9	▲1.3
糖尿病・内分泌・代謝内科	8.8	8.2	7.9	10.0	8.4	9.6	6.5	7.9	9.1	7.9	12.5	12.2	12.4	9.5	8.8	0.7
リウマチ膠原病内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
呼吸器内科	10.7	11.0	11.0	9.8	9.7	9.9	12.5	12.2	11.8	10.5	13.5	12.4	10.6	11.3	10.7	0.5
消化器内科	8.1	8.3	8.1	7.8	7.2	9.1	9.2	8.6	8.0	7.1	6.3	7.4	6.3	7.8	8.1	▲0.3
循環器内科	9.7	9.6	10.5	11.5	13.5	12.8	9.6	8.7	11.9	9.7	14.5	9.9	11.7	11.1	9.7	1.4
脳神経内科	15.9	17.1	17.2	16.5	14.5	16.7	15.9	14.2	15.1	15.9	19.4	17.1	16.7	16.4	15.9	0.5
小児科	4.1	4.6	5.0	5.5	4.9	4.1	4.7	4.6	4.6	4.1	4.4	4.2	4.0	4.6	4.1	0.5
外科	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.0	2.0	27.0
胃食道外科	15.9	13.1	12.7	11.6	13.0	12.2	14.0	16.0	16.0	11.9	13.1	13.1	12.0	13.0	15.9	▲2.9
大腸肛門外科	13.3	17.4	16.5	15.3	20.6	16.4	11.7	13.8	16.9	18.1	19.9	18.2	16.6	16.7	13.3	3.4
肝胆膵外科	9.0	12.1	10.0	15.0	10.2	13.1	11.0	7.5	9.0	8.9	10.9	9.3	11.5	10.5	9.0	1.6
呼吸器外科	12.3	11.1	8.1	12.8	12.0	9.8	10.7	9.6	14.8	10.7	11.6	12.6	13.8	11.4	12.3	▲0.9
乳腺・内分泌外科	5.9	3.5	6.3	10.4	5.6	5.6	4.6	5.9	6.7	6.6	6.9	7.1	4.5	6.0	5.9	0.1
救命救急科	13.2	15.9	13.4	12.3	9.7	12.9	13.4	11.8	11.5	12.2	13.6	15.3	12.7	12.8	13.2	▲0.4
整形外科	14.2	13.5	16.7	16.2	16.4	17.2	15.0	13.3	15.2	16.0	17.2	15.2	15.4	15.6	14.2	1.4
脳神経外科	16.3	11.9	18.4	15.1	17.2	12.7	15.7	14.1	14.9	14.1	15.0	13.2	17.9	14.9	16.3	▲1.4
心臓血管外科	21.3	25.5	20.7	24.6	32.2	28.1	30.0	24.1	29.5	28.4	25.9	28.4	30.0	26.9	21.3	5.6
皮膚科	12.9	11.6	11.2	12.4	15.6	13.9	21.1	10.6	9.3	13.3	15.9	14.6	14.1	13.3	12.9	0.4
形成外科	10.9	19.6	13.6	10.7	15.3	6.1	14.3	11.5	13.1	9.0	11.3	12.7	13.5	12.2	10.9	1.3
泌尿器科	6.6	6.1	5.7	6.9	7.5	6.4	8.0	7.9	8.4	8.6	6.7	7.1	7.5	7.2	6.6	0.6
産婦人科	4.9	5.3	4.5	5.2	5.2	4.9	5.1	4.2	5.1	4.6	4.5	4.5	4.2	4.8	4.9	▲0.2
眼科	1.2	1.0	1.3	1.5	1.3	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.1	1.2	▲0.1
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	7.1	8.6	7.8	6.8	6.4	7.2	6.8	7.7	7.0	6.0	5.2	7.0	7.9	7.0	7.1	▲0.1
歯科口腔外科	4.0	4.6	2.3	3.9	7.5	5.9	3.6	3.8	4.8	3.3	2.4	5.3	3.3	4.4	4.0	0.4
救急・総合診療科	2.4	1.3	0.9	2.7	2.6	1.3	1.0	1.0	3.5	19.8	2.8	0.9	1.1	3.5	2.4	1.1
麻酔科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	9.8	10.0	9.9	9.8	9.7	9.6	10.3	9.7	9.9	9.7	10.5	10.4	10.0	9.9	9.8	0.1
前年度	-	9.4	10.5	9.4	9.8	10.1	9.7	9.6	9.7	9.7	10.8	9.8	9.7	9.8	-	-
差異	-	0.6	▲0.6	0.3	▲0.1	▲0.5	0.6	0.1	0.1	▲0.0	▲0.3	0.6	0.4	0.1	-	-

救急搬送受入件数(救急隊別)	前年度平均	平均	構成比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期差異
堺	22	25	2.9%	23	9	35	32	41	19	21	15	32	20	25	24	296	264	32
本部	19	26	3.1%	19	23	33	26	36	28	20	30	23	12	26	34	310	223	87
旭ケ丘	28	33	3.9%	39	30	27	30	39	33	25	28	43	30	31	38	393	336	57
三国ヶ丘	23	17	2.1%	17	14	22	17	25	24	13	15	8	16	15	22	208	278	▲70
三宝	11	13	1.6%	10	13	8	15	21	15	15	7	9	19	17	10	159	136	23
西	77	96	11.4%	93	96	107	105	100	105	84	82	121	88	81	91	1,153	929	224
臨海	28	33	3.9%	21	27	37	38	36	42	29	28	47	32	16	37	390	332	58
救急ワークステーション	94	117	13.9%	115	104	107	127	127	111	128	119	125	131	105	105	1,404	1,131	273
北	38	42	5.0%	35	42	37	48	63	34	35	32	37	56	41	44	504	450	54
百舌鳥	62	77	9.1%	70	96	77	82	65	77	58	72	84	92	70	77	920	745	175
中	66	77	9.2%	57	77	87	66	93	83	91	89	92	63	70	57	925	795	130
東	23	30	3.6%	27	32	34	24	33	30	30	21	39	37	22	30	359	270	89
登美丘	12	16	2.0%	13	21	15	13	17	10	18	18	20	26	13	13	197	138	59
南	28	30	3.6%	30	30	30	26	32	27	34	33	30	43	22	28	365	332	33
茶山台	22	22	2.6%	27	34	23	19	22	17	26	22	16	20	20	13	259	262	▲3
福泉	24	28	3.4%	22	23	23	27	39	28	30	32	37	28	16	34	339	288	51
美原	10	6	0.7%	11	5	4	5	5	5	4	6	6	5	10	6	72	120	▲48
高石	43	48	5.7%	50	58	45	63	43	41	42	35	56	55	33	52	573	517	56
高師浜	21	28	3.3%	16	29	22	44	31	29	25	22	30	31	32	27	338	-	-
堺市・高石市計	650	764	90.8%	695	763	773	807	868	758	728	706	855	804	665	742	9,164	7,802	1,362
前年度	-	-	87.1%	620	623	585	772	672	649	693	617	641	666	651	613	7,802	-	-
差異	-	-	3.7%	75	140	188	35	196	109	35	89	214	138	14	129	1,362	-	-
大阪市	17	14	1.6%	14	14	7	17	27	17	9	11	15	15	11	6	163	204	▲41
和泉	15	21	2.4%	12	14	17	24	23	21	14	19	21	17	34	31	247	178	69
富田林	5	5	0.6%	4	3	5	6	4	5	8	6	3	2	8	7	61	58	3
河内長野	3	3	0.3%	3	3	2	3	2	3	2	5	3	1	4	3	34	32	2
柏羽藤	4	5	0.6%	10	6	3	4	4	5	6	2	2	4	6	5	57	51	6
その他大阪府下	52	30	3.6%	21	37	37	32	34	42	21	28	18	30	30	29	359	622	▲263
大阪府計	95	77	9.1%	64	77	71	86	94	93	60	71	62	69	93	81	921	1,145	▲224
前年度	-	-	12.8%	46	82	54	172	195	86	71	73	102	125	64	75	1,145	-	-
差異	-	-	▲3.7%	18	▲5	17	▲86	▲101	7	▲11	▲2	▲40	▲56	29	6	▲224	-	-
他府県	0	0	0.0%	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3	4	▲1
Drヘリ	1	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	9	▲7
合計	747	841	-	759	840	844	893	964	851	788	777	918	873	758	825	10,090	8,960	1,130
前年度	-	-	-	666	706	643	947	868	735	764	691	744	791	716	689	8,960	-	-
差異	-	-	-	93	134	201	▲54	96	116	24	86	174	82	42	136	1,130	-	-

新入院(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期差異
総合内科	44	41	41	54	44	50	52	33	29	30	46	50	31	36	496	530	▲34
血液内科	30	26	21	22	33	25	36	36	28	28	20	27	25	16	317	361	▲44
腎臓内科	49	55	48	55	50	60	57	44	56	60	59	54	58	57	658	589	69
感染症内科	23	9	3	3	8	16	18	10	6	5	9	10	10	7	105	280	▲175
糖尿病・内分泌・代謝内科	17	16	18	16	16	10	22	16	13	15	11	24	18	11	190	198	▲8
リウマチ膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	89	112	93	93	82	101	162	115	120	111	114	140	107	103	1,341	1,071	270
消化器内科	72	71	88	86	76	81	64	67	77	64	61	72	56	56	848	864	▲16
循環器内科	42	53	52	61	42	38	39	55	46	43	59	59	65	76	635	498	137
脳神経内科	32	39	38	29	36	34	32	37	40	43	37	42	51	48	467	381	86
小児科	111	139	133	170	165	161	148	132	111	116	124	132	128	152	1,672	1,327	345
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	▲2
胃食道外科	22	29	22	33	41	30	32	26	18	30	28	35	23	31	349	268	81
大腸肛門外科	35	28	26	24	32	32	31	29	27	23	26	27	28	28	333	421	▲88
肝胆膵外科	30	28	25	28	30	29	25	24	31	31	30	32	28	25	338	363	▲25
呼吸器外科	13	16	16	16	20	16	13	13	15	12	16	17	16	16	186	155	31
乳腺・内分泌外科	16	19	14	15	16	18	24	21	20	26	21	19	12	24	230	192	38
救命救急科	98	111	101	108	95	129	114	117	120	113	119	102	101	109	1,328	1,173	155
整形外科	48	45	40	32	43	49	51	41	50	49	37	54	43	54	543	581	▲38
脳神経外科	43	53	45	47	40	39	69	57	50	57	55	47	78	47	631	514	117
心臓血管外科	9	9	11	11	9	10	7	10	12	9	8	9	11	4	111	110	1
皮膚科	12	18	18	28	20	15	24	15	19	16	13	13	11	21	213	143	70
形成外科	18	20	15	15	20	17	26	20	28	19	21	19	15	20	235	210	25
泌尿器科	74	89	87	98	97	88	86	85	98	89	83	90	79	92	1,072	893	179
産婦人科	66	69	68	63	74	63	72	58	81	81	64	69	68	65	826	788	38
眼科	25	30	32	24	20	36	34	25	29	37	31	38	31	19	356	295	61
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	27	34	23	31	34	31	44	34	41	40	32	35	29	28	402	325	77
歯科口腔外科	11	13	13	8	17	16	13	17	16	10	10	12	13	9	154	129	25
救急・総合診療科	0	0	7	5	2	5	2	1	4	4	7	6	5	8	56	61	▲5
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,060	1,175	1,098	1,176	1,162	1,199	1,297	1,138	1,186	1,161	1,141	1,234	1,140	1,162	14,094	12,723	1,371
前年度	-	-	1,019	1,023	1,030	1,100	1,158	1,035	1,059	1,086	1,052	1,087	1,005	1,069	12,723	-	-
差異	-	-	79	153	132	99	139	103	127	75	89	147	135	93	1,371	-	-

病院新来(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期差異
総合内科	49	55	56	72	56	44	72	51	55	41	40	64	47	58	656	593	63
血液内科	18	15	16	18	16	15	13	18	17	15	20	11	14	10	183	221	▲38
腎臓内科	98	40	21	20	27	18	16	19	13	18	8	19	16	13	208	178	30
感染症内科	73	13	12	4	4	5	9	5	2	0	38	65	4	7	155	875	▲720
糖尿病・内分泌・代謝内科	10	10	7	12	9	7	8	9	8	9	20	10	10	12	121	120	1
リウマチ膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	33	40	42	35	34	45	48	36	42	43	38	44	38	35	480	394	86
消化器内科	43	43	56	42	43	42	44	44	54	41	45	35	36	34	516	517	▲1
循環器内科	15	23	25	25	17	35	16	12	18	20	23	23	26	32	272	179	93
脳神経内科	20	25	27	13	22	20	22	18	33	30	25	32	26	26	294	239	55
心療内科	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	5	4	1
小児科	168	163	160	202	201	185	205	176	122	104	155	167	135	146	1,958	2,016	▲58
外科	3	2	3	2	3	2	4	3	1	3	1	4	2	1	29	36	▲7
胃食道外科	3	3	5	8	4	3	1	3	1	2	2	2	2	2	35	41	▲6
大腸肛門外科	5	4	2	5	4	6	3	4	2	6	3	4	3	1	43	63	▲20
肝胆膵外科	3	3	2	4	3	1	5	2	4	3	2	2	3	2	33	37	▲4
呼吸器外科	2	2	0	1	1	1	2	5	1	4	2	0	1	1	19	22	▲3
乳腺・内分泌外科	12	14	11	14	18	14	12	17	17	12	15	15	9	12	166	141	25
救命救急科	121	127	110	125	125	134	114	111	151	121	149	121	127	138	1,526	1,453	73
整形外科	50	43	40	48	47	36	38	49	46	31	38	53	51	39	516	594	▲78
脳神経外科	21	26	16	18	24	27	33	29	22	32	25	23	36	23	308	255	53
心臓血管外科	2	2	2	1	2	4	0	1	2	2	4	4	2	0	24	24	0
皮膚科	37	45	59	52	44	49	48	41	44	41	35	43	39	46	541	438	103
形成外科	19	18	20	14	27	19	17	17	26	20	18	14	13	15	220	231	▲11
泌尿器科	25	25	29	27	27	28	26	20	31	26	16	17	24	24	295	298	▲3
産婦人科	44	42	39	34	41	55	40	50	47	43	37	46	34	42	508	523	▲15
眼科	33	28	33	28	41	23	23	30	21	33	26	31	23	23	335	391	▲56
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	49	62	45	66	61	64	71	51	69	48	64	77	57	72	745	586	159
放射線治療科	4	3	4	4	3	3	5	2	2	2	2	5	2	2	36	48	▲12
放射線診断科	32	29	26	23	37	21	32	36	32	21	23	26	34	31	342	379	▲37
歯科口腔外科	50	50	63	51	59	51	50	51	40	46	41	42	63	46	603	595	8
救急・総合診療科	141	140	141	159	171	136	173	137	127	129	141	146	96	122	1,678	1,686	▲8
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	▲1
合計	1,098	1,071	1,073	1,127	1,171	1,094	1,150	1,047	1,054	947	1,056	1,145	973	1,015	12,852	13,181	▲329
前年度	-	-	1,012	1,070	1,127	1,399	1,405	1,044	1,016	1,051	1,095	1,114	844	1,004	13,181	-	-
差異	-	-	61	57	44	▲305	▲255	3	38	▲104	▲39	31	129	11	▲329	-	-

総合内科・内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
初診患者（内科系）	114	126	146	162	132	150	130	132	128	108	160	118	130	1,622	1,371	251
新来患者（内科系）	49	56	72	56	44	72	51	55	41	40	64	47	58	656	593	63

血液内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
骨髄穿刺	29	38	44	42	30	32	25	20	33	19	28	29	19	359	351	8
造血幹細胞移植	1	0	6	4	1	2	0	2	2	0	1	2	0	20	16	4
造血器腫瘍遺伝子検査	16	23	14	18	11	11	15	17	16	18	18	29	12	202	195	7
造血器腫瘍細胞抗原	38	47	55	48	38	49	33	28	42	28	38	38	23	467	461	6

腎臓内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
経皮的腎生検法	4	1	6	5	4	3	4	3	3	2	2	1	2	36	50	▲14
後天性免疫不全症療養指導	66	60	69	68	52	74	66	71	56	77	51	58	76	778	795	▲17
透析導入期加算	19	14	49	12	12	22	8	34	9	53	56	42	65	376	230	146
難病外来指導管理料	54	43	45	35	51	44	49	56	51	49	44	42	39	548	652	▲104
シャントPTA	2	6	3	4	4	5	2	3	9	7	8	6	3	60	18	42

※後天性免疫不全症療養指導以外は腎臓内科オーダ分とする。

糖尿病・内分泌・代謝内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
在宅自己注射指導管理料	257	248	251	251	245	265	236	262	244	249	241	231	250	2,973	3,088	▲115
糖尿病透析予防指導管理料	16	20	18	11	17	16	15	17	13	18	17	15	12	189	191	▲2

※糖尿病・内分泌・代謝内科オーダ分とする。

呼吸器内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
EF-気管支	6	2	9	11	9	21	4	11	16	5	8	9	9	114	76	38
ニコチン依存症管理料1（初回）	3	4	3	2	1	4	2	4	2	3	1	4	4	34	39	▲5
ニコチン依存症管理料1	11	13	19	11	5	10	7	7	11	6	9	7	11	116	126	▲10
経気管肺生検法	15	14	12	13	20	26	13	17	20	25	18	9	13	200	174	26
呼吸ケアチーム加算	18	26	28	17	24	19	12	19	26	27	27	28	13	266	216	50
在宅酸素療法指導管理料	63	57	55	48	51	57	59	56	62	55	59	56	51	666	752	▲86
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料	33	33	30	38	32	41	40	35	25	29	32	36	38	409	394	15
在宅人工呼吸指導管理料	11	9	9	9	9	8	8	9	9	7	6	6	7	96	136	▲40
終夜睡眠ポリグラフィー	10	6	10	21	11	11	11	10	9	10	13	7	10	129	120	9
精密呼吸機能	82	70	86	93	79	81	80	78	81	80	71	77	47	923	984	▲61

消化器内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
超音波内視鏡	10	12	12	10	10	11	14	14	14	17	14	15	9	152	121	31
RFA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5	▲4
上部消化管	498	556	515	657	524	514	514	583	564	569	528	535	537	6,596	5,980	616
下部消化管	177	201	172	220	187	166	188	171	215	170	172	191	199	2,252	2,118	134
内視鏡的止血術（上部）	9	12	6	16	5	2	3	3	10	8	5	1	5	76	102	▲26
胃・食道ESD	6	7	7	9	8	5	5	8	5	5	5	4	2	70	72	▲2
大腸ESD	3	4	3	4	4	8	5	5	5	4	4	9	2	57	34	23
内視鏡的胃瘻造設術	2	3	2	3	1	3	2	0	5	1	2	1	1	24	25	▲1
カプセル内視鏡	1	1	2	3	2	1	1	0	2	2	0	2	2	18	13	5

循環器内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
PTCA	9	12	9	8	8	1	12	9	4	16	21	24	32	156	111	45
PCPS	1	2	0	1	2	0	2	0	0	0	2	2	1	12	16	▲4
IABP	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	3	0	2	10	3	7
四肢のPTA	2	2	5	3	0	6	4	1	4	0	4	3	2	34	23	11
ペースメーカー移植・交換	3	4	6	8	4	4	6	8	6	4	5	7	6	68	40	28
心臓カテーテル検査	19	17	28	18	20	13	16	11	13	22	19	16	22	215	224	▲9

※PCPS及びIABPは実人数とする。

脳神経内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
難病外来指導管理料	79	79	98	81	86	99	96	91	82	86	81	87	93	1,059	953	106
神経学的検査	20	22	27	23	28	20	27	26	30	37	35	32	39	346	237	109
てんかん指導料	34	23	44	26	21	52	27	33	42	32	33	40	30	403	402	1
SPECTシンチ	6	3	3	3	6	8	9	7	8	9	4	6	7	73	76	▲3
嚥下造影	2	2	2	6	0	1	2	0	0	2	0	1	7	23	19	4

※脳神経内科オーダ分とする。

心療内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
心身医学療法（入院）	0	5	2	1	4	1	6	3	0	3	14	12	11	62	0	62
心身医学療法（入院外）（初診時）	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
心身医学療法（入院外）（再診時）	52	52	40	52	53	65	55	55	60	64	53	56	53	658	624	34
標準型精神分析療法	31	33	44	32	25	26	19	20	30	30	32	35	40	366	373	▲7

※心療内科オーダ分とする。

小児科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
救急搬送患者	146	145	163	197	187	160	154	142	132	154	153	119	136	1,842	1,751	91
救急搬送からの入院	41	41	52	49	44	46	41	46	55	51	51	44	50	570	494	76
ウォークイン患者	124	72	59	49	53	34	49	36	22	34	34	28	40	510	1,488	▲978
ウォークインからの入院	37	46	51	42	45	32	37	29	19	30	30	28	35	424	443	▲19

がんセンター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
がん性疼痛緩和指導管理料	54	58	52	49	38	39	42	44	49	53	59	63	49	595	642	▲47
がん患者指導管理料1（医師）	31	27	39	37	28	33	31	28	27	32	24	22	38	366	371	▲5
がん患者指導管理料2（看護師等）	48	52	65	67	60	62	52	43	53	61	43	54	53	665	573	92
がん患者指導管理料3（薬剤師等）	32	36	35	29	24	35	24	26	32	26	38	23	24	352	389	▲37
がん治療連携計画策定料	5	2	5	4	10	11	5	6	3	4	6	7	8	71	57	14
がん拠点病院入院加算	50	58	58	57	73	62	75	76	56	59	58	45	46	723	597	126
緩和ケア診療加算	35	43	45	53	68	39	49	40	17	55	39	36	50	534	415	119

外科統括部	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
時間内緊急手術	5	5	7	4	7	10	8	2	9	2	13	5	10	82	60	22
時間外緊急手術	2	0	1	1	2	2	1	3	2	1	4	1	3	21	28	▲7

胃食道外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
胃悪性腫瘍手術(ロボット支援)	4	5	6	6	4	6	5	4	6	5	6	3	6	62	43	19
胃悪性腫瘍手術	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
胃悪性腫瘍手術(腹腔鏡下)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	▲25
胃（単純手術）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
食道悪性腫瘍手術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
食道悪性腫瘍手術（胸腔鏡）	0	0	2	1	1	1	2	0	0	1	0	1	1	10	5	5

※胃食道外科オーダ分とする。

大腸肛門外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
結腸悪性腫瘍手術	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	6	19	▲13
結腸悪性腫瘍手術（腹腔鏡）	3	1	2	4	3	3	4	2	2	3	4	1	0	29	39	▲10
直腸悪性腫瘍手術(ロボット支援)	3	4	2	3	2	5	6	2	2	3	1	3	2	35	32	3
直腸悪性腫瘍手術	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	▲7
直腸悪性腫瘍手術（腹腔鏡）	1	0	0	1	2	3	0	1	1	0	0	1	0	9	8	1
結腸単純切除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	▲3
結腸単純切除（腹腔鏡）	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	11	▲7

※大腸肛門外科オーダ分とする。

肝胆膵外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
肝悪性腫瘍手術	1	0	1	1	1	1	1	2	0	1	1	2	1	12	13	▲1
肝悪性腫瘍手術（腹腔鏡）	2	5	3	1	3	3	2	1	2	1	1	2	2	26	22	4
胆のう悪性腫瘍手術	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	7	4	3
胆のう摘出術	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	2	1	2	10	5	5
腹腔鏡下胆嚢摘出術	10	6	15	13	12	8	10	17	10	15	6	9	11	132	122	10
膵臓腫瘍手術	2	1	1	1	0	4	1	1	1	2	1	1	3	17	22	▲5
膵臓腫瘍手術（腹腔鏡）	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	2	1

※肝胆膵外科オーダ分とする。

乳腺・内分泌外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
乳腺悪性腫瘍手術	13	7	13	10	14	15	18	19	16	23	12	8	14	169	151	18
再建術（組織拡張器）	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	3
乳房再建（一期・二期）	0	2	6	3	1	0	0	0	2	0	2	1	1	18	4	14
乳がんセンチネルリンパ節加算	10	6	9	8	10	11	15	18	13	18	10	7	11	136	118	18

※乳腺・内分泌外科オーダ分とする。

呼吸器外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
呼吸器外科手術件数	15	24	13	19	16	18	17	15	17	19	20	18	15	211	176	35
肺悪性腫瘍手術(ロボット支援)	7	9	7	8	5	6	8	7	9	9	11	6	8	93	78	15
肺悪性腫瘍手術	1	0	1	2	1	1	0	1	0	2	1	1	2	12	16	▲4
縦隔腫瘍手術(ロボット支援)	1	1	2	1	5	2	2	2	1	0	1	2	1	20	8	12
肺切除術	3	9	0	9	3	6	2	2	4	3	4	7	2	51	35	16

※呼吸器外科オーダ分とする。

救命救急科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
観血的整復固定術	13	16	20	16	16	14	13	18	7	22	16	14	12	184	153	31
腹腔鏡下虫垂切除術	2	2	6	5	5	6	0	4	3	3	5	3	4	46	26	20
腹腔鏡下胆嚢摘出術	1	0	2	3	1	1	1	0	1	1	2	1	4	17	17	0
骨内異物（挿入物）除去術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4	7	4	3
人工骨頭置換術	1	1	2	1	4	0	3	0	0	1	1	2	4	19	17	2

※救命救急科オーダ分とする。

整形外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
関節骨折	3	2	2	3	3	6	3	4	4	2	2	2	3	36	39	▲3
骨折外傷	27	32	40	42	34	34	53	42	33	41	39	31	24	445	319	126
人工関節置換術	2	3	0	0	0	0	3	1	4	2	2	2	4	21	24	▲3
人工骨頭挿入術	4	5	4	3	8	5	6	2	4	5	3	9	8	62	49	13
脊椎手術	16	17	29	17	22	24	16	13	16	13	19	16	14	216	186	30

脳神経外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
脳腫瘍手術	3	3	2	2	3	3	2	5	1	6	4	4	2	37	35	2
超急性期脳卒中加算（t-PA）	3	2	4	1	3	4	2	2	3	0	5	2	2	30	30	0
脳動脈瘤クリッピング	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2	0	9	13	▲4
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	3	5	6	6	2	8	10	6	6	6	9	5	2	71	39	32
経皮的脳血管形成術	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3	1	2
頸動脈ステント留置術	1	2	0	1	3	1	3	0	1	0	2	1	1	15	10	5
脳血管内手術	4	6	10	2	4	11	8	5	15	5	8	6	10	90	51	39
脳アンギオ	15	18	19	7	13	21	8	8	19	13	19	21	20	186	175	11

※脳神経外科オーダ分とする。

心臓血管外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
冠動脈バイパス手術	1	0	0	0	1	2	2	0	2	0	1	1	0	9	8	1
冠動脈バイパス・複合手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弁置換術	1	1	0	1	1	0	1	1	1	3	2	1	0	12	15	▲3
弁形成術	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2	0	3	0	11	4	7
胸部大血管手術	3	3	3	5	5	4	3	4	1	2	0	5	9	44	40	4
うちステントグラフト	1	1	1	4	3	2	3	2	0	1	0	3	4	24	17	7
その他開心術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部大血管手術	3	3	4	1	3	1	2	2	2	3	1	0	0	22	37	▲15
うちステントグラフト	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	12	▲10
末梢血管・静脈手術	2	0	1	2	2	3	3	3	3	3	7	5	3	35	23	12
その他手術	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	0	0	6	5	1

※心臓血管外科オーダ分とする。

皮膚科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
皮膚悪性腫瘍手術	4	2	5	2	5	8	9	7	6	5	4	2	3	58	46	12
組織試験採取、切採法（皮膚）	36	36	43	55	55	47	40	44	34	26	39	44	51	514	436	78
ダーモスコピー	11	18	2	13	21	14	15	14	19	16	22	15	20	189	127	62
ワイヤー及びクリップ療法	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4	3	1

※皮膚科オーダ分とする。

形成外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
皮弁形成術	2	3	7	6	5	3	7	2	6	3	1	3	5	51	29	22
下肢静脈瘤手術	3	3	1	4	3	6	1	6	7	2	3	2	0	38	41	▲3
褥瘡ハイリスクケア加算	182	161	185	164	186	190	161	161	175	181	188	180	185	2,117	2,179	▲62
局所陰圧閉鎖処置初回	10	11	13	11	18	18	14	12	16	16	18	12	12	171	119	52
他科共観手術	4	5	14	9	5	9	6	4	7	3	5	4	3	74	44	30

泌尿器科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
経尿道的前立腺手術	2	0	5	6	4	7	3	4	7	3	5	3	3	50	25	25
前立腺針生検法	19	24	32	33	20	22	20	23	16	21	20	20	17	268	233	35
ロボット支援腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	2	3	5	4	5	7	5	5	3	3	7	6	6	59	53	6
ロボット支援腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術	-	2	1	1	3	1	2	0	3	1	0	0	1	15	-	-
ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	1	0	1	3	2	2	2	3	1	2	1	3	1	21	11	10
ロボット支援腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	1	0	3	1	2	1	1	0	2	2	1	2	1	16	14	2
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）	13	18	9	9	16	14	13	21	11	11	12	11	13	158	156	2
経尿道的尿管砕石術	-	7	5	7	6	12	7	8	8	10	9	15	12	106	-	-
ロボット支援腹腔鏡下腎尿管全摘除術	-	1	1	2	0	2	0	1	1	2	0	0	0	10	-	-

※泌尿器科オーダ分とする。

産婦人科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
コルポスコピー	19	21	22	19	20	22	18	25	27	31	24	23	21	273	227	46
子宮悪性腫瘍手術（ロボット支援）	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1
子宮悪性腫瘍手術	2	1	2	1	1	3	4	0	3	2	2	0	2	21	21	0
子宮附属器悪性腫瘍手術	1	3	0	1	0	3	1	2	0	1	2	3	1	17	14	3
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	1	0	2	2	1	2	0	1	0	3	0	1	0	12	7	5
子宮附属器腫瘍摘出術	2	2	4	2	2	2	1	0	2	2	4	1	3	25	22	3
子宮附属器腫瘍摘出術（腹腔鏡）	8	6	4	12	7	8	2	9	8	10	7	4	7	84	96	▲12
子宮頸部（腟部）切除（レーザー含）	4	6	5	10	4	1	3	8	10	7	6	6	8	74	49	25
子宮全摘（ロボット支援）	1	3	1	0	1	0	1	2	2	1	1	0	1	13	15	▲2
子宮全摘	1	2	6	1	0	0	1	1	2	0	2	0	1	16	16	0
子宮全摘術（腹腔鏡）	3	1	2	2	2	3	1	4	0	1	2	3	4	25	30	▲5
ハイリスク妊娠管理加算	0	0	1	0	0	0	3	2	1	1	0	0	0	8	5	3
ハイリスク分娩管理加算	7	0	2	6	0	0	0	0	0	8	0	0	4	20	87	▲67

※産婦人科オーダ分とする。

アイセンター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
水晶体再建術	70	69	58	76	62	73	58	43	71	53	75	71	52	761	839	▲78
硝子体網膜症手術	13	17	11	18	8	7	9	12	10	9	12	15	16	144	154	▲10
緑内障手術	4	4	1	6	4	4	0	3	5	4	4	6	6	47	49	▲2
硝子体内注射	233	227	244	263	229	251	207	225	212	202	216	221	217	2,714	2,792	▲78

※アイセンターオーダ分とする。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
口蓋扁桃手術	4	2	2	4	4	3	5	4	3	3	3	3	5	41	48	▲7
嚥下機能手術	1	2	1	2	1	2	0	2	1	0	3	1	2	17	15	2
喉頭形成手術	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1
甲状腺、副甲状腺手術	3	3	3	3	4	5	6	5	3	5	3	1	0	41	38	3
唾液腺（耳下腺・顎下腺）手術	2	3	5	1	1	2	1	2	2	4	3	2	1	27	28	▲1
鼻・副鼻腔手術	11	14	15	20	17	17	16	19	25	20	21	16	34	234	137	97

※耳鼻咽喉科・頭頸部外科オーダ分とする。

歯科口腔外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
外来手術件数	93	103	94	105	82	60	93	94	76	76	97	80	94	1,054	1,113	▲59
周術期口腔機能管理計画策定料	53	55	53	68	59	60	52	50	46	58	52	54	55	662	635	27
周術期口腔機能管理料	133	150	140	178	170	173	147	135	112	134	146	145	148	1,778	1,593	185
周術期専門的口腔衛生処置	78	95	79	94	89	97	81	85	73	84	77	78	80	1,012	933	79
栄養サポート歯科医師連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域歯科診療支援病院歯科初診料	224	253	231	274	237	229	225	207	199	217	216	241	224	2,753	2,688	65

※歯科口腔外科オーダ分とする。

放射線治療科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
外来放射線照射診療料	127	142	126	91	81	121	115	138	123	132	117	158	160	1,504	1,522	▲18
管理料（IMRT）	15	14	15	9	14	17	17	21	16	9	29	21	18	200	181	19
画像誘導加算	450	508	494	422	312	390	511	607	509	425	492	581	575	5,826	5,404	422
強度変調放射線治療（IMRT）	317	310	317	271	176	250	352	406	305	251	373	490	417	3,918	3,805	113
管理料（1門・対向2門照射）	5	5	6	1	3	0	5	0	4	3	8	5	6	46	58	▲12
管理料（非対向2門・3門照射）	5	3	9	9	5	9	7	2	3	2	4	8	6	67	60	7
管理料（4門以上・原体照射）	20	24	17	20	14	23	13	31	27	29	19	15	24	256	235	21
体外照射（1門・対向2門照射）	34	46	52	12	13	10	44	33	34	24	42	19	23	352	413	▲61
体外照射（非対向2門・3門照射）	49	40	77	92	52	70	64	28	16	17	22	50	59	587	582	5
体外照射（4門以上・原体照射）	255	340	273	191	203	259	242	300	393	353	280	217	301	3,352	3,063	289
1回線量増加加算	162	167	135	81	107	163	164	181	241	214	202	214	258	2,127	1,949	178
直線加速器による定位放射線治療	8	7	7	4	5	9	5	7	4	8	3	6	7	72	92	▲20
放射性同位元素内用療法管理料	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

放射線診断科・放射線技術科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
CT撮影（64列未満）	2,641	2,675	2,862	2,920	2,805	3,054	2,871	2,795	2,891	2,887	2,912	2,781	2,930	34,383	31,693	2,690
MRI撮影（1．5テスラ）	807	819	853	900	866	928	860	890	841	857	864	849	899	10,426	9,682	744
画像診断管理加算1	2,708	2,695	2,852	3,038	2,792	2,978	2,771	2,830	2,840	2,830	2,850	2,781	2,891	34,148	32,499	1,649
冠動脈CT撮影	23	30	21	26	16	20	29	20	21	16	29	22	34	284	271	13
時間外緊急院内検査加算	329	398	423	369	410	437	420	379	401	459	472	405	416	4,989	3,951	1,038
骨塩定量検査	77	88	93	92	68	85	85	85	91	92	92	87	102	1,060	922	138
乳房撮影	324	362	315	377	348	351	371	380	370	371	340	397	436	4,418	3,890	528
IVR件数	41	51	48	50	54	41	52	33	54	46	47	51	45	572	488	84

病理診断科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
術中迅速病理組織標本作製	36	27	29	27	43	42	43	47	38	51	44	30	41	462	436	26
病理組織標本作製	656	696	712	761	697	751	693	678	712	674	686	676	693	8,429	7,856	573
免疫染色病理組織標本作製（その他）	135	140	138	168	162	157	167	144	134	157	126	133	140	1,766	1,655	111
細胞診（婦人科材料等）	351	327	343	370	325	384	379	397	365	384	352	334	385	4,345	4,208	137
細胞診（穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等）	325	327	330	353	337	354	318	319	310	390	310	292	332	3,972	3,988	▲16
術中迅速細胞診	17	18	25	26	17	30	20	21	21	31	26	22	27	284	207	77
病理診断管理加算2（組織診断）	561	614	616	658	614	634	580	618	617	584	588	588	601	7,312	6,732	580
病理解剖	1	0	2	1	1	2	2	0	0	1	2	1	2	14	16	▲2

麻酔科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
手術件数	465	479	508	529	480	555	487	507	512	507	506	507	498	6,075	5,575	500
全身麻酔	252	253	274	268	268	304	257	283	280	295	269	267	279	3,297	3,019	278
脊椎麻酔	65	69	68	82	71	72	71	91	71	69	67	68	75	874	781	93
麻酔管理料Ⅰ（全麻）	173	172	200	178	165	208	162	167	162	194	175	168	170	2,121	2,075	46
麻酔管理料Ⅰ（脊麻・硬麻）	4	3	2	5	5	2	4	3	3	4	2	3	2	38	42	▲4
麻酔管理料Ⅱ（全麻）	76	80	73	84	105	97	105	124	120	104	98	103	111	1,204	911	293
麻酔管理料Ⅱ（脊麻・硬麻）	1	0	1	1	1	0	0	0	3	1	0	1	0	8	14	▲6
術後疼痛管理チーム加算	-	155	232	286	202	267	189	173	210	226	180	186	174	2,480	-	-

診療科別手術室件数	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	▲14
胃食道外科	11	11	16	19	15	19	11	12	13	13	18	16	13	176	129	47
大腸肛門外科	30	22	22	25	29	29	24	19	22	22	23	19	21	277	356	▲79
肝胆膵外科	23	23	24	25	23	29	23	29	24	27	23	22	25	297	281	16
呼吸器外科	15	25	13	20	16	18	17	15	17	19	20	18	14	212	176	36
乳腺・内分泌外科	14	13	17	11	17	19	20	20	20	24	15	10	17	203	167	36
救命救急科	39	42	66	49	49	49	50	55	50	55	50	56	53	624	464	160
整形外科	66	59	68	68	68	82	73	69	68	65	71	74	79	844	789	55
脳神経外科	19	24	19	19	13	23	21	24	22	21	17	26	26	255	226	29
心臓血管外科	12	10	13	9	15	11	14	11	12	11	14	11	11	142	143	▲1
皮膚科	12	17	15	12	15	18	16	16	19	12	13	15	12	180	143	37
形成外科	18	20	22	25	19	19	19	25	19	27	24	18	19	256	220	36
泌尿器科	62	72	82	80	67	85	72	86	69	69	63	75	77	897	748	149
産婦人科	29	29	31	35	25	28	20	31	35	35	25	26	30	350	343	7
眼科	75	71	62	79	64	77	62	44	73	59	82	76	55	804	904	▲100
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	23	23	24	32	28	30	26	31	29	29	28	25	29	334	275	59
歯科口腔外科	11	13	7	15	11	14	16	11	13	9	10	14	8	141	128	13
救急・総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎臓内科	6	5	7	6	6	5	3	9	7	10	10	6	9	83	68	15
その他診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※手術室を利用した件数とする

臨床検査技術科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
生化Ⅰ判断料	5,440	5,495	5,666	5,913	5,630	6,091	5,723	5,737	5,522	5,668	5,792	5,544	5,644	68,425	65,277	3,148
生化Ⅱ判断料	1,616	1,668	1,813	1,863	1,797	1,971	1,757	1,856	1,761	1,862	1,832	1,874	1,867	21,921	19,390	2,531
免疫判断料	5,473	5,315	5,376	5,515	5,324	5,909	5,509	5,434	5,255	5,384	5,695	5,275	5,267	65,258	65,681	▲423
血液判断料	5,382	5,473	5,642	5,876	5,601	6,011	5,691	5,697	5,500	5,612	5,767	5,497	5,596	67,963	64,580	3,383
尿糞便判断料	1,879	1,831	1,972	2,043	1,911	2,039	1,880	1,931	1,865	1,855	1,931	1,826	1,861	22,945	22,551	394
外来迅速検体検査加算	4,297	4,186	4,462	4,711	4,372	4,711	4,305	4,464	4,313	4,262	4,280	4,140	4,231	52,437	51,566	871
時間外緊急院内検査加算	381	455	479	417	482	512	490	431	452	508	507	447	454	5,634	4,574	1,060

薬剤科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
薬剤管理指導料	1,618	1,664	1,860	1,943	1,919	2,139	1,959	2,059	1,988	1,981	1,927	1,867	1,809	23,115	19,414	3,701
病棟薬剤業務実施加算1	2,215	2,584	2,406	2,398	2,711	2,596	2,426	2,727	2,370	2,671	2,594	2,450	2,763	30,696	26,580	4,116
病棟薬剤業務実施加算2	1,103	828	923	838	1,025	1,079	1,015	946	1,017	990	1,176	1,189	1,127	12,153	13,237	▲1,084
無菌製剤処理料	910	919	889	929	970	940	871	977	928	866	985	851	896	11,021	10,922	99
外来腫瘍化学療法診療1	605	566	567	567	512	570	492	521	570	510	538	549	511	6,473	7,265	▲792
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	564	569	546	582	540	573	573	566	580	593	563	539	592	6,816	6,764	52
退院時薬剤情報管理指導料	731	766	828	897	860	979	884	932	842	950	744	808	896	10,386	8,767	1,619
化学療法調製件数（入院）	136	148	146	161	183	183	185	208	133	130	153	121	140	1,891	1,630	261
化学療法調製件数（外来）	758	707	726	710	662	742	649	726	716	644	674	689	654	8,299	9,101	▲802

リハビリテーション科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
心大血管疾患リハビリテーション	528	663	550	580	611	638	480	560	488	567	671	722	644	7,174	6,335	839
脳血管リハビリテーション	2,491	2,280	3,007	2,493	2,562	3,069	2,841	3,218	2,767	2,649	2,615	2,834	2,938	33,273	29,889	3,384
廃用リハビリテーション	1,504	1,397	1,329	1,663	1,578	1,474	1,490	1,536	1,380	1,521	1,342	1,247	1,268	17,225	18,052	▲827
運動器リハビリテーション	1,229	1,330	1,193	1,488	1,421	1,499	1,217	1,254	1,297	1,257	1,279	1,216	1,137	15,588	14,752	836
呼吸器リハビリテーション	1,506	1,424	1,413	1,398	1,184	1,683	1,370	1,317	1,276	1,295	1,510	1,219	1,116	16,205	18,077	▲1,872
がん患者リハビリテーション	483	612	590	893	715	689	552	512	601	502	447	465	497	7,075	5,796	1,279

臨床工学科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
人工腎臓	130	195	175	154	135	133	169	187	132	190	215	180	229	2,094	1,565	529
持続緩徐式血液濾過	23	15	10	21	18	39	15	24	19	15	27	39	36	278	275	3
吸着式血液浄化法	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	▲5
血球成分除去療法	1	0	0	2	6	2	0	0	0	1	1	0	0	12	6	6
血漿交換療法	4	3	0	0	9	0	1	4	7	0	0	17	2	43	53	▲10
人工呼吸	327	248	220	235	305	256	295	284	310	243	419	415	410	3,639	3,924	▲286
ME機器点検件数	2,271	2,609	2,866	2,833	3,044	3,160	3,006	2,724	2,838	2,791	2,732	2,691	2,832	34,126	27,249	6,877

栄養管理科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
栄養サポートチーム加算	109	111	94	93	113	132	111	120	115	100	111	116	96	1,312	1,313	▲1
外来栄養食事指導料	85	76	74	95	87	81	83	61	84	84	88	69	82	964	1,014	▲50
入院栄養食事指導料	152	210	199	217	201	217	221	277	253	217	228	246	203	2,689	1,818	871
集団栄養食事指導料	8	13	7	11	4	10	8	6	7	2	7	8	0	83	95	▲12
普通食	6,408	6,667	7,110	7,320	7,491	8,295	7,293	7,340	7,209	7,340	6,651	6,151	6,713	85,580	76,899	8,681
軟食	7,542	7,439	8,261	8,373	8,087	9,185	8,620	8,235	7,945	9,066	8,562	8,456	8,254	100,483	90,506	9,977
流動食	2,987	3,053	3,375	2,657	2,318	2,942	3,566	2,965	3,075	2,466	3,404	3,398	3,452	36,671	35,839	832
特別食	11,307	12,293	12,713	12,924	13,624	13,210	13,061	13,330	12,078	13,172	14,141	13,704	14,032	158,282	135,686	22,596

看護局	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
院内感染防止対策加算	1,016	1,040	1,116	1,098	1,123	1,231	1,049	1,100	1,058	1,035	1,114	1,047	1,068	13,079	12,195	884
医療安全対策加算	1,016	1,040	1,116	1,098	1,123	1,231	1,049	1,100	1,058	1,035	1,114	1,047	1,068	13,079	12,195	884
院内トリアージ実施料	1,529	1,158	584	604	938	1,095	886	829	558	585	688	525	516	8,966	18,351	▲9,385
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	7	7	7	6	10	9	7	7	9	11	8	14	9	104	82	22
精神科リエゾンチーム加算	55	63	69	41	38	59	64	57	53	63	55	54	47	663	659	4
入退院支援加算	776	757	827	880	892	956	922	977	838	951	735	760	816	10,311	9,314	997
地域連携診療計画加算	4	6	6	4	4	9	5	3	1	3	1	5	5	52	43	9
摂食機能療法	333	407	582	416	314	392	324	208	368	276	209	242	373	4,111	3,997	114
総合機能評価加算	508	500	520	529	534	575	577	615	553	609	496	515	566	6,589	6,095	494
認知症ケア加算1	308	456	330	325	351	391	265	348	326	349	250	351	428	4,170	3,694	476

病床管理センター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
1週間以内の再入院	19	15	29	26	15	27	33	23	27	26	18	26	28	293	227	66
計画外の再入院	12	8	19	20	11	20	17	14	13	15	9	19	18	183	143	40
計画的再入院	7	7	10	6	4	7	16	9	14	11	9	7	10	110	84	26
退院数	1,063	1,066	1,154	1,162	1,045	1,296	1,151	1,206	1,123	1,290	1,102	1,156	1,248	13,999	12,755	1,244
入院期間Ⅰ未満	228	227	223	240	219	273	253	233	254	255	244	236	255	2,912	2,737	175
入院期間Ⅰ以上Ⅱ未満	524	520	562	598	508	626	527	578	547	662	537	553	617	6,835	6,283	552
入院期間Ⅱ以上	268	267	323	289	275	347	322	336	260	333	281	316	323	3,672	3,217	455
包括対象外	13	18	11	16	17	10	12	18	18	9	12	19	18	178	161	17
その他（短期滞在等）	30	34	35	19	26	40	37	41	44	31	28	32	35	402	357	45
入院期間Ⅱ未満の割合（%）	72	72.4	70.2	73.3	71.3	71.6	70.0	69.6	74.2	72.8	72.7	70.2	71.9	71.7	72.8	▲1.1
室料差額徴収率（%）	48	57.8	55.2	54.6	55.0	53.5	50.3	53.8	52.9	53.9	53.1	49.0	48.5	53.1	48.1	5.0

救命救急センター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
救急搬送患者	747	759	840	844	893	964	851	788	777	918	873	758	825	10,090	8,960	1,130
救急搬送からの入院	302	293	329	280	343	388	328	323	333	364	394	341	360	4,076	3,628	448
救急搬送患者（内科系）	405	431	480	468	498	595	491	432	437	516	517	443	473	5,781	4,865	916
救急搬送からの入院（内科系）	182	182	204	163	215	261	197	193	204	231	256	225	229	2,560	2,187	373
ウォークイン患者	798	563	525	489	540	469	463	429	393	513	636	391	406	5,817	9,572	▲3,755
ウォークインからの入院	141	163	147	146	154	149	141	136	128	135	140	130	135	1,704	1,696	8
ウォークイン患者（内科系）	308	282	301	297	314	294	268	257	233	262	298	228	231	3,265	3,700	▲435
ウォークインからの入院（内科系）	72	88	72	69	76	94	77	85	67	79	84	81	75	947	872	75
救急搬送応需率（%）	69	74.9	78.4	82.6	71.8	67.0	73.6	78.6	74.6	78.5	66.1	69.4	72.1	74.0	69.2	4.8
お断り件数	357	254	231	178	350	475	305	214	265	251	448	334	319	3,624	4,289	▲665
ドクターカー出動件数	17	26	25	19	18	20	16	24	20	24	14	9	13	228	209	19
救命救急入院料3（HCU）	303	238	316	266	360	362	373	331	330	317	407	434	424	4,158	3,632	526
救命救急入院料4（ICU）	145	127	123	88	121	143	124	139	157	153	176	168	158	1,677	1,736	▲59

※救命救急入院料3・4は救命救急センターで算定した件数とする

集中治療センター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
ハイケアユニット入院医療管理料1	100	147	157	153	159	172	156	147	192	173	227	207	183	2,073	1,202	871
特定集中治療室管理料1	162	156	143	171	171	163	160	143	161	183	175	201	158	1,985	1,943	42

※集中治療センターで算定した件数とする

予防健診科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
がん検診	688	510	612	766	720	831	739	883	923	935	823	1,010	1,242	9,994	8,257	1,737
人間ドック	168	217	213	263	235	227	208	231	227	215	184	200	242	2,662	2,018	644
健康診断	257	103	173	217	208	215	207	223	217	223	198	204	217	2,405	3,079	▲674

Ⅴ　研　究　研　修

原著、総説、著書（2023年4月～2024年3月）

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
血液内科	EHBP1L1, an apicobasal polarity regulator, is critical for nuclear polarization during enucleation of erythroblasts	Ji Wu・Kenta Moriwaki Tatsuya Asuka Ritsuko Nakai Satoshi Kanda Manabu Taniguchi Tatsuki Sugiyama Shin-Ichiro Yoshimura Masataka Kunii Takashi Nagasawa Naoki Hosen Eiji Miyoshi Akihiro Harada	Blood Adv.	7(14)	3382-3394	2023
	Sequential therapy with inotuzumab ozogamicin followed by CAR T-cell therapy for Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia	Yo Mizutani Shinsuke Kusakabe Kentaro Fukushima Hiraku Murakami Masataka Hamada Chihiro Hasegawa Emiko Mizuta Yuta Yamaguchi Ritsuko Nakai Ryumei Kurashige Akihisa Hino Tomoaki Ueda Jiro Fujita Takako Miyamura Naoki Hosen	Rinsho Ketsueki.	65(2)	78-83	2024
腎臓内科	The effect of dapagliflozin on uric acid excretion and serum uric acid level in advanced CKD.	Iwata Y・Notsu S Kawamura Y・Mitani W Tamai S・Morimoto M Yamato M	Scientific Report	13(1)	4849	2023
	Diabetic nephropathy with marked extra-capillary cell proliferation: a case report	Morimoto M Namba-Hamano Tomoko Notsu S・Iwata Y Yasuhara Y・Yamato M Isaka Y	BMC Nephrol	24(1)	139	2023
	腎サポートとアフェレシス：Kidney Replacement TherapyはRescueやRecoveryとしての効果も有しうるのか？	倭　　成史	日本アフェレシス学会雑誌	42(1)	21-25	2023
糖尿病・内分泌・代謝内科	Comparing the clinical significance and antigen specificity of insulinoma-associated antigen-2 autoantibodies between radioimmunoassay and enzyme-linked immunosorbent assay in Japanese patients with type 1 diabetes.	Kawasaki E・Shimada A Imagawa A・Abiru N Awata T・Oikawa Y Osawa H・Kawabata Y Kozawa J・Kobayashi T Takahashi K・Chujo D Fukui T・Miura J Yasuda K・Yasuda H Kajio H・ Hanafusa T Ikegami H; Committee of type 1 diabetes・ Japan Diabetes Society.	J Diabetes Investig	14(1)	58-66	2023
	Bivalent GAD autoantibody ELISA improves clinical utility and risk prediction for adult autoimmune diabetes.	Kawasaki E・Shimada A Imagawa A・Abiru N Awata T・Oikawa Y Osawa H・Kawabata Y Kozawa J・Kobayashi T Takahashi K・Chujo D Fukui T・Miura J Yasuda K・Yasuda H Kajio H・Hanafusa T Ikegami H; Committee of type 1 diabetes・ Japan Diabetes Society.	J Diabetes Investig	14(4)	570-581	2023
	Fulminant Type 1 Diabetes - East and West.	Imagawa A・Hanafusa T	J Clin Endocrinol Metab.	108(12)	1473-1478	2023
脳神経内科	Analysis of splicing abnormality in the white matter of myotonic dystrophy type 1 brain using RNA sequencing.	Yoshizumi K・Fujimura H et al.	Neurosci Rep		Oct 6: S0168-0102 (23) 00192-X doi:10.1016/jneures	2023
	An autopsy case of diffuse atypical argyrophilic grain disease(AGD) with presenile onset and three-year curse of motor and cognitive impairment.	Inoue K・Fujimura H　et al.	Neuropathology		Nov 7.doi:10.1111/neup 12949	2023
	Clinical course of pathologically confirmed corticobasal degeneration and corticobasal syndrome.	Aiba I・Fujimura H・ et al.	Brain Com		Nov 3,doi.org/10.1093/brai ncomms/fcad296	2023

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
脳神経内科	中心静脈カテーテル感染より Rothia kristinaeの敗血症性塞栓症を呈し死亡した1例	萩原　伊織・渡邊　有史 江左　佳樹・大薗　達彦 階堂三砂子・藤村　晴俊 長谷川耕平・長井　美樹 安原裕美子・小林　潤也	堺市立総合医療センター医学雑誌	2022	121-126	2023
	原因不明の ミオパチーを背景に急性肝障害を呈し死亡した一例	渡邊　有史・江左　佳樹 梶山　裕太・階堂三砂子 藤村　晴俊・高橋　俊介 安原裕美子・小林　潤也	堺市立総合医療センター医学雑誌	2022	105-112	2023
心療内科	遺族の精神的苦痛に有効な向精神薬について ー遺族ケアガイドラインからー	阪本　　亮・蓮尾　英明	グリーフ＆ビリーブメント研究	4	39-44	2023
	廃止された心療内科に所属した医師のひとりごと	阪本　　亮	心身医学	64（1）	29-31	2024
感染症内科	市中肺炎の経口治療に用いる抗菌薬は何がよいのか？	村田　賢哉・小川　吉彦 笠原　　敬	外来で武器になる総合診療のエビデンスをぎゅうっとまとめました		307-309	2023
	MRSAによる骨関節感染症に対してテジゾリドは有効か？	Hasegawa K	J-IDEO	7(4)	592-595	2023
	フルオロキノロンによるアキレス腱炎の既往のある患者に，フルオロキノロンの再投与は可能か？	Hasegawa K	J-IDEO	7(6)	914-916	2023
	First case report of ″Helicobacter labetoulli″ sp nov. bacteraemia in a patient with human immunodeficiency virus in Japan.	Hasegawa K・Murata K Suzuki Y・Yano H Ogawa Y	New Microbes and New Infections	57	101219	2024
	ドキシサイクリンによって性行為感染症の予防は可能か？	Hasegawa K	J-IDEO	8(2)	307-310	2024
小児科	繰り返す腹痛に創部感染を併発し,免疫グロブリン製剤が有効であったIgA血管炎	星野　美麗・高野　良彦 川上　展弘・高柳　恭子 入山　　晶・岡村　隆行	日本小児科学会雑誌	27(9)	1195-1201	2023
消化器外科	Soluble programmed cell death ligand 1 predicts prognosis for gastric cancer patients treated with novolumab: Blood-based biomarker analysis for DELIVER trial.	Kawakami H・Sunakawa Y Inoue E・Matoba R Noda K・Sato T Suminaka C・Yamaki M Sakamoto Y・Kawabata R Ishiguro A・Akamaru Y Kito Y・Yabusaki H Matsuyama J・Takahashi M Makiyama A・Hayashi H Chamoto K・Honjo T Nakagawa K・Ichikawa W Fujii M	Eur J Cancer	184	10-20	2023
	Incidence and risk factors for venous thromboembolism in the Cancer-VTE Registry stomach cancer subcohort.	Yoshikawa T・Sano T Terashima M・Yamaguchi K Bando E・Kawabata R Yabusaki H・Shinohara H Oba MS・Kimura T・Takita A Sasako M	Gastric cancer	26 (4)	493-503	2023
	A Multicener, Phase II Trial of Schedule Modkification for Nab-Paclitaxel in Combination with Ramucirumab for Patients with Previously Treated Advanced Gastric or Gastroesophageal Junction Cancer: The B-RAX Trial (JACCRO GC-09).	Kawabata R・Izawa N Suzuki T・Hagahisa Y Nishikawa K・Takahashi M Nakamura M・Ishiguro A Katsuya H・Hihara J Manaka D・Negoro Y Tsuji A・Takahashi T Kochi M・Azuma M Kadowaki S・Michimae H Sunakawa Y・Ichikawa Y Fujii M	Target Oncol.	18 (3)	359-368	2023
	Survival impact of microsatellite instability in stage II gastric cancer patients who received S-1 adjuvant monotherapy after curative resection	Sato C・Kawakami H Tanaka R・Satake H Inoue K・Kimura Y Fujita J・Kawabata R Chiba Y・Satoh T Nakagawa K	Sci Rep.	13 (1)	10826	2023
	Multicenter Phase II study of capecitabine plus oxaliplatin in older patients with advanced gastric cancer: the Tokyo Cooperative Oncology Group (TCOG)GI-1601 study	Kawabata R・Chin K Takahari D・Hosaka H Muto O・Shindo Y Nagata N・Yabusaki H Imamura H・Endo S Kashiwada T・Nakamura M Hihara J・Kobayashi M Sagawa T・Saito S Sato A・Yamada T Okano N・Shimada K Matsushima M・Kataoka M Matsumoto S・Goto M Kotaka M・Shiraishi T Yamai H・Nagashima F Ishizuka N・Yamaguchi K	Gastric cancer	26 (6)	1020-1029	2023

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	A rare intrahepatic splenosis mimicking hepatocellular carcinoma: A case report	Umeda I・Tomihara H Maeda S・Kitagawa A Miyamoto K・Kawabata R Nishikawa K・Noura S Yasuhara Y・Miyamoto A	Mol Clin Oncol.	19 (5)	91	2023
	Interferon signaling promotes tolerance to chromosomal instability during metastatic evolution in renal cancer	Luigi Perelli Federica Carbone Li Zhang・Justin K Huang Courtney Le・Hania Khan Francesca Citron Edoardo Del Poggetto Tony Gutschner Hideo Tomihara Melinda Soeung Rosalba Minelli Sanjana Srinivasan Michael Peoples Truong Nguyen Anh Lam Sebastian Lundgren Ruohan Xia・Cihui Zhu Alaa M T Mohamed Jianhua Zhang Kanishka Sircar Alessandro Sgambato JianJun Gao・Eric Jonasch Giulio F Draetta Andrew Futreal Ziad Bakouny Eliezer M Van Allen Toni Choueiri Sabina Signoretti Pavlos Msaouel Kevin Litchfield Samra Turajlic Linghua Wang Ying Bei Chen Renzo G Di Natale A Ari Hakimi Virginia Giuliani Timothy P Heffernan Andrea Viale Christopher A Bristow Nizar M Tannir Alessandro Carugo Giannicola Genovese	Nat Cancer	4 (7)	984-1000	2023
	Convergent genomic diversity and novel BCAA metabolism in intrahepatic cholangiocarcinoma.	Kitagawa A・Osawa T Noda M・Kobayashi Y Aki S・Nakano Y Saito T・Shimizu D Komatsu H・Sugaya M Takahashi J・Kosai K Takao S・Motomura Y Sato K・Hu Q・Fujii A Wakiyama H・Tobo T Uchida H・Sugimachi K Shibata K・Utsunomiya T Kobayashi S・Ishii H Hasegawa T・Masuda T Matsui Y・Niida A Soga T・Suzuki Y Miyano S・Aburatani H Doki Y・Eguchi H Mori M・Nakayama KI Shimamura T・Shibata T Mimori K.	Br J Cancer.	128 (12)	2206-2217	2023
	Subclonal accumulation of immune escape mechanisms in microsatellite instability-high colorectal cancers	Kobayashi Y・Niida A Nagayama S・Saeki K Haeno H・Takahashi KK Hayashi S・Ozato Y Saito H・Hasegawa T Nakamura H・Tobo T Kitagawa A・Sato K Shimizu D・Hirata H Hisamatsu Y・Toshima T Yonemura Y・Masuda T Mizuno S・Kawazu M Kohsaka S・Ueno T Mano H Ishihara S・Uemura M Mori M・Doki Y Eguchi H・Oshima M Suzuki Y・Shibata T Mimori K	Br J Cancer.	29 (7)	1105-1118	2023
	Transducin Beta-like 2 is a Potential Driver Gene that Adapts to Endoplasmic Reticulum Stress to Promote Tumor Growth of Lung Adenocarcinoma	Kosai K・Masuda T Kitagawa A・Tobo T Ono Y・Ando Y Takahashi J Haratake N Kohno M Takenaka T Yoshizumi T Mimori K.	Ann Surg Oncol	30 (12)	7597-7598	2023

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	Clinical Study Group of Osaka University, Colorectal Cancer Treatment Group (CSGOCG). Lymph node metastasis in T1 colorectal cancer: Risk factors and prediction model	Fujino S・Miyoshi N Kitakaze M・Yasui M Ohue M・Osawa H Ide Y・Sueda T Tei M・Takeda T Danno K・Suzuki Y Noura S・Ohshima K Morii E・Takahashi H Uemura M・Yamamoto H Murata K・Doki Y Eguchi H	Oncol Lett	25 (5)	191	2023
	Minimizing invasiveness and simplifying the surgical procedure for upper and middle early gastric cancer with near-infrared light and organ traction	Nagano S・Ushimaru Y Kawabata R・Kitagawa A Ohara N・Miyake Y Tomihara H・Maeda S Noura S・Miyamoto A Nishikawa K	World J Surg Oncol	21 (2)	82	2023
	Robot-assisted laparoscopic surgery with a fluorescent near-infrared ray ureteral catheter for a rectal cancer patient with pelvic kidney: A case report.	Hasegawa N・Takeyama H Suzuki Y・Noura S Ikenaga M・Odagiri K Yanagimoto Y・Yamashita M Shimizu J・Kawase T Imamura H・Iwazawa T Tomita N・ Dono K	Asian J Endosc Surg	16 (2)	279-283	2023
	A proposed new Japanese classification of synchronous peritoneal metastases from colorectal cancer: A multi-institutional, prospective, observational study conducted by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum	Kobayashi H・Kotake K Kawasaki M・Kanemitsu Y Kinugasa Y・Ueno H Maeda K・Suto T Itabashi M・Funahashi K Ozawa H・Koyama F Noura S・Ishida H Ohue M・Kiyomatsu T Ishihara S・Koda K Baba H・Kawada K Hashiguchi Y・Goi T Toiyama Y・Tomita N Sunami E・Akagi Y Watanabe J・Hakamada K Nakayama G・Sugihara K Ajioka Y	Ann Gastroenterol Surg	7 (5)	765-771	2023
	The Phase II Study of Panitumumab in Chemotherapy-Naïve Frail or Elderly Patients with RAS Wild-type Colorectal Cancer: OGSG 1602 Final Results	Terazawa T・Kato T Goto M・Ohta K Satake H・Noura S Kagawa Y・Kawakami H Hasegawa H・Yanagihara K Shingai T・Nakata K Kotaka M・Hiraki M Konishi K・Nakae S Sakai D・Kurokawa Y Shimokawa T・Tsujinaka T Satoh T	Oncologist	28 (7)	2309-2328	2023
	A rare intrahepatic splenosis mimicking hepatocellular carcinoma: A case report.	Umeda I・Tomihara H Maeda S・Kitagawa A Miyamoto K・Kawabata R Nishikawa K・Noura S Yasuhara Y・Miyamoto A	Mol Clin Oncol.	19 (5)	91	2023
	EssentiAL Trial Group. Blood Perfusion Assessment by Indocyanine Green Fluorescence Imaging for Minimally Invasive Rectal Cancer Surgery (EssentiAL trial): A Randomized Clinical Trial.	Watanabe J・Takemasa I Kotake M・Noura S Kimura K・Suwa H Tei M・Takano Y Munakata K・Matoba S Yamagishi S・Yasui M Kato T・Ishibe A Shiozawa M・Ishii Y Yabuno T・Nitta T Saito S・Saigusa Y Watanabe M	Ann Surg	278 (4)	688-694	2023
	Clinical Significance of Intramural Metastasis as an Independent Prognostic Factor in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ushimaru Y・Makino T Tanaka K・Yamashita K Saito T・Yamamoto K Takahashi T・Kurokawa Y Nakajima K・Morii E Eguchi H・Doki Y.	Ann Surg Oncol	30 (8)	5159-5202	2023
	ASO Author Reflections: Intramural Metastasis as Dismal Prognostic Factor in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ushimaru Y・Makino T Doki Y.	Ann Surg Oncol	30 (8)	5203-5204	2023
	ASO Visual Abstract: Intramural Metastasis as an Independent Prognostic Factor in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ushimaru Y・Makino T Doki Y.	Ann Surg Oncol	30 (9)	5930	2023

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	A distal ileum malignant peripheral nerve sheath tumour after abdominal radiation therapy: case report of a rare tumour.	Siripongvutikorn Y Noura S Nakata K・Miyake Y Ohara N・Kitagawa A Ushimaru Y・Maeda S Kawabata R・Nishikawa K Yasuhara Y・Miyamoto A.	Int Cancer Conf J	13 (1)	1-5	2023
	Efficacy of human resource development program for young industry personnel who will be involved in future medical device development.	Tsugita Y・Ushimaru Y Kato T・Sasaki M Hata T・Hosaka M Eguchi H・Doki Y Nakajima K.	Surg Endosc	37 (12)	9633-9642	2023
	Modified Collard technique is more effective than circular stapled for cervical esophagogastric anastomosis in prevention of anastomotic stricture: a propensity score-matched study	Takeoka T・Hiroshi Miyata Keijiro Sugimura Takashi Kanemura Takahito Sugase Masaaki Yamamoto Naoki Shinno・Hisashi Hara Yoshiaki Fujii Yosuke Mukai Kei Asukai Manabu Mikamori Shinichiro Hasegawa Hirofumi Akita Naotsugu Haraguchi Junichi Nishimura Hiroshi Wada Chu Matsuda Takeshi Omori Masayoshi Yasui Masayuki Ohue Masahiko Yano	Dis Esophagus	36 (5)	1-10	2023
	Comparison of the effects of open and laparoscopic approach on body composition in gastrectomy for gastric cancer: A propensity score-matched study	Takeoka T・Yamamoto K Kurokawa Y・Miyazaki Y Kawabata R・Omori T Imamura H・Fujita J Eguchi H・ Doki Y.	Ann Gastroenterol Surg	8 (1)	40-50	2023
	The utility of bile juice culture analysis for the management of postoperative infection after pancreaticoduodenectomy	Asukai K・Akita H Mukai Y・Mikamori M Hasegawa S・Fujii Y Sugase T・Yamamoto M Takeoka T・Shinno N Hara H・Kanemura T Haraguchi N・Nishimura J Matsuda C・Yasui M Omori T・Miyata H Ohue M・Sakon M Wada H・Takahashi H.	Surgery	173 (4)	1039-1044	2023
	Significance of dissection in each regional lymph-node station of esophageal cancer based on efficacy index and recurrence patterns after curative esophagectomy	Kanemura T・Miyata H Takeoka T・Sugase T Sugimura K・Yamashita K Tanaka K・Makino T Ota M・Yagi K Toh Y・Seto Y Doki Y.	Esophagus	20 (3)	402-409	2023
	Clinical Impact of Enhanced Recovery After Esophagectomy in Patients With Esophageal Cancer	Sugase T・Takeoka T Urakawa S・Sugimura K Masuike Y・Shinno N Hara H・Omori T Kitakaze M・Kubo M Mukai Y・Sueda T Hasegawa S・Akita H Nishimura J・Wada H Yasui M・Miyata H	Anticancer Res	43 (9)	4197-4205	2023
	Patterns of Recurrence and Long-Term Survival of Minimally Invasive Esophagectomy Versus Open Esophagectomy for Locally Advanced Esophageal Cancer Treated with Neoadjuvant Chemotherapy: a Propensity Score-Matched Analysis	Sugimura K・Miyata H Kanemura T・Takeoka T Sugase T・Masuzawa T Katsuyama S・Motoori M Takeda Y・Murata K Yano M	J Gastrointest Surg	27 (6)	1055-1065	2023
	Clinical Impact of Metastatic Lymph Node Size on Therapeutic Effect and Prognosis in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma Who Underwent Preoperative Chemotherapy Followed by Esophagectomy	Sugimura K・Miyata H Kanemura T・Takeoka T Sugase T・Yamamoto M Shinnno N・Hara H Omori T・Motoori M Ohue M・Yano M	Ann Surg Oncol	30 (7)	4193-4202	2023

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	ASO Author Reflections: Clinical Impact of Metastatic Lymph Node Size on Therapeutic Effect and Prognosis in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma Who Underwent Preoperative Chemotherapy Followed by Esophagectomy	Sugimura K・Miyata H Kanemura T・Takeoka T Sugase T・Yamamoto M Shinnno N・Hara H Omori T・Motoori M Ohue M・ Yano M	Ann Surg Oncol	30 (7)	4203-4204	2023
	ASO Visual Abstract: Clinical Impact of Metastatic Lymph Node Size on Therapeutic Effect and Prognosis in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma Who Underwent Preoperative Chemotherapy Followed by Esophagectomy	Sugimura K・Miyata H Kanemura T・Takeoka T Sugase T・Yamamoto M Shinnno N・Hara H Omori T・Motoori M Ohue M・Yano M	Ann Surg Oncol	30 (7)	4205-4206	2023
	Adjuvant Chemotherapy With S-1 Plus Docetaxel Versus S-1 Plus Oxaliplatin in Stage III Gastric Cancer	Yamamoto M・Omori T Shinno N・Hara H Mukai Y・Sugase T Takeoka T・Mikamori M Kanemura T・Hasegawa S Akita H・Haraguchi N Nishimura J・Wada H Matsuda C・Yasui M Miyata H・Ohue M	Anticancer Res	43 (11)	5015-5024	2023
	術前化学療法が奏効した局所進行巨大S城結腸癌の1例	神波奈央子・大原　信福 今里　光伸・能浦　真吾 牛丸　裕貴・北川　彰洋 富原　英生・前田　　栄 川端　良平・宮本　敦史	癌と化学療法	50 (13)		2023
	十二指腸結腸瘻に対して胃空腸吻合術と右側結腸分離術を同時施行した1例	横内　　隆・川端　良平 西川　和宏・牛丸　裕貴 大原　信福・三宅祐一朗 北川　彰弘・前田　　栄 中田　　健・安原裕美子 宮本　敦史	日本消化器外科学雑誌	56 (5)	249-255	2023
	十二指腸結腸瘻に対して胃空腸吻合術と右側結腸分離術を同時施行した 1 例	横内　　隆・川端　良平 西川　和宏・牛丸　裕貴 大原　信福・三宅祐一朗 北川　彰洋・前田　　栄 中田　　健・安原裕美子 宮本　敦史	日消外会誌	56	249-55	2023
	A comprehensive study on non-cancer-related mortality risk factors in elderly gastric cancer patients post-curative surgery.	Ushimaru Y・Nagano S Nishikawa K・Kawabata R Takeoka T・Kitagawa A Ohara N・Tomihara H Maeda S・Imazato M Noura S・Miyamoto A.	BMC Gastroenterol	24(1)	78	2024
	Early detection of occupational cholangiocarcinoma in a high-risk patient under intensive surveillance: a case study.	Kounami N・Maeda S Kitagawa A・Tomihara H Ushimaru Y・Ohara N Takeoka T・Imasato M Kawabata R・Noura S Yasuhara Y・Miyamoto A.	Surg Case Rep	10(1)	68	2024
	Short-term outcomes of adjuvantnivolumab after neoadjuvant chemotherapy in patients with resected esophageal squamous cell carcinoma	Sugase T・Kanemura T Takeoka T・Matsumura N Masuike Y・Shinno N Hara H・Kitakaze M Kubo M・Mukai Y Sueda T・Hasegawa S Akita H・Nishimura J Wada H・Yasui M Omori T・ Miyata H	Anticancer Res	44(1)	185	2024
	Significance of comprehensive analysis of preoperrative sarcopenia based onf muscle mass, muscle strength, and physical function for the prognosis of patients with esophageal cancer	Kanemura T・Takeoka T Sugase T・Urakawa S Masuike Y・Shinno N Hara H・Kitakaze M Kubo M・Mukai Y Sueda T・Hasegawa S Akita H・Nishimura J Wada H・Yasui M Omori T・Miyata H	Ann Surg Oncol	31(2)	818	2024
	AYAチームとともに治療方針決定を行った切除不能Stage IVb肛門管癌30歳代女性の1例	鈴木　陽三・池永　雅一 佐藤　泰史・小田切数基 柳本　喜智・山下　雅史 竹山　廣志・小林　　晶 能浦　真吾・清水　潤三 川瀬　朋乃・赤木　謙三 岩澤　　卓・冨田　尚裕 今村　博司	癌と化学療法	51(1)	69-71	2024

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
救命救急科	外傷性十二指腸傍乳頭憩室穿孔の1例	矢野　愛華	Japanese Journal of Acute Care Surgery	13	109-113	2023
	胆石性イレウスが術前に解除された1例	羽田美沙祈	堺市立総合医療センター医学雑誌	23	100-105	2023
	止血のひけつ　軟部組織損傷	薬師寺秀明	救急医学	47 (9)		2023
	集団食中毒	森田　正則	今日の治療指針2023	65	44-45	2023
	肋骨骨折	臼井　章浩	今日の治療指針2023	65	55-56	2023
	胃洗浄法	中田　康城	今日の治療指針2023	65	105-106	2023
整形外科・リハビリテーション科	大腿骨顆上骨折に対して逆行性髄内釘固定後大腿骨転子部骨折が生じた1例	田中　敬祐・鄒　　明憲 久野亜積実・川本　匡規 大野　一幸	骨折	45(1)	135-138	2023
	多発肋骨骨折に対するMatrix RIBの使用経験	川本　匡規・久野亜積実 岡田　昌浩・亀山　　貞 杉田　　淳・大野　一幸	骨折	45(1)	46-50	2023
	月状骨窩尺側骨片を伴う橈骨遠位端骨折の3例	片岡　利行・安井　行彦 亀山　　貞・杉田　　淳 大野　一幸	骨折	45(1)	17-20	2023
	鎖骨骨折における骨粗鬆症の関与	大野　一幸・久野亜積実 亀山　　貞・川本　匡規 片岡　利行・杉田　　淳	骨折	45(2)	324-328	2023
	当院におけるスポーツ活動による小児上肢骨折の特徴と傾向	杉田　　淳・細澤　幸輝 久野亜積実・亀山　　貞 岡田　昌浩・川本　匡規 片岡　利行・大野　一幸	骨折	45(2)	556-559	2023
	鎖骨重複骨折に肋骨骨折を合併した2例	久野亜積実・亀山　　貞 川本　匡規・杉田　　淳 大野　一幸	骨折	45(3)	962-965	2023
	松下法を用いた矯正終了時にピン刺入部で骨折が生じた外傷性足関節尖足変形の1例	杉田　　淳・細澤　幸輝 大野　一幸	日本四肢再建・創外固定学会雑誌	34	45-49	2023
	大腿骨転子部骨折術後のtelescoping量の予測	細澤　幸輝・久野亜積実 川本　匡規・片岡　利行 杉田　　淳・大野　一幸	整形外科	74(10)	1061-1064	2023
	下肢骨折のケアの根拠	久野亜積実・大野　一幸	整形外科看護	29(2)	52-55	2023
脳神経外科	Silicate Microfiber Scaffolds Support the Formation and Expansion of the Cortical Neuronal Layer of Cerebral Organoids With a Sheet-Like Configuration	Eisaku Terada・Yohei Bamba Masatoshi Takagaki Shuhei Kawabata Tetsuro Tachi Hajime Nakamura Takeo Nishida Haruhiko Kishima	Stem Cells Translational Medicine	12	825-837	2023
皮膚科	Langerhans cell histiocytosis associated with primary myelofibrosis presenting as disseminated maculopapular rash.	Isei M・Nakata J Deno R・Sugihara A Matsuura A・Shibano M Yasuhara Y・Nakatsuka SI Tanaka A	J Dermatol	50(4)	e133-e134	2023
産婦人科	Uncommon hamatogenous metastasis: orbital involvement in uterine cervical cancer.	Yamaguchi S・Koizumi M Kakuda M・Yamamoto T.	Am J Case Rep	24	e941076-1-e941076-8	2023
	当科における婦人科再発悪性腫瘍に対する手術療法の臨床的検討	山口　峻市・齋藤　庸太 河田真由子・八木　一暢 竹田満寿美・兪　　史夏 横山　拓平・太田　行信 山本　敏也	堺市立総合医療センター医学雑誌	24	45328 2-6	2023
	若年性卵巣癌に対する妊孕性温存手術後に再び卵巣癌を発症した一例	松吉　　光・北井　俊大 竹田満寿美・兪　　史夏 横山　拓平・太田　行信 安原裕美子・山本　敏也	堺市立総合医療センター医学雑誌	24	45611　11-15	2023
	超音波ガイド下生検で診断に至った卵巣悪性リンパ腫の１例	齋藤　庸太・太田　行信 松浦　　愛・中村　純寿 安原裕美子・山口　峻市 河田真由子・八木　一暢 竹田満寿美・兪　　史夏 横山　拓平・山本　敏也	堺市立総合医療センター医学雑誌	24	43-47	2023

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
眼科	Two cases of diabetic macular edema with diminished areas of retinal non-perfusion and microaneurysms after intravitreal faricimab injections	Miki Sawa・Norihiko Nakagawa Takuya Shunto Issei Nishiyama	American Journal of Ophthalmology Case Reports	Dec 7:33	101973	2023
頭耳鼻咽喉科	外傷性嗅覚障害における受傷から受診までの罹病期間についての検討	赤澤　仁司・長井　美樹	日本鼻科学会会誌	62	143-147	2023
診断放射線科	Diffuse astrocytoma, MYB- or MYBL1-alterd	藤原　政宏	画像診断	43(10)	980-981	2023
	Polymorphous low-grade neuroepithelial tumour of the young(PLNTY)	藤原　政宏・髙橋　洋人 香川　尚己・貴島　晴彦	画像診断	43(10)	982-985	2023
病理診断科	A rare intrahepatic splenosis mimicking hepatocellular carcinoma: A case report	Issei Umeda・Hideo Tomihara Sakae Maeda Akihiro Kitagawa Kana Miyamoto Ryohei Kawabata Kazuhiro Nishikawa Shingo Noura Yumiko Yasuhara Atsushi Miyamoto	Mol Clin Oncol.	19	91	2023
	Diabetic nephropathy with marked extra-capillary cell proliferation: a case report	Madoka Morimoto Tomoko Namba-Hamano Shoki Notsu・Yukimasa Iwata Yumiko Yasuhara Masafumi Yamato Yoshitaka Isaka	BMC Nephrol.	24	139	2023
	外傷性十二指腸傍乳頭憩室穿孔の1例	矢野　愛華・天野　浩司 茅田　洋之・安原裕美子 橋本　　優・加藤　文崇 向井　信貴・晋山　直樹 臼井　章浩・森田　正則	Japanese Journal of Acute Care Surgery	13(1)	109-113	2023
	局所再発をきたした乳腺偽血管腫様過形成の1例	加藤　　彩・山村　　順 安原裕美子	日本臨床外科学会雑誌	85(2)	222-226	2024
遺伝診療科	幼い子供に常染色体優性多発性嚢胞腎の遺伝学的検査を希望し来談した１家族例	階堂三砂子・宮田ゆかり	堺市立総合医療センター医学雑誌		17-20	2023
	中心静脈カテーテル感染より Rothia kristinaeの敗血症性塞栓症を呈し死亡した1例	萩原　伊織・渡邊　有史 江左　佳樹・大薗　達彦 階堂三砂子・藤村　晴俊 長谷川耕平・長井　美樹 安原裕美子・小林　潤也	堺市立総合医療センター医学雑誌		121-126	2023
	原因不明の ミオパチーを背景に急性肝障害を呈し死亡した一例	渡邊　有史・江左　佳樹 梶山　裕太・階堂三砂子 藤村　晴俊・高橋　俊介 安原裕美子・小林　潤也	堺市立総合医療センター医学雑誌		105-112	2023
	当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する取り組み	横山　拓平・山村　　順 階堂三砂子・好井　里世	堺市立総合医療センター医学雑誌		2-6	2023
	当院におけるマイクロサテライト不安定性検査後のLynch症候群精査機会提供状況について	階堂三砂子・安原裕美子 柴　　正恵・中浦　佳子 横山　拓平・中田　　健 齊藤　孝子・柳下祐貴子 髙瀬　未穂・宮﨑　翔梧 山村　　順	癌と化学療法 Jpn J Cancer Chemother	50 (10)	1069-1072	2023
緩和ケア科	術後乳糜腹水に対してエチレフリンが有用であった1症例	山本　敏也・川端　良平 島津真理子・河田　尚子 濱中　裕子・山本　明紀 多田　暢子・稲垣　裕介 吉岡　　巖・高山　仁志	堺市立総合医療センター医学雑誌	24	25-27	2023
薬剤科	「悪性リンパ腫化学療法による好中球減少症におけるフィルグラスチムBS 注シリンジ「F」 ®とレノグラスチム注の有効性および安全性についての症例報告」	遠藤　晋吾・藤井　一美 安井友佳子・石坂　敏彦	日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 ジェネリック研究	17	014-018	2023
	院内HighPerformanceLiquid Chromatographyによる voriconazoleの血中濃度測定-薬剤師による外来患者へのTDMと診療支援-	山本　圭城・安井友佳子 山本　弘平・日比野泰志 安井　裕之・石坂　敏彦 小川　吉彦	日本化学療法学会雑誌	VOL,72 NO,1JANUARY	9-16	2024

科　名	題　　名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
薬剤科	供給困難回避指標のための本邦における販売中止医療用医薬品に関する実態調査	橋本　貴子・遠藤　晋吾 井上　知美・石渡　俊二 藤井　一美・安井友佳子 石坂　敏彦・小竹　　武	日本病院薬剤師会雑誌	60(2)	1002-1007	2024
	薬剤師力の型 -新たな思考と行動プランを手に入れろ-	大西　敦子	月刊誌「薬局」	Vol.75 No.3	138-145	2024
	配合変化だけではなく薬理作用やデバイスの特性も考慮せよ					
	「薬剤師サマリ」を用いた切れ目ない地域連携における評価	藤井　一美・安井友佳子 石坂　敏彦・鹿嶋　隆行 鈴木　利次	大阪府薬剤師会雑誌	75 (1)	23-25	2024
リハビリテーション技術科	新人理学療法士指導者の現状と課題-指導者におけるメンタリング行動と個人の資質の傾向-	松川　訓久・石野麻衣子 堀本ゆかり	日本リハビリテーション教育学会誌	7 (1)	1-12	2024
臨床工学科	救急・集中治療領域における医療スタッフの多職種連携協働と倫理的苦悩との関連	大西　輝幸・河野あゆみ 岡本双美子	臨床倫理	11	45-53	2023
臨床検査技術科	新型コロナウイルス感染症の細胞診への影響　-日本臨床細胞学会認定施設年報集計からみた全国調査報告-	佐々木伸也・若狭　朋子 小山　芳徳・濱川　真治 三宅　慎司・荒木　邦夫 池田　　聡・長尾　俊孝 廣岡　保明	日本臨床細胞学会雑誌	第62巻3号	139-144	2023
	コロナ禍における細胞診業務への影響に関するアンケート調査	田路　英作・伊藤　　仁 阿部　　仁・今枝　義博 小松　京子・佐々木伸也 澁木　康雄・姫路由香里 三宅　真司・山城　　篤 若狭　朋子	日本臨床細胞学会雑誌	第62巻5号	227-236	2023
看護局	家族による支援が難しい患者の退院支援	藤原　真弓	日総研　隔月刊地域連携　入退院と在宅支援	16 (4)	64-69	2023
	集中治療の効果が無く死にゆく患者の家族の悲嘆への看護実践	米村　　亮・北村　愛子 大江　理英	大阪公立大学看護学雑誌	1	33-42	2023
	事故防止への対策 警報の原因と対応	田中　順也	透析ケア	29 (5)	27-36	2023
	ナラテイブを活用した看護外来における意思決定支援 - 患者の語りの中にヒントがある -	田中　順也	外来看護・季刊誌	28 (3)	92-97	2023
	透析だけがわが人生　ことばが教えてくれたもの	田中　順也	透析ケア	30 (3)	78	2024
	透析の種類とは透析時間について	田中　順也	透析ケア別冊 血液透析の基本がわかる	別冊	22-27	2024
	看護実践発表の実際②発表での工夫	田中　順也	臨牀透析	40 (3)	60-66	2024
	患者への還元を目的とした看護記録業務の改善	澤田　恵美	看護展望	48 (9)	41-45	2023
疾病予防管理センター	地方自治体における複合的フレイル予防の取り組みにかかる調査研究事業の報告書	石坂　敏彦	令和4年度厚生労働省老人保健健康増進等事業報告書		https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001106239.pdf	2023

学会研究会報告（2023年4月～2024年3月）

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
血液内科	リツキシマブ投与後急速に乳酸アシドーシスが進行し死亡した血管内リンパ腫の一例	中野　光世・松浦　　愛 新井　達也・向井　　悟 畑中　一生・安原裕美子	第118回近畿血液学地方会	2023.5.27
	T細胞大顆粒リンパ球性（T-LGL）白血病に合併した中枢原発大細胞型B細胞リンパ腫（PCNSL）の一剖検例	松浦　　愛・柴野　　賢 向井　　悟・新井　達也 安原裕美子・畑中　一生	第85回日本血液学会学術集会	2023. 10.13-10.15
	骨髄にて7番トリソミーを認めた 肝脾T細胞リンパ腫	向井　　悟・松浦　　愛 新井　達也・畑中　一生	第85回日本血液学会学術集会	2023. 10.13-10.15
	中枢神経（CNS）に再発したPrimary cutaneous anaplastic large cell lymphoma（pcALCL）	岡﨑早也圭・光行　智司 向井　　悟・松浦　　愛 畑中　一生・安原裕美子	第119回近畿血液学地方会	2023.11.25
腎臓内科	ラニムスチン投与後に糸球体と尿細管上皮にkaryomegalic change	三谷　和可・河村　勇志 野津　翔輝・岩田　幸真 森本まどか・倭　　成史	第66回日本腎臓学会学術総会	2023.6.9
	CKD患者におけるダパグリフロジン10mgがHb値に与える影響	河村　勇志・岩田　幸真 三谷　和可・野津　翔輝 森本まどか・倭　　成史	第66回日本腎臓学会学術総会	2023.6.9
	SGLT2阻害薬開始時におけるeGFR dipと尿蛋白がその後のeGFR変化	三谷　和可・岩田　幸真 河村　勇志・野津　翔輝 森本まどか・倭　　成史	第66回日本腎臓学会学術総会	2023.6.9
	CKD患者におけるダパグリフロジン10mgがHb値に与える影響	河村　勇志・岩田　幸真 三谷　和可・野津　翔輝 森本まどか・倭　　成史	第66回日本腎臓学会学術総会	2023.6.9
	右片側性胸水貯留を伴った急激な腎機能障害の一例	金原　充志・野津　翔輝 河村　勇志・玉井慎二郎 三谷　和可・岩田　幸真 森本まどか・倭　　成史	第53回日本腎臓学会東部学術大会	2023.9.16
	チアマゾールの関与が疑われる顕微鏡的多発血管炎の一症例	鈴木美佐季・野津　翔輝 三谷　和可・岩田　幸真 森本まどか・倭　　成史	第53回日本腎臓学会東部学術大会	2023.9.17
	初診時に腎クリーゼと血栓性微小血管症を合併した強皮症の2例	宮本　佳奈・野津　翔輝 三谷　和可・岩田　幸真 森本まどか・倭　　成史	第53回日本腎臓学会東部学術大会	2023.9.17
	これでわかる！セミナー：AKI to CKDを考える	倭　　成史	第34回日本急性血液浄化学会学術集会	2023.10.1
	救急・集中治療領域におけるアフェレシス：腎サポートとアフェレシス： Kidney Replacement TherapyはRescueやRecoveryとしての効果も有しうるのか？	倭　　成史	第44回日本アフェレシス学会学術大会	2023.10.21
糖尿病・内分泌・代謝内科	ステロイドパルス療法におけるインスリン必要量についての検討	戸上　竜一・松野　真人 村川　慧祐・井関　隼也 宮里　　舞・福井　健司 花房　俊昭・藤澤　智巳	第66回日本糖尿病学会年次学術集会	2023. 5.11-5.13
	膵病変を合併する1型糖尿病の臨床的，遺伝的特徴の検討―日本人1型糖尿病の包括的データベース（TIDE-J）より―	福井　智康・梶尾　　裕 中條　大輔・安田　和基 霜田　雅之・春日　雅人 今川　彰久・池上　博司 大澤　春彦・島田　　朗 長澤　　幹・及川　洋一 安田　尚史・粟田　卓也 川﨑　英二・高橋　和眞 小林　哲郎・花房　俊昭 小澤　純二・香月　健志 小谷　紀子・土屋恭一郎 堀江　一郎・能宗　伸輔 金綱　規夫	第66回日本糖尿病学会年次学術集会	2023. 5.11-5.13
	1型糖尿病発症後のプロインスリン濃度―日本人1型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開―	長江　亮太・橘　　恵 今川　彰久・小谷　紀子 阿比留教生・粟田　卓也 池上　博司・岩橋　博見 及川　洋一・大澤　春彦 大津　　洋・香月　健志 金綱　規夫・川﨑　英二 川村　良一・小澤　純二 小林　哲郎・島田　　朗 霜田　雅之・高橋　和眞 中條　大輔・辻本　哲郎 土屋恭一郎・寺川　瞳子 寺前　純吾・長澤　　幹 能宗　伸輔・福井　智康 安田　和基・安田　尚史 栁内　秀勝・花房　俊昭 梶尾　　裕	第66回日本糖尿病学会年次学術集会	2023. 5.11-5.13
	緩徐進行1型糖尿病における進行予測に関する検討（TIDE-J研究）	川﨑　英二・粟田　卓也 池上　博司・今川　彰久 戎野　朋子・及川　洋一 大澤　春彦・香月　健志 金綱　規夫・川村　良一 小澤　純二・小谷　紀子 小林　哲郎・島田　　朗 霜田　雅之・高橋　和眞 中條　大輔・辻本　哲郎 土屋恭一郎・寺川　瞳子 寺前　純吾・長澤　　幹 能宗　伸輔・福井　智康 堀江　一郎・安田　和基 安田　尚史・栁内　秀勝 花房　俊昭・梶尾　　裕	第66回日本糖尿病学会年次学術集会	2023. 5.11-5.13

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
糖尿病・内分泌・代謝内科	緩徐進行1型糖尿病における膵島関連自己抗体とインスリン分泌の経年的変化の検討	小谷　紀子・島田　　朗 川﨑　英二・中條　大輔 霜田　雅之・粟田　卓也 寺川　瞳子・池上　博司 及川　洋一・大澤　春彦 小澤　純二・香月　健志 金綱　規夫・小林　哲郎 高橋　和眞・土屋恭一郎 長澤　　幹・能宗　伸輔 福井　智康・堀江　一郎 安田　和基・安田　尚史 今川　彰久・花房　俊昭 梶尾　　裕	第66回日本糖尿病学会年次学術集会	2023. 5.11-5.13
	手術療法により血糖コントロールが改善した尖端肥大症の1例	井関　隼也・松野　真人 友淵　美佳・福井　健司 藤澤　智巳・花房　俊昭	第241回日本内科学会近畿地方会	2023.9.2
	(教育講演)劇症１型糖尿病　東西の比較から	今川　彰久・花房　俊昭	第22回日本先進糖尿病治療・１型糖尿病研究会	2023. 11.4-11.5
	αグルコシダーゼ阻害薬による腸管気腫症の2例	井関　隼也・松野　真人 友淵　美佳・福井　健司 藤澤　智巳・花房　俊昭	第61回日本糖尿病学会九州地方会	2023. 12.1-12.2
消化器内科	ビリルビン吸着療法が奏効した急性肝不全非昏睡型の一例	高橋　俊介	第43回南大阪肝疾患研究会	2023.10.13
	上部直腸癌に対する大腸ステント留置の経験	澁川　成弘・永田　詩歩 藤森　正樹・伊藤　公子 合原　　彩・高橋　俊介 三宅祐一郎・北村　信次	第106回日本消化器内視鏡学会総会	2023.11.3
	遺伝子検査にて診断された常染色体劣性多発性のう胞腎による肝硬変の一例	高橋　俊介	第16回南大阪肝疾患治療研究会	2023.11.25
	胃癌に併発し石灰化を伴った胃GISTの１切除例	澁川　成弘・永田　詩歩 藤森　正樹・伊藤　公子 合原　　彩・高橋　俊介 北村　信次	第96回日本胃癌学会総会	2024.2.29
	クローン病類似の小腸病変を呈した家族性地中海熱の1例	石井　佑佳・合原　　彩 永田　詩歩・藤森　正樹 伊藤　公子・高橋　俊介 北村　信次・階堂三砂子	第243回日本内科学会近畿地方会	2024.3.16
脳神経内科	ペンブロリズマブ投与終了後に筋炎を発症した再発子宮体癌の1例	河田真由子・山口　峻市 齋藤　庸太・八木　一暢 北井　俊大・竹田満寿美 兪　　史夏・横山　拓平 太田　行信・階堂三砂子 山本　敏也	第148回日近畿産科婦人科学会学術集会，和歌山	2023. 6.17-6.18
	SMONの長期生存例	豊岡　佳子・藤村　晴俊　他	第64回日本神経病理学会（神戸）	2023.7.6
	抗N-metyl-D-aspartate receptor (NMADR)脳炎の二症例	井上貴美子・藤村　晴俊　他	第64回日本神経病理学会（神戸）	2023.7.6
	巨大軸索性ニューロパチーの長期生存例（第1報）	藤村　晴俊　他	第64回日本神経病理学会（神戸）	2023.7.7
	ブレインバンクを通じた生検末梢神経筋組織の蓄積	藤村　晴俊　他	第64回日本神経病理学会（神戸）	2023.7.7
	TDP-43変異家族性筋萎縮性側索硬化症の一剖検例	森　　千晃・藤村晴俊　他	第64回日本神経病理学会（神戸）	2023.7.7
	SNCA duplicationを伴う家族性パーキンソン病の一例	山寺みさき・藤村晴俊　他	第64回日本神経病理学会（神戸）	2023.7.7
	病理解剖から症例について学ぶことの重要性	井上貴美子・藤村晴俊　他	第64回日本神経病理学会（神戸）	2023.7.7
	50歳で1p36欠失症候群と診断された知的発達症の1例	階堂三砂子	2023年度7月高槻病院遺伝カンファレンス，Web	2023.7.20
	急性期病院における薬物適正使用に向けた認知症ケアチームの介入効果について	東野　考智・中野　剛志 濱岡　重徳・階堂三砂子	第61回全国自治体病院学会、札幌	2023. 8.31-9.1
	Cellular analysis of SOD1 protein-aggregation propensity and toxicity: a case of ALS with slow progression harboring homozygous SOD1-D92G mutation.	Sawamura M・Imamura K Hikawa R・Enami T Nagahashi A・Yamakado H Ichijo H・Fujisawa T Yamashita H・Minamiyama S Kaido M・Wada H Urushitani M・Inoue H Naohiro Egawa N Takahashi R	PACTALS2023，マレーシア	2023. 9.14-9.16
	A Case of Chromosome 1p36 Deletion Syndrome Diagnosed Using Chromosomal Microarray Testing at Age 50.	Misako Kaido M・Yokoyama T Yotsumoto Y Hashimoto-Tamaoki T	Human Genetics Asia 2023 （日本人類遺伝学会第68回大会，第14回アジアパシフィック人類遺伝学会，第22回東アジア人類遺伝学会連合の合同開催），東京	2023. 10.11-10.14
	てんかんを伴う知的発達症の1例	階堂三砂子	てんかん勉強会，Web	2023.11.14
	移転等傾向で発症し、L-dopa有効のパーキンソニズムを呈した大脳皮質基底核変性症の一例	井上貴美子・藤村晴俊　他	第49回臨床神経病理懇話会（滋賀）	2023.11.18
	シャルコーマリートゥース病（CMT1A）とパーキンソン病（PD）と診断されていた102歳の剖検例	豊岡　佳子・藤村晴俊　他	第49回臨床神経病理懇話会（滋賀）	2023.11.18
	長期経過を確認できた常染色体潜性遺伝肢帯型筋ジストロフィー3型（LGMDR3）の１軽症例	階堂三砂子・豊岡　圭子 高安　　健・西野　一三	日本神経学会第126回近畿地方会，大阪	2023.12.16
	長期経過を確認できた常染色体潜性遺伝肢帯型筋ジストロフィー3型（LGMDR3）の１軽症例	階堂三砂子	2023年度1月高槻病院遺伝カンファレンス，Web	2024.1.11
	(座長)「大規模ゲノム解析を基盤とした認知症研究」 国立長寿医療研究センター研究所　メディカルゲノムセンター長　尾崎浩一先生講演	階堂三砂子	第2回堺市認知症セミナー，大阪・ハイブリッド	2024.2.3
	肺炎球菌性髄膜炎に合併した遅発性脳塞栓症に対してステロイド治療が有効であった一例	鈴木　　裕・櫻井　　玲 杉山慎太郎・階堂三砂子 藤村　晴俊・小林　潤也	日本神経学会第127回近畿地方会，大阪	2024.3.3

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
脳神経内科	脳梗塞を契機として診断に至った心室中隔欠損症の自然閉鎖後ポーチ内部に血栓形成を認めた一例	西岡　　唯・櫻井　　玲 鈴木　　裕・杉山慎太郎 階堂三砂子・藤村　晴俊 大西　俊成・小林　潤也	STROKE 2024，第49回日本脳卒中学会学術集会，横浜ハイブリッド開催	2024. 3.7-3.9
心療内科	よくわかるシリーズ7 身体症状（痛み）と心理	阪本　　亮	第36回日本サイコオンコロジー学会総会	2023.10.6
	現状の心身医学を反映する難しい課題	阪本　　亮	第67回日本心身医学会近畿地方会	2024.2.11
小児科	経皮的腎動脈形成術が奏功した小児腎血管性高血圧の一例	遠藤　友子・成岡　紗帆 星野　美麗・高野　良彦 藤田真祐子・高柳　恭子 井代　　学・入山　　晶 川上　展弘・中村　純寿 馬場　皆人・山村なつみ 山本　勝輔・岡村　隆行	第237回　大阪小児科学会	2023.4.5
	長軸方向に長い脊髄病変を呈した脊髄炎の一例	加嶋　　翼・藤田真祐子 成岡　紗帆・入山　　晶 星野　美麗・高野　良彦 高柳　恭子・川上　展弘 遠藤　友子・岡村　隆行	第312回　堺市医師会小児科医会学術例会	2023.6.3
	年末に発症した肺炎の1例	加嶋　　翼・遠藤　友子 成岡　紗帆・高野　良彦 星野　美麗・藤田真祐子 入山　　晶・高柳　恭子 川上　展弘・岡村　隆行	第12回堺小児救急フォーラム	2023.9.2
	貧血・血小板減少症の1例	高野　良彦・岡村　隆行	第35回　大阪小児科医会救急・新生児研修会 第35回	2023.9.9
	炎症反応高値を呈した背部捕の 1例	日野　孝祐・高野　良彦 成岡　紗帆・星野　美麗 藤田真祐子・髙柳　恭子 遠藤　友子・入山　　晶 川上　展弘・杉田　　淳 岡村　隆行	第36回　大阪小児科医会救急・新生児研修会 第35回	2024.2.10
	急性腹症を契機に遺伝性血管性浮腫(HAE)と診断された家族歴のない1例	門脇　史歩・成岡　紗帆 星野　美麗・藤田真祐子 高野　良彦・高柳　恭子 遠藤　友子・入山　　晶 川上　展弘・岡村　隆行	第37回　近畿小児科学会	2024.3.10
	精巣上体炎が先行し家族歴を有する不全型川崎病の年長児の一例	辻本　拓眞・川上　展弘 成岡　紗帆・高野　良彦 星野　美麗・藤田真祐子 入山　　晶・遠藤　友子 高柳　恭子・岡村　隆行	第37回　近畿小児科学会	2024.3.10
消化器外科	膵癌組織におけるマトリックスメテロプロテアーゼ（MMPｓ）発現の網羅的解析と膵癌患者の予後に対するMMPs発現の意義	富原　英生	第123回日本外科学会定期学術集会	2023. 4.27-4.29
	腫瘍縮小から考えるConversionを狙ったCytotoxic combinationにおけるFU選択	西川　和宏	第123回日本外科学会定期学術集会	2023. 4.27-4.29
	当科にて遺伝子パネル検査を施行した胆膵癌8例の検討	北川　彰洋	第123回日本外科学会定期学術集会	2023. 4.27-4.29
	胃癌に対する化学療法＋ニボルマブ療法の実臨床における治療成績	川端　良平	第123回日本外科学会定期学術集会	2023. 4.27-4.29
	当院における高齢者胃癌手術の現状と合併症リスク因子の検討	牛丸　裕貴	第123回日本外科学会定期学術集会	2023. 4.27-4.29
	食道癌術後の体組成変化が予後に及ぼす影響についての検討	武岡　奉均	第123回日本外科学会定期学術集会	2023. 4.27-4.29
	腹腔鏡下尾側膵切除術における脾温存の検討	前田　　栄	第123回日本外科学会定期学術集会	2023. 4.27-4.29
	悪液質を伴う胃癌患者における アナモレリンの使用経験	川端　良平	日本臨床栄養代謝学会	2023. 5.9-5.10
	術前化学療法が奏効した局所進行巨大S城結腸癌の1例	神波奈央子	第45回日本癌局所療法研究会	2023.6.2
	重症COPD/サルコペニア合併 食道胃接合部癌に対し、多職種の術前介入により根治切除しえた一例	牛丸　裕貴	関西胸部外科学会	2023. 6.8-6.9
	cT3brとcT4胸部食道癌に対する導入療法の違いによる治療成績について	武岡　奉均	第66回関西胸部外科学会	2023. 6.8-6.9
	The electrosurgical dynamics and efficacy of bipolar clamp crushing technique	Ushimaru Y	EAES	2023. 6.20-6.23
	当院における高齢食道癌患者に対する DCF療法の現状	川端　良平	第77回日本食道学会	2023. 6.29-6.30
	重症COPD合併食道胃接合部癌に対し、多職種の術前介入により根治切除しえた一例	牛丸　裕貴	第77回日本食道学会	2023. 6.29-6.30
	cT4 胸部食道癌に対する Conversion 手術の臨床的意義について	武岡　奉均	第77回日本食道学会学術集会	2023. 6.29-6.30
	Prognostic impact of clinicopathological features among the 11 patients with primary duodenal adenocarcinoma who underwent curative surgery in our hospital	富原　英生	第35回日本肝胆膵外科学会学術集会	2023. 6.30-7.1
	Study of difficulty score in laparoscopic cholecystectomy at our hospital - bailout procedures for severe inflammation	北川　彰洋	第35回日本肝胆膵外科学会学術集会	2023. 6.30-7.1
	悪性腫瘍による門脈狭窄症に対する門脈ステント留置の検討 Portal vein stenting for portal vein stenosis due to malignant tumor progression	前田　　栄	第35回日本肝胆膵外科学会学術集会	2023. 6.30-7.1
	ゲノム変異に基づく治療が困難ながんに対するマルチオミックス解析による治療標的探索 の有用性	北川　彰洋	第29回侵襲とサイトカイン研究会	2023.7.6
	悪液質を伴う胃癌化学療法患者の予後因子解析	川端　良平	第60回日本外科代謝栄養学会	2023. 7.6-7.8

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
消化器外科	食道癌術後の体組成変化と予後についての検討	武岡　奉均	第60 回日本外科代謝栄養学会	2023. 7.6-7.8
	腹膜転移の病勢制御を考えたFU 選択-進行胃癌 1 次治療におけるSP 対 XP の無作為化試験のメタ解析からの考察	西川　和宏	第78回日本消化器外科学会総会	2023. 7.12-7.14
	悪液質を伴う進行再発胃癌の化学療法に対するプロシュアの有用性に関する第Ⅱ相試験	川端　良平	第78回日本消化器外科学会	2023. 7.12-7.14
	超高齢者胃癌手術の現状と合併症リスク因子の検討	牛丸　裕貴	第78回日本消化器外科学会	2023. 7.12-7.14
	cT4 胸部食道癌に対する導入療法後の Conversion 手術の臨床的意義について	武岡　奉均	第78回日本消化器外科学会	2023. 7.12-7.14
	悪性腫瘍の進行に伴う門脈狭窄症に対する門脈ステントの有用性 Efficacy of portal stent for portal vein stenosis associated with malignant tumor progression	前田　　栄	第78回日本消化器外科学会	2023. 7.12-7.14
	膵嚢胞性腫瘍破裂後の再発膵癌に対して 集学的治療を行った1例	富原　英生	第54回日本膵臓学会大会	2023. 7.21-7.22
	当院における原発性十二指腸癌手術症例11例の臨床病理学的検討	富原　英生	第50回日本膵切研究会	2023. 8.25-8.26
	悪液質を呈する胃癌症例に対するアナモレリンの有用性	川端　良平	日本緩和医療学会　第5回関西支部学術大会	2023.9.2
	IPMNの破裂を来した膵癌の１例	前田　　栄	第59回日本腹部救急医学会総会	2023.9.10
	十二指腸結腸瘻に対して胃空腸吻合術と右側結腸分離術を同時施行した1例	川端　良平	第59回日本腹部救急医学会総会	2023.9.10
	腹腔鏡下幽門側胃切除術術後早期に生じた非閉塞性腸管虚血の一例	牛丸　裕貴	第59回日本腹部救急医学会総会	2023.9.10
	IPMNの破裂を来した膵癌の１例	前田　　栄	第59回日本腹部救急医学会総会	2023.9.10
	腹腔内膿瘍を契機に診断し得たlow-grade BilINの一例	北川　彰洋	第59回日本胆道学会	2023. 9.14-9.15
	高齢食道癌患者に対する術前DCF療法の臨床経験	川端　良平	第61回日本癌治療学会	2023. 10.19-10.21
	フレイルを伴う超高齢胃癌患者への治療前介入の取り組みと周術期短期成績への影響	牛丸　裕貴	第61回日本癌治療学会	2023. 10.19-10.21
	cT3brとcT4胸部食道癌に対する至適導入療法についての検討	武岡　奉均	第61回日本癌治療学会学術集会	2023. 10.19-10.21
	胸部食道癌手術における再建経路の違いによる周術期成績ならびに栄養状態の比較検討	武岡　奉均	第76回日本胸部外科学会定期学術集会	2023. 10.19-10.21
	一次治療におけるSP対XPの無作為化試験のメタ解析から考えるStageIV胃癌治療戦略	西川　和宏	第21回日本消化器外科学会大会（JDDW 2023 KOBE）	2023. 11.2-11.5
	肝内胆管癌におけるゲノム多様性と分岐鎖アミノ酸代謝の探求	北川　彰洋	第21回日本消化器外科学会大会（JDDW 2023 KOBE）	2023. 11.2-11.5
	Real worldにおける胃癌悪液質症例に対するアナモレリンの使用経験	川端　良平	JDDW2023	2023. 11.2-11.5
	高齢胃癌患者における根治切除後の他病死リスク因子の検討	牛丸　裕貴	JDDW2023	2023. 11.2-11.5
	長期生存が得られた直腸癌原発転移性膵癌の切除後再発例	井上　潮音	第85回日本臨床外科学会総会	2023. 11.16-11.18
	合併症をきたさない食道癌手術を 目指した当院の工夫	牛丸　裕貴	食道癌 Clinical Web Seminar	2023.11.27
	The impact of pre-operative nutritional/rehabilitative assessments and support on postoperative outcomes in very elderly gastric cancer patients	Ushimaru Y	ESMO ASIA	2023. 11.30-12.2
	超高齢者胃癌における低侵襲手術の治療成績	牛丸　裕貴	日本内視鏡外科学会2023	2023. 12.7-12.9
	当科での肝胆膵外科手術における体成分分析の検討	北川　彰洋	第78回日本消化器外科学会	2023.12.13
	当院における原発性十二指腸癌、十二指腸乳頭部癌手術症例の比較検討	富原　英生	第78回日本消化器外科学会	2023.12.14
	切除不能S状結腸癌多発肝転移に対して抗癌剤治療が奏功しconversion therapyが可能となり長期生存を得た1例	明石 大輝	第78回日本消化器外科学会	2023.12.14
	食道癌術後における年齢層別の周術期合併症の比較検討	武岡　奉均	第36回日本外科感染症学会	2023. 12.15-12.16
	高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する周術期カペシタビン+オキサリプラチン療法の第Ⅱ相試験（OGSG1701）	松山　　仁	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	胃癌肝転移に対する外科切除に関する前向き多施設臨床試験：3年全生存割合と無再発生存割合	藤谷　和正	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	出血性胃癌に対して術前化学療法後にロボット支援下噴門側胃切除術を施行した一例	川端　良平	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	胃癌に併発し石灰化を伴った胃GISTの一切除例	澁川　成弘	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	悪液質を伴う進行胃癌の一次化学療法に対するエイコサペンタエン酸強化栄養剤の有用性に関する第Ⅱ相試験	西川　和宏	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	胃癌術後ONS投与のランダム化比較試験の長期成績	山本　和義	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	切除不能進行・再発胃癌における年齢層別の１時治療の現状について	武岡　奉均	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	術後機能障害とQOLに影響を及ぼす因子に関する解析	山下公太郎	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
消化器外科	再発した胃癌・胃食道接合部癌におけるリキッドバイ尾プシーのCGP検査：Liquid-GEAR試験	石黒　　敦	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	胃がんにおけるがん遺伝子パネル検査の実際	杉本　直俊	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	上部消化管がんに対する遺伝子パネル検査の臨床利用の実態を調査する多施設共同研究	高橋　　剛	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	ｃStageⅣ胃癌に対するケモ+ICI後コンバージョン手術の検討	大森　　健	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	P,CYを有した進行胃癌に対するConversion surgeryの治療成績の検討	原　　尚志	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	当科における食道残胃吻合の手技と術後逆流性食道炎のリスクについて	新野　直樹	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	進行胃癌Conversion surgery後の化学療法についての後方視的検討	益池　靖典	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	Nivolumab投与にて長期病勢コントロールが得られた食道胃接合部癌の治療中に異時性小腸転移が出現した1例	原　　圭吾	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	術前化学療法を施行した進行胃癌に対する開腹vs腹腔鏡手術の治療成績の検討	杉村啓二郎	第96回日本胃癌学会総会	2024. 2.28-3.1
	高齢消化器外科患者における術前認知機能と術後せん妄：包括的老年評価（CGA）の視点から	山口　晴菜	第33回日本がんチーム医療研究会	2024.3.16
	高齢者消化器がん患者における周術期嚥下能力と術後肺炎：個別化された栄養介入の重要性	吉山　志織	第33回日本がんチーム医療研究会	2024.3.16
	電解質喪失症候群を伴った巨大直腸絨毛腫瘍に対して外科的切除を施行した1例	井田　和美	第60回日本腹部救急医学会総会	3.21-3.22
呼吸器外科	呼吸器外科領域でのロボット支援下手術の有用性：局所進行肺がんへの対応	池田　直樹・白石　　綾 山本　陽子・茅田　洋之	日本外科学会定期学術集会（123）	2023.4.28
	剣状突起下アプローチによるロボット支援下縦隔腫瘍摘出術におけるポート作成の工夫	山本　陽子・池田　直樹 白石　　綾・茅田　洋之	日本外科学会定期学術集会（123）	2023.4.28
	気管支分岐異常を伴う肺がんに対しロボット支援下右上葉切除を施行した１例	白石　　綾・山本　陽子 池田　直樹	関西胸部外科学会学術集会(66)	2023.6.8
	COVID-19陽性VV-EVMO管理下に発症した肺出血に肺葉切除を施行した１例	白石　　綾・山本　陽子 池田　直樹	関西胸部外科学会学術集会(66)	2023.6.8
	気管支分岐異常を伴う肺がんに対しロボット支援下右上葉切除を施行した１例	白石　　綾・山本　陽子 池田　直樹	胸部外科教育施設協議会学術集会総会(35)	2023.6.17
	ロボット支援下手術施行５年間での重大インシデント２症例	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾・茅田　洋之	日本呼吸器外科学会総会（40）	2023.7.13
	ロボット支援縦隔腫瘍摘出術の腫瘍局在とアプローチ選択について	山本　陽子・池田　直樹 白石　　綾・茅田　洋之	日本呼吸器外科学会総会（40）	2023.7.13
	右大動脈弓合併肺癌に対し右上葉管状切除術を施行した 1 例	白石　　綾・山本　陽子 茅田　洋之・池田　直樹 太田　三徳	日本呼吸器外科学会総会（40）	2023.7.13
	デュアルコンソールロボット手術指導	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾	日本呼吸器外科学会総会（40）	2023.7.14
	ロボット支援呼吸器外科手術における当院での安全管理の実際	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾	日本胸部外科学会(76)	2023.10.19
	局所進行肺癌に対する術前化学放射線療法後のロボット支援手術	山本　陽子・池田　直樹 白石　　綾	日本胸部外科学会(76)	2023.10.19
	COVID-19陽性でVV-ECMO管理下に発症した肺出血に肺葉切除を施行した1例	白石　　綾・山本　陽子 池田　直樹	日本胸部外科学会(76)	2023.10.19
	肺がんに対するロボット支援肺切除の治療成績： 当科の現状について	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾	日本肺癌学会(64)	2023.11.3
	局所進行肺癌に対する術前療法後の肺切除成績	山本　陽子・池田　直樹 白石　　綾	日本肺癌学会(64)	2023.11.3
	ALK 阻害剤投与後にサルベージ手術を行い小細胞肺癌・扁平上皮癌への形質転換を認めた肺腺癌の一例	白石　　綾・山本　陽子 池田　直樹	日本肺癌学会(64)	2023.11.3
	ダビンチ肺切除において分葉不全にどう向き合うか	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾	RATS zoom seminar	2023.11.28
	術前療法後のロボット支援下手術	山本　陽子・池田　直樹 白石　　綾	近畿呼吸器手術手技研究会(48)	2023.12.1
	ロボット支援肺がん手術での当科における安全管理の工夫： 「クロスモーダルエフェクト」を意識する	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾	日本内視鏡外科学会総会(36)	2023.12.8
	剣状突起下アプローチによるロボット支援下縦隔腫瘍摘出術： ポートホップの有用性	山本　陽子・池田　直樹 白石　　綾	日本内視鏡外科学会総会(36)	2023.12.8
	肺葉切除の気管支切離時に誤挿入されたカテーテルを切離した2例	白石　　綾・山本　陽子 池田　直樹	日本内視鏡外科学会総会(36)	2023.12.8
	ロボット支援下手術の現在地とその伝承	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾	Intuitive Surgical Web Seminar	2023.12.14
	ロボット支援肺切除術におけるSureForm®ステープリングとそのpitfall	池田　直樹・山本　陽子 白石　　綾	日本ロボット外科学会学術集会（16）	2024.2.10
	一般口演11【呼吸器1】座長	池田　直樹	日本ロボット外科学会学術集会（16）	2024.2.10

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
呼吸器外科	cT3-4肺癌に対するロボット支援手術	山本　陽子・池田　直樹 白石　　綾	日本ロボット外科学会学術集会（16）	2024.2.10
	呼吸器外科領域におけるロボット支援手術を安全に施 行するためのペイシェントサイドの工夫	白石　　綾・山本　陽子 池田　直樹	日本ロボット外科学会学術集会（16）	2024.2.10
救命救急科	骨盤骨折術前の動脈塞栓術による効果の検討	薬師寺秀明	第52回日本IVR学会総会	2023. 5.18-5.20
	手指AVM破裂による心停止蘇生後に対して緊急で経皮的硬化療法を行い止血した1例	天野　浩司	第52回日本IVR学会総会	2023. 5.18-5.20
	神経線維腫症1型に伴う出血性病変に対して経カテーテル的に止血が得られた2例の検討	杉森　　遥	第52回日本IVR学会総会	2023. 5.18-5.20
	外傷を契機に診断に至った血友病の1例	内田　充優	第52回日本IVR学会総会	2023. 5.18-5.20
	当院におけるACSの役割	向井　信貴	第78回日本消化器外科学会	2023. 7.12-7.14
	鈍的胸部外傷による肺損傷に対して肺切除を要した5例の検討	茅田　洋之	第40回日本呼吸器外科学会	2023. 7.13-7.14
	堺市消防局管内での中毒傷病者搬送件数の推移からみる今後の対策	森田　正則	第45回日本中毒学会	2023. 7.14-7.15
	バルプロ酸過量内服によって高アンモニア血症を呈した1例	石橋　拓恵	第45回日本中毒学会	2023. 7.14-7.15
	心肺停止患者に対する胸骨圧迫による胸郭損傷の頻度と骨折形態に関する検討	前田　悠至	第26回日本臨床救急医学会	2023. 7.27-7.29
	「Acute care surgeonの育成と拡充/Training of acute care surgeon」　Acute care surgeonの育成には社会的ニーズの変化に対応できる施設や研修システムが求められる	天野　浩司	第15回Acute Care Surgery 学会	2023. 10.6-10.7
	「食道破裂の治療戦略/Treatment strategy for esophageal rupture」　全身状態に応じて低侵襲治療を優先的に選択し、段階的に外科治療を加えるステップアップアプローチによる特発性食道破裂治療戦略	茅田　洋之	第15回Acute Care Surgery 学会	2023. 10.6-10.7
	「がん救急の治療戦略/Treatment strategy for Oncological Emergencies」　堺総合医療センター救命救急科ACS専従チームによるOncological Emergencyへの対応	向井　信貴	第15回Acute Care Surgery 学会	2023. 10.6-10.7
	ACS専従チームによる外傷診療の取り組み	向井　信貴	第15回Acute Care Surgery 学会	2023. 10.6-10.7
	ハイパードライヒト乾燥羊膜(HD羊膜)の開発による救急領域における羊膜治療発展への期待	天野　浩司	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	縦隔膿瘍に対して経皮経甲状腺ドレナージを施行した2例の検討	薬師寺秀明	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	胸部単独の外傷で動揺胸郭のない多発肋骨骨折に対する早期手術の治療成績	川本　匡規	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	突然発症のリンパ瘻のため気道狭窄をきたした症例	加藤　文崇	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	当院救急外来部門での感染対策緩和とその影響	森田　正則	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	腹部刺創に対し縫合処置されたが、腹壁ヘルニアをきたしていた一例	松井　拓弥	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	鎮痛薬の過量服薬で入院後,カフェイン中毒症状が顕在化した1例	石橋　拓恵	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	多職種によるアクシデント事例に対する審議体制の構築	中田　康城	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
	災害に備えて － 堺地域での新たな取り組み －	森田　正則	第29回日本災害医学会総会	2024. 2.22-2.24
	堺地域災害時医療救護対策協議会の活動～行政との連携協働を目指して	中田　康城	第29回日本災害医学会総会	2024. 2.22-2.24
	特発性リンパ漏に対して経皮経縦隔的アプローチにて胸管塞栓を行った一例	薬師寺秀明	第51回日本集中治療学会総会	2024. 3.14-3.16
	義歯誤飲に対し、術中透視を活用し腹腔鏡下に摘出しえた一例	青木　雅実	第60回日本腹部救急医学会	2024. 3.21-3.22
	晩期放射線性腸炎によると考えられる小腸穿孔および骨盤内膿瘍に対し,待機的に手術した1例	橋本　　優	第60回日本腹部救急医学会	2024. 3.21-3.22
整形外科・リハビリテーション科	胃 GIST 転移による腰椎ダンベル腫瘍の 1 例	細澤　幸輝・久野亜積実 亀山　　貞・中嶋　　望 川本　匡規・片岡　利行 杉田　　淳・石井　正悦 大野　一幸	第140回中部整形災害外科学会	2023.4
	肘頭裂離骨折に対してsuture bridge法を施行した1例	大野　純生・南野　勝彦 黒田　早苗・中井　　毅	第140回中部整形災害外科学会	2023.4
	大腿骨転子部骨折の術後早期のtelescoping量による最終telescoping量の予測について	細澤　幸輝・久野亜積実 亀山　　貞・川本　匡規 片岡　利行・杉田　　淳 大野　一幸	第53回関西股関節研究会	2023.4
	Deep Learning を用いた側弯症患者の脊椎自動パラメータ計測	中嶋　　望・藤森　孝人	第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会	2023.4

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
整形外科・リハビリテーション科	高齢者下肢開放骨折の患者立脚型機能評価による治療成績	大野　一幸・石井　桂輔 乾　貴博・黒住　健人 帖佐　悦男・渡部　欣忍	第96回日本整形外科学会学術総会	2023.5
	脆弱性骨盤骨折を合併した大腿骨近位部骨折の治療について	大野　純生・久野亜積実 川本　匡規・岡田　昌浩 大野　一幸	第106回南大阪整形外科懇話会	2023.5
	Automated Measurement of Spinal Alignment for Scoliosis Using Deep Learning	Nakajima N・Fujimori T Suzuki Y・Kita K Kanie Y・Takenaka S Kaito T・Okada S	Spineweek 2023	2023.5
	Modern Papineau法で治療した慢性骨髄炎の1例	大野　一幸・杉田　淳	第46回日本骨・関節感染症学会	2023.6
	健常鎖骨に対するVA－LCP Clavicle Plateの適合性について	細澤　幸輝・久野亜積実 川本　匡規・片岡　利行 杉田　淳・大野　一幸	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	上腕骨顆上骨折に対する治療成績：仰臥位法と側臥位、腹臥位法との間に差はあるか？	片岡　利行・久野亜積実 亀山　貞・岡田　昌浩 川本　匡規・片岡　利行 杉田　淳・大野　一幸	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	手術前日のIVRは寛骨臼骨折前方アプローチの出血量を減少させる	久野亜積実・岡田　昌浩 川本　匡規・片岡　利行 大野　一幸	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	2次性大腿骨近位部骨折後死亡例の検討	大野　一幸・久野亜積実 亀山　貞・岡田　昌浩 川本　匡規・片岡　利行 杉田　淳	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	大腿骨近位部2次性骨折例の検討	大野　純生	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	脛骨高原骨折と脛骨骨幹部骨折を合併した5症例の検討	鈴木　貴博・安井　行彦 久野亜積実・川本　匡規 岡田　昌浩・大野　一幸	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	新型コロナ感染症蔓延下における骨折手術の遠隔立ち会いについて	大野　一幸・久野亜積実 亀山　貞・岡田　昌浩 川本　匡規・片岡　利行 杉田　淳	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	胸骨骨折骨接合術を安全に行うために工夫した1例	久野亜積実・岡田　昌浩 川本　匡規・大野　一幸	第49回日本骨折治療学会	2023.6
	濃化異骨症の1例	大野　純生・杉田　淳 大野　一幸	第36回日本四肢再建・創外固定学会	2023.7
	治療に難渋した慢性骨髄炎の1例	大野　一幸・杉田　淳	第36回日本四肢再建・創外固定学会	2023.7
	Ilizarov創外固定器を用いた骨延長部での感染及び偽関節が生じた1例	久野亜積実・杉田　淳 大野　一幸	第36回日本四肢再建・創外固定学会	2023.7
	下肢長管骨の骨欠損治療におけるBone transport法とMasquelet法の臨床成績の比較	杉田　淳・大野　一幸	第36回日本四肢再建・創外固定学会	2023.7
	イリザロフ装着を患者疑似体験することにより得た看護援助について	安藤　武司・脇　優歩 郡司　沙季・津田さゆり 和田　竜平・杉田　淳 大野　一幸	第36回日本四肢再建・創外固定学会	2023.7
	脊椎疾患との合併により診断が遅れたRDCの3例	中嶋　望・石井　正悦	第65回大阪整形外科セミナー	2023.8
	救肢が可能であった外傷性下腿切断の1例	大野　一幸・杉田　淳	第11回下肢Gustilo type IIIC Peer Review Web Meeting	2023.9
	骨折治療における時間の問題　-この骨折は緊急手術か-	大野　一幸	第17回姫路骨折治療セミナー	2023.9
	大腿骨近位部骨折の手術症例の嚥下評価	伊藤　円香・大野　一幸	第53回日本リハビリテーション医学会近畿地方会	2023.9
	大腿骨近位部骨折に対する48時間以内の早期手術について	大野　一幸	第25回日本骨粗鬆症学会	2023.9
	私のしているAI研究　～Chat-GPTは専門医になれる？～	中嶋　望・藤森　孝人	第14回OSSGセミナー	2023.9
	周産期の足関節外果脆弱性骨折の1例	玉田　拓也・大野　一幸 細澤　幸輝	第141回中部整形災害外科学会	2023.10
	大腿骨近位部骨折に合併した脆弱性骨盤輪骨折の治療経験について	大野　純生・大野　一幸 久野亜積実・岡田　昌浩 川本　匡規	第141回中部整形災害外科学会	2023.10
	人工知能による側弯症レントゲン計測自動化の試み	中嶋　望・藤森　孝人	第141回中部整形災害外科学会	2023.10
	一市民病院で整形外科外傷を適切に治療するにはどうすべきか	川本　匡規	第141回中部整形災害外科学会	2023.10
	大腿骨近位部骨折に対する適切な髄内釘長について	田中　敬祐・久野亜積実 岡田　昌浩・川本　匡規 杉田　淳・大野　一幸	第61回大阪骨折研究会	2023.11
	大腿骨近位部骨折手術例の嚥下評価と骨粗鬆症について	伊藤　円香・大野　一幸 杉田　淳・久野亜積実 岡田　昌浩・川本　匡規	第61回大阪骨折研究会	2023.11
	骨盤後方成分に対するスクリュー固定の合併症の検討	川本　匡規・大野　純生 河本　昌雄・泰　絵莉子 中嶋　望・久野亜積実 岡田　昌浩・片岡　利行 杉田　淳・石井　正悦 大野　一幸	第61回大阪骨折研究会	2023.11
	術後創傷治癒遅延を来した非定型大腿骨骨折の2例	大野　純生・久野亜積実 岡田　昌浩・川本　匡規 大野　一幸	第107回南大阪整形外科懇話会	2023.11
	胸部単独の外傷で動揺胸郭のない多発肋骨骨折に対する早期手術の治療成績	川本　匡規・久野亜積実 岡田　昌浩・片岡　利行 杉田　淳・大野　一幸	第51回日本救急医学会総会・学術集会	2023.11
	Deep Learningを用いた側弯症患者の脊椎パラメータ自動計測	中嶋　望・藤森　孝人	第57回日本側彎症学会学術集会	2023.11

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
整形外科・リハビリテーション科	A Case of Pathological Fractures of the Tibia, Femoral Neck, and Charcot Foot in a Patient with Neurosyphilis	Sugita A・Ohno A	Philippine Orthopaedic Association Annual Congress	2023.11
	Clinical Study of Femoral Neck System (FNS) Insertion Position for Non-Displaced Femoral Neck Fractures	Atsuki Ohno・Atsushi Sugita	Philippine Orthopaedic Association 74th Annual Congress	2023.11
脳神経外科	右後頚部の刺創により多血管による動静脈瘻を来たした1例	西川　侑甫・平井　信登 寺田　栄作・川端　修平 梶川隆一郎・都築　　貴	第83回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会	2023.4.8
	扁平形状後頭蓋窩に後頭顆窩の後頭蓋窩底への陥入を合併したの片側顔面痙攣に対する微小血管減圧術	梶川隆一郎・川端　修平 寺田　栄作・西川　侑甫 平井　信登・都築　　貴 貴島　晴彦	第35回日本頭蓋底外科学会	2023.7.6
	工場機械に頭部を圧潰されて開放性頭蓋骨陥没骨折を生じ、頭蓋内にヘルメット片の混入を認めた一例	別府　滉一・西川　侑甫 平井　信登・寺田　栄作 川端　修平・梶川隆一郎 都築　　貴	第84回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会	2023.9.2
	工場機械に頭部を圧潰されて開放性頭蓋骨陥没骨折を生じ、頭蓋内にヘルメット片の混入を認めた一例	平井　信登・寺田　栄作 西川　侑甫・川端　修平 梶川隆一郎・都築　　貴	日本脳神経外科学会第82回学術総会	2023.10.25
	当院における頭頸部刺創の実態	寺田　栄作・平井　信登 西川　侑甫・川端　修平 梶川隆一郎・都築　　貴	日本脳神経外科学会第82回学術総会	2023.10.25
	くも膜下出血後脳血管攣縮に対するクラゾセンタンの有効性と安全性の検討	川端　修平・平井　信登 西川　侑甫・寺田　栄作 梶川隆一郎・都築　　貴	日本脳神経外科学会第82回学術総会	2023.10.25
	頭蓋骨陥没粉砕骨折に対する整復における工夫	西川　侑甫・平井　信登 寺田　栄作・川端　修平 梶川隆一郎・都築　　貴	日本脳神経外科学会第82回学術総会	2023.10.25
	外傷により生じた後交通動脈損傷後の解離性動脈瘤破裂に対してコイル塞栓術を施行した1例	西川　侑甫・平井　信登 寺田　栄作・川端　修平 梶川隆一郎・都築　　貴	第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会	2023.11.24
	嚥下困難感の原因となった頚動脈の走行異常に対して、頚動脈移動術を行った一例	平井　信登・梶川隆一郎 中村　元紀・寺田　栄作 川端　修平・都築　　貴	第95回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会	2024.1.6
	シリカマイクロファイバー培養単体は大脳オルガノイドの皮質神経細胞層の形成と拡大をサポートする	寺田　栄作	第95回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会	2024.1.6
	脳底動脈先端閉塞に対して血栓回収を行いカテーテル穿孔を起こしたが、難を逃れた一例	平井　信登	第65回近畿脳血管内手術法ワークショップ	2024.1.27
	当院における頭頸部刺創	寺田　栄作	第47回日本脳神経外傷学会	2024.3.2
	くも膜下出血後脳血管攣縮に対するクラゾセンタンの有効性と安全性の検討	川端　修平	STROKE2024	2024.3.7
	頚動脈の高度の内側走行による嚥下時のつかえ感に対して頚動脈移動術を行なった一例	梶川隆一郎	STROKE2024	2024.3.7
皮膚科	顔面丹毒の経過中にSweet病を発症した1例	楠見　恭未・田中　　文 笹岡　佑輔	第75回日本皮膚科学会西部支部学術集会	2023.9.16
	経口ステロイドとメソトレキサートの併用療法を行った generalized morpheaの２例	甲斐智太郎・田中　　文 楠見　恭未・笹岡　佑輔	第75回日本皮膚科学会西部支部学術集会	2023.9.17
	HIV感染者に生じた多発する結節・小水疱・膿疱からサル痘（mpox）を疑った1例	笹岡　佑輔・田中　　文 楠見　恭未・村田　賢哉 長谷川耕平・小川　吉彦 安原裕美子	第75回日本皮膚科学会西部支部学術集会	2023.9.17
	オルメルチニブ投与中に生じた両頬部黄色腫の1例	楠見　恭未・田中　　文 笹岡　佑輔	第501回日本皮膚科学会大阪地方会	2024.2.3
泌尿器科	TUL手術時の尿管浮腫-予測因子の検討-	村本　泰治・吉岡　　巌 山本　哲也・岩西　利親 高山　仁志	第75回西日本泌尿器科学会総会	2023.11.2-11.5
産婦人科	当科における婦人科再発悪性腫瘍に対する手術療法の臨床的検討	山口　峻市・松吉　　光 河田真由子・八木　一暢 北井　俊大・竹田満寿美 兪　　史夏・横山　拓平 太田　行信・山本　敏也	第75回日本産科婦人科学会	2023. 5.12-5.14
	排尿障害、排尿痛をきたした陰唇癒着症の1例	八木　一暢・山口　峻市 松吉　　光・河田真由子 北井　俊大・竹田満寿美 兪　　史夏・横山　拓平 山本　敏也・太田　行信	第96回日本超音波医学会	2023. 5.27-5.29
	子宮肉腫術後再発に対してドキソルビシンが奏効するも、重症心不全となった1症例	山口　峻市・兪　　史夏 松吉　　光・河田真由子 八木　一暢・北井　俊大 竹田満寿美・横山　拓平 太田　行信・山本　敏也	第65回日本婦人科腫瘍学会	2023. 7.14-7.16
	卵巣境界悪性腫瘍に対する右付属器切除後に同側卵管間質部妊娠の診断に至った症例	河田真由子・兪　　史夏 山口　峻市・齋藤　庸太 八木　一暢・北井　俊大 河田真由子・兪　　史夏 山口　峻市・齋藤　庸太 八木　一暢・北井　俊大 竹田満寿美・横山　拓平 山本　敏也　太田　行信	第63回日本産科婦人科内視鏡学会	2023. 9.14-9.16

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
産婦人科	ペンブロリズマブ投与終了後に筋炎を発症した再発子宮体癌の1例	中谷　早希・河田真由子 山口　峻市・齋藤　庸太 八木　一暢・北井　俊大 竹田満寿美・兪　　史夏 横山　拓平・太田　行信 階堂三砂子・山本　敏也	第149回近畿産科婦人科学会	2023.10.15
	当院における社会的ハイリスク妊婦に対する異所性妊娠外科的治療の後方視的検討	石田　貴大・八木　一暢 山口　峻市・齋藤　庸太 河田真由子・北井　俊大 兪　　史夏・竹田満寿美 横山　拓平・山本　敏也 太田　行信	第51回日本救急医学会	2023. 11.28-11.30
眼科	ポリープ状脈絡膜血管症に対する初回アフリベルセプト併用光線力学療法の5年成績	中川　典彦	第127回日本眼科学会総会	2023. 4.6-4.9
	発症早期から経過を追えたBDUMPの一例	春藤　卓也	第77回日本臨床眼科学会	2023. 10.6-10.9
	両眼性・多発性網膜色素上皮裂孔の1例	中川　典彦	第41回上方黄斑研究会	2024.1.6
	初回併用療法5年後に観察出来た未治療ポリープ状脈絡膜血管症の検討	中川　典彦	第254回O.C.C	2024.3.2
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	水痘・帯状疱疹ウイルスによる急性嚥下障害の予後についての検討	江頭　汰明・長井　美樹 卜部　浩一・赤澤　仁司	第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会	2023. 5.17-5.20
	当科における甲状腺未分化癌12症例の検討	卜部　浩介・長井　美樹 赤澤　仁司・江頭　汰明	第47回日本頭頚部癌学会総会学術講演会	2023. 6.15-6.16
	当科における喉頭全摘術後のボイスプロテーゼ挿入術	浅井　拓也	第85回耳鼻咽喉科臨床学会	2023.6.24
	抗てんかん薬の投与が有効であった自発性異嗅症の一例	赤澤　仁司・武　　哲平 江頭　汰明・長井　美樹	第62回日本鼻科学会学術講演会	2023. 9.28-9.30
	外来処置で摘出し得た小児の鼻腔内逆生歯の一例	武　　哲平・赤澤　仁司 江頭　汰明・長井　美樹	第62回日本鼻科学会	2023. 9.28-9.30
	抗てんかん薬の投与が有効であった自発性異嗅症の一例	赤澤　仁司・武　　哲平 江頭　汰明・長井　美樹	第365回日耳鼻大阪地方連合会例会	2023.10.7
	外来処置で摘出し得た小児の鼻腔内逆生歯の一例	武　　哲平・赤澤　仁司 江頭　汰明・長井　美樹	第365回日耳鼻大阪地方連合会例会	2023.10.7
	気管切開後の気管狭窄症の2症例	江頭　汰明・長井　美樹 卜部　浩一・赤澤　仁司	第365回日耳鼻大阪地方連合会例会	2023.10.7
	気管切開後の気管狭窄症の2症例	江頭　汰明・長井　美樹 卜部　浩一・赤澤　仁司	第74回日本気管食道科学会総会学術講演会	2023. 11.14-11.15
	咽喉食摘・遊離空腸再建手術を行なった分化型高異型度甲状腺癌DHGTC（differentiated high-grade thyroid carcinoma）の１症例	長井　美樹・赤澤　仁司 武　　哲平・江頭　汰明	第366回日耳鼻大阪地方連合会例会	2024.2.3
口腔外科	堺市周辺の歯科医院における口腔機能低下症の認知度と検査実施状況(2-P7-1)	小倉　孝文	第77回日本口腔科学会学術大会（岡山）	2023.5.12
放射線治療科	放射線治療ホットラインと日帰り単回緩和照射の導入の初期経験	和田健太郎	日本放射線腫瘍学会第36回学術大会	2023. 11.30-12.2
	有痛性またはオリゴ脊椎転移に対する体幹部定位照射の初期報告	中村　亮介	日本放射線腫瘍学会第36回学術大会	2023. 11.30-12.2
放射線診断科	上腸間膜動脈閉塞症における6Frインナーガイディングカテーテルを用いた血栓吸引療法の検討	中村　純寿・藥師寺秀明 杉森　　遥・宮内裕美子 池原実華子・坂本　篤彦 宮田　　知・栗生　明博	第52回日本IVR学会総会	2023.5.19
	急性上腸間膜動脈解離を伴う後上膵十二指腸動脈瘤破裂に対しコイル塞栓術を施行した一例	池原実華子・中村　純寿 杉森　　遥・藥師寺秀明 宮内裕美子・坂本　篤彦 宮田　　知・栗生　明博	第52回日本IVR学会総会	2023.5.20
	上肢の前方牽引による腋窩動脈の分枝損傷に対して経皮的動脈塞栓術を施行した1例	相原　　諒・池原実華子 藥師寺秀明・中村　純寿 栗生　明博	放射線学会関西地方会	2023.10.07
病理診断科	第112回内腸骨動脈・下腸間膜動脈破綻を来したNF1患者の血管病変について	安原裕美子	第112回日本病理学会総会	2023. 4.13-15
	Part-solid-GGNを呈した子宮平滑筋腫瘍の肺転移の一例	久瀬　雄介・安原裕美子	第118回肺癌学会関西支部学術集会	2023.6.17
	肺結核と鑑別を要した気管支肺炎型侵襲性アスペルギルス症の１剖検例	安原裕美子	第63回呼吸器病理研究会	2023.8.12
	COVID-19陽性でVV-ECMO管理下に発症した肺出血の１例	安原裕美子	第63回呼吸器病理研究会	2023.8.12
	ニトロソウレア系アルキル化剤の薬剤性によりKaryomegalic changeを来した尿細胞診像	茂山かおり・安原裕美子 森本まどか・岩田　幸真 佐々木伸也・高瀬　未穂 鈴木　雄策・井櫻　雄斗 越岡　　唯	第62回日本臨床細胞学会秋期大会	2023. 11.4-11.5
	消化管感染症；胃梅毒	合原　　彩・安原裕美子	第487回大阪胃研究会	2024.1.10
	当院での肺がんコンパクトパネルの有用性について	安原裕美子	第119回肺癌学会関西支部学術集会	2024.3.2
	COVID-19により急性壊死性脳症を来した小児の１剖検例	安原裕美子	第113回日本病理学会総会	2024. 3.28-3.30
	職業性胆管癌の１例	上田　真生・安原裕美子	第113回日本病理学会総会	2024. 3.28-3.30
麻酔科	体位による腕神経叢損傷を来した１例	奥村　早紀・青井　良太	日本麻酔科学会第69回関西支部学術集会	2023.9.2
	病的肥満患者の頭頚部手術において安全な周術期管理を提供し得た２症例	萩原　伊織・田中　健太	日本麻酔科学会第69回関西支部学術集会	2023.9.2

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
麻酔科	食道閉鎖根治術を受けた患児の周術期全身管理と術後吻合部狭窄の関連について	小寺　響子	日本小児麻酔学会第28回大会	2023.10.7-8
	気道過敏性を有する小児において気管チューブカフが抜管後呼吸有害事象発生に与える影響の検証	佐々木一真	日本小児麻酔学会第28回大会	2023.10.7-8
	腕頭動脈離断中に大量気道出血により換気不全となったが、ECMOを用いて救命できた１例	佐々木一真	第51回日本集中治療医学会学術集会	2024.3.14-16
遺伝診療科	院内外における遺伝性腫瘍診療のチーム医療における現状と課題	好井　理世・濱口　佳子 古谷　　緑・柳下祐貴子 階堂三砂子・永田　詩歩 横山　拓平・山村　　順	第29回日本遺伝性腫瘍学会学術集会，高知	2023. 6.16-6.17
	ペンブロリズマブ投与終了後に筋炎を発症した再発子宮体癌の1例	河田真由子・山口　峻市 齋藤　庸太・八木　一暢 北井　俊大・竹田満寿美 兪　　史夏・横山　拓平 太田　行信・階堂三砂子 山本　敏也	第148回日近畿産科婦人科学会学術集会，和歌山	2023.6.17
	発端者不在で46,XY性分化疾患の遺伝学的検査を希望し来談した姉妹例	階堂三砂子	2023年度6月高槻病院遺伝カンファレンス，Web	2023.6.22
	発端者不在で46,XY性分化疾患の遺伝学的検査を希望し来談した姉妹例	階堂三砂子・宮田ゆかり 好井　理世	第47回日本遺伝カウンセリング学会，松本	2023. 7.7－7.9
	50歳で1p36欠失症候群と診断された知的発達症の1例	階堂三砂子	2023年度7月高槻病院遺伝カンファレンス，Web	2023.7.20
	急性期病院における薬物適正使用に向けた認知症ケアチームの介入効果について	東野　考智・中野　剛志 濱岡　重徳・階堂三砂子	第61回全国自治体病院学会，札幌	2023 8.31-9.1
	Cellular analysis of SOD1 protein-aggregation propensity and toxicity: a case of ALS with slow progression harboring homozygous SOD1-D92G mutation.	Masanori Sawamura Keiko Imamura Rie Hikawa・Takako Enami Ayako Nagahashi HodakaYamakado Hidenori Ichijo Takao Fujisawa Hirofumi Yamashita Sumio Minamiyama Misako Kaido Hiromi Wada Makoto Urushitani Haruhisa Inoue Naohiro Egawa Ryosuke Takahashi	PACTALS2023，マレーシア	2023. 9.14-9.16
	A Case of Chromosome 1p36 Deletion Syndrome Diagnosed Using Chromosomal Microarray Testing at Age 50.	Misako Kaido Takuhei Yokoyama Yuka Yotsumoto Tomoko Hashimoto-Tamaoki	Human Genetics Asia 2023 （日本人類遺伝学会第68回大会，第14回アジアパシフィック人類遺伝学会，第22回東アジア人類遺伝学会連合の合同開催），東京	2023.10.14
	てんかんを伴う知的発達症の1例	階堂三砂子	てんかん勉強会，Web，てんかん研修会参加医師	2023.11.14
	長期経過を確認できた常染色体潜性遺伝肢帯型筋ジストロフィー3型（LGMDR3）の１軽症例	階堂三砂子・豊岡　圭子 高安　　健・西野　一三	日本神経学会第126回近畿地方会，大阪	2023.12.16
	長期経過を確認できた常染色体潜性遺伝肢帯型筋ジストロフィー3型（LGMDR3）の１軽症例	階堂三砂子	2023年度1月高槻病院遺伝カンファレンス，Web	2024.1.11
	肺炎球菌性髄膜炎に合併した遅発性脳塞栓症に対してステロイド治療が有効であった一例	鈴木　　裕・櫻井　　玲 杉山慎太郎・階堂三砂子 藤村　晴俊・小林　潤也	日本神経学会第127回近畿地方会，大阪	2024.3.3
	脳梗塞を契機として診断に至った心室中隔欠損症の自然閉鎖後ポーチ内部に血栓形成を認めた一例	西岡　　唯・櫻井　　玲 鈴木　　裕・杉山慎太郎 階堂三砂子・藤村　晴俊 大西　俊成・小林　潤也	STROKE 2024，第49回日本脳卒中学会学術集会，横浜ハイブリッド開催	2024. 3.7-3.9
	クローン病類似の小腸病変を呈した家族性地中海熱の1例	石井　佑佳・合原　　彩 永田　詩歩・藤森　正樹 澁川　成弘・伊藤　公子 高橋　俊介・北村　信次 階堂三砂子	日本内科学会第242回近畿地方会，大阪	2024.3.16
感染症内科	String test陽性の*Klebsiella pneumoniae*による肝膿瘍の一例	村田　賢哉・長谷川耕平 鈴木　由希・小川　吉彦 矢野　寿一	第72回日本感染症学会東日本地方学術集会 第70回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会	2023.10.26
	当院における*Campylobacter*菌血症患者の検討	村田　賢哉・長谷川耕平 小川　吉彦	第93回日本感染症学会西日本地方学術集会 第71回日本化学療法学会西日本支部総会 合同学会	2023.11.9
	当院における*Enterococcus faecalis*のペニシリン感受性の検討	Hasegawa K・Murata K Ogawa Y	第93回日本感染症学会西日本地方学術集会 第71回日本化学療法学会西日本支部総会 合同学会	2023. 11.9-11.11
	咽頭症状を主訴に来院した梅毒の2例	Miyamoto K・Hasegawa K Murata K・Ogawa Y	第93回日本感染症学会西日本地方学術集会 第71回日本化学療法学会西日本支部総会 合同学会	2023. 11.9-11.11
	早期の治療介入により救命し得た入院中発症の壊死性筋膜炎の一例	Nakagawa S・Hasegawa K Murata K・Ogawa Y	第93回日本感染症学会西日本地方学術集会 第71回日本化学療法学会西日本支部総会 合同学会	2023. 11.9-11.11
	*Enterococcus raffinosus*菌血症の後方視的検討	小川　吉彦・村田　賢哉 長谷川耕平	第93回日本感染症学会西日本地方学術集会 第71回日本化学療法学会西日本支部総会 合同学会	2023. 11.9-11.11
	ART開始後の血小板減少-社会的背景も踏まえて- （日本エイズ学会認定講習会）	小川　吉彦	第37回日本エイズ学会学術集会・総会	2023. 12.3-12.5

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
緩和ケア科	術後乳糜腹水に対してエチレフリンが有用であった1症例	山本　敏也・川端　良平 島津真理子・河田　尚子 濱中　裕子・山本　明紀 多田　暢子・稲垣　裕介 吉岡　　巌　高山　仁志	第28回日本緩和医療学会	2023. 6.30-7.1
	胃癌悪液質症例に対するアナモレリンの使用経験	川端　良平・武岡　奉均 牛丸　裕貴・山本　敏也	日本緩和医療学会　第5回関西支部学術大会	2023.9.2
薬剤科	院内HPLCによるVRCZの血中濃度測定―外来患者のTDMと診療支援―	山本　圭城	第97回日本感染症学会総会・学術講演会	2023. 4.28-4.30
	ボリコナゾールのトラフ血中濃度に影響を及ぼす因子の検討	安井友佳子	第71回日本化学療法学会学術集会	2023. 4.28-4.30
	腎機能障害患者におけるエルネオパNFの安全性評価	植村　昌弘	第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会	2023. 5.9-5.10
	「薬剤師サマリ」を用いた退院支援に係る情報共有における有効性の評価	藤井　一美	第15回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2023.5.13
	ボリコナゾールの血中トラフ濃度の個体間変動に影響する因子の検索と遺伝子多型情報を用いない血中濃度予測式の提案	安井友佳子	第39回日本TDM学会・学術大会	2023. 6.24-6.25
	「薬剤師サマリ」を用いた切れ目ない地域連携における評価	藤井　一美	第56回日本薬剤師会学術大会	2023. 9.17-9.18
	腹膜透析患者における静注バンコマイシン投与においてTDMの用量調節により予定治療期間を完遂できた1例	橋本　貴子	第17回日本腎臓病薬物療法学会学術集会	2023. 10.28-10.29
	臨床研究のon-the-job　trainingとデーターの質の担保を目指した取り組み	藤井　千賀	第33回日本医療薬学会年会	2023. 11.3-11.5
	外来がん化学療法におけるトレーシングレポートの実態調査	小川　直希	第33回日本医療薬学会年会	2023. 11.3-11.5
	乳がん周術期ドセタキセル含有レジメンにおける非高齢者に対するG-GCSFの一次予防的投与に関する検討	鶴島　克将	第33回日本医療薬学会年会	2023. 11.3-11.5
	造血幹細胞移植患者におけるポサコナゾール血中濃度に影響を与える因子の解析 ～薬剤肝代謝率と遺伝子多型の影響～	安井友佳子	第33回日本医療薬学会年会	2023. 11.3-11.5
	血液疾患患者におけるポサコナゾールの血中濃度に影響する、遺伝子多型を含む因子解析	安井友佳子	第71回日本化学療法学会西日本支部総会	2023. 11.9-11.11
	ポリファーマシー対策における取り組み効果とリスク因子の検討	東　　里花	第45回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2024. 1.27-1.28
	在宅における服薬コンプライアンス不良患者の実態調査	日比野泰志	第45回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2024. 1.27-1.28
	心不全患者における退院時薬剤数と1年以内の再入院との関連についての検討	津守　志佳	第45回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2024. 1.27-1.28
	堺市立総合医療センターにおける薬剤師レジデント研修への取り組み	遠藤　晋吾	第13回日本薬剤師レジデントフォーラム	2024.3.9
	心不全患者における退院時薬剤数と1年以内の再入院との関連についての検討	津守　志佳	第13回日本薬剤師レジデントフォーラム	2024.3.9
リハビリテーション技術科	Narrative performance of Japanese speakers with Traumatic Brain Injury(TBI)	M.Fujiwara	20th NR-SIG-WFNR Conference	2023. 6.7-6.10
	Discourse patterns of Japanese patients with Traumatic Brain Injury(TBI)：Grouping by cluster analysis	M.Fujiwara	３rd CCD Symposium	2023. 6.22-6.24
	COVID-19患者に対する言語聴覚士（ST)介入の実態-第1波から第８波の変化	藤原麻美子	第24回日本言語聴覚学会	2023. 6.23-6.24
	当院での呼吸リハビリテーションの実際と運動療法の工夫～２症例を通じて～	桂　　智哉	第45回日本呼吸療法医学会学術集会	2023. 8.5-8.6
	新人教育プラン（堺モデル）を用いた当院での新人教育の現状	木村　純子	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	人工呼吸管理中からの下肢エルゴメータ運動と離床により自宅退院可能となった、間質性肺炎患者の一例	堀　常太朗	日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会	2023. 9.2-9.3
	個別性に応じた外来心臓リハビリテーションの運動機能向上に関する検討	丸本　翔馬	日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会	2023. 9.2-9.3
	緊急開腹術を要した患者に対する当院ACSリハビリテーションチームの取り組み	小森　清伸	第15回日本ACS学会学術集会	2023. 10.6-10.7
	地域住民に対する多角的フレイル予防の取り組みと運動機能における傾向	牟礼　直人	第10回日本サルコペニア・フレイル学会大会	2023. 11.4-11.5
	当院新人教育における教育チーム発足と取り組みの実際	谷合　雄基	第12回日本理学療法教育学会学術大会	2023. 12.9-12.10
	当院の新人教育指導者の現状と課題	松川　訓久	第12回日本理学療法教育学会学術大会	2023. 12.9-12.10
	JSMT日本徒手療法学会主催徒手理学療法認定理学療法士臨床認定カリキュラム受講生アンケート調査報告	牟礼　直人	第11回日本筋骨格系理学療法研究会学術大会	2024. 2.11-2.12
	くも膜下出血が高次脳機能に及ぼす影響に関する研究	大谷　夏子	第49回日本脳卒中学会学術集会	2024. 3.7-3.9
	Open abdominal management患者に対するチームによるリハビリテーションへの取り組み	小森　清伸	第51回日本集中治療医学会学術大会	2024. 3.14-3.16

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
リハビリテーション技術科	高齢消化器がん患者における術前認知機能と術後せん妄：包括的老年評価（CGA)の視点から	山口　晴菜	日本がんチーム医療研究会　第33回研究集会	2024.3.16
	高齢消化器がん患者における周術期嚥下能力と術後肺炎：個別化された栄養介入の重要性	吉山　志織	日本がんチーム医療研究会　第33回研究集会	2024.3.16
臨床工学科	救命・集中治療領域における生命維持管理装置を取り扱う医療スタッフの倫理的課題に関する実態調査	大西　輝幸	第33回日本臨床工学会 広島国際会議場	2023.7.23
	救急・集中治療領域における医療スタッフの多職種連携協働と倫理的苦悩との関連	大西　輝幸	第11回日本臨床倫理学会2024.3 順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス	2024.3.17
放射線技術科	「ウェッジプロファイルを用いたビームエネルギー解析の評価」	澤野　勝也	日本放射線腫瘍学会第36回学術大会（口述発表）	2023.11.30
臨床検査技術科	ニトロソウレア系アルキル化剤の薬剤性によりKaryomegalic changeを来した尿細胞診像	茂山かおり・佐々木伸也 髙瀬　未穂・鈴木　雄策 井櫻　雄斗・越岡　　唯 安原裕美子・森本まどか	第62回日本臨床細胞学会秋期大会	2023.11.5
看護局	SCU開設に向けたSCUチームによる看護師教育の取り組み	西尾　　望	第15回日本医療マネジメント学術学会	2023.5.13
	院内外における遺伝性腫瘍診療のチーム医療における現状と課題	好井　理世・濱口　佳子 古谷　　緑	第29回日本遺伝性腫瘍学会学術集会	2023. 6.16-6.17
	がんゲノムプロファイリング検査で生殖細胞系列の病的バリアントが疑われ遺伝カウンセリングを実施した症例の検討	山村　　順・好井　理世	日本遺伝性腫瘍学会	2023. 6.16-6.17
	がんゲノムプロファイリング検査を実施した再発乳癌の検討	山村　　順・好井　理世	日本遺伝性腫瘍学会	2023. 6.16-6.17
	看護師が行うポリファーマシー対策 ～身体と生活の視点で考える～	田中　順也	第68回日本透析医学会学術集会 総会	2023.6.16
	腹膜透析外来開設に向けた取り組みの可視化～コッターの企業変革理論を用いて～	田中　順也	第68回日本透析医学会学術集会 総会	2023.6.17
	療法選択外来拡充に向けたスタッフ教育と今後の課題	田中　順也	第68回日本透析医学会学術集会 総会	2023.6.18
	身体拘束ゼロに向けた取り組み～アセスメントシートを用いた看護ケアの可視化～	堀　知津江・澤田　恵美	第25回日本マネジメント学会学術総会	2023. 6.23-6.24
	完全非公開型医療介護専用SNSの活用と今後の課題 ～連携による難渋症例への関わり～	南部真里恵	第25回日本医療マネジメント学会学術総会	2023.6.23
	遠隔モニタリングシステムを活用した腹膜透析患者のリスクマネジメント	田中　順也	第25回日本医療マネジメント学会学術集会 総会	2023.6.24
	救急外来における高齢患者への帰宅支援の取り組み	小川内弘子・米田美代子	第126回近畿救急医学研究会	2023.6.24
	術後乳糜腹水に対してエチレフリンが有効であった1症例	山本　敏也・河田　尚子	第28回日本緩和医療学会学術大会	2023. 6.30-7.1
	子どもへのがん教育-予防事業として計画した1年の報告-	濱中　裕子	第28回日本緩和医療学会学術大会	2023. 6.30-7.1
	術後乳糜腹水に対するエチレフリンの使用経験	山本　敏也・濱中　裕子	第28回日本緩和医療学会学術大会	2023. 6.30-7.1
	コロナ禍の家族面会を通してICUの看護師が抱いた価値観の相違についての検討	米村　　亮	第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会	2023.7.2
	発端者不在で46,XY 性分化疾患の遺伝学的検査を希望し来談した姉妹例	階堂三砂子・好井　理世	日本遺伝カウンセリング学会	2023. 7.7-7.9
	イリザロフ装着を患者擬似体験することにより得た看護援助について	安藤　武司	第36回日本四肢再建・創外固定学会学術集会	2023. 7.13-7.14
	卒後2年目の看護師を対象としたメンバーシップ研修	岩瀬　有里	第33回日本看護学教育学会学術集会	2023. 8.26-8.27
	看護基礎教育と卒後教育の繋がりを考える 旧厚生労働省看護研修研究センター修了生による交流集会の開催報告	草間　賢介	第33回日本看護学教育学会学術集会	2023. 8.26-8.27
	コロナ禍の面会制限における家族看護-ｱｷﾞｭﾗﾗの危機理論を用いての振り返り-	白山　真愛・文野　友美	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	手術室看護師が抱える倫理的課題～手術室看護師にACPの視点を育むカンファレンス～	田中　美波・三淵　未央	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	猫との暮らしを望む壮年期腹膜透析患者の感染予防行動に向けたセルフケア支援	北川　　薫・田中　順也	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	急変予測スコアの入院患者全員への活用に向けた取り組みと課題 ～リスクマネージャー会での3年間の活動～	村上　夏代・田中　順也	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	腹膜透析を選択した壮年期患者に対するセルフケア支援	武田　莉奈・田中　順也	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	脊髄損傷の患者の障害需要に向けた精神的な関わり	政田　優花	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	下肢機能を喪失した患者の自律を見出すことができた看護師の関わり	杢三　智美	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	食事摂取が困難な幼児期前期の感じに対する発達支援と母親への関わり	中村　侑子	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1
	面会制限下におけるCOVID-19罹患患者とその家族の意志決定支援	藤原　悠芳	第61回全国自治体病院学会	2023. 8.31-9.1

科名	演　　題	発表者	学会・研究会名	年　月　日
看護局	急変予測スコアの入院患者全員への活用に向けた取り組みと課題	村上　夏代・久保　桂子	第61回全国自治体病院学会	2023.9.1
	急性期病院における薬物適正使用に向けた認知症ケアチームの介入効果について	東野　考智	第61回全国自治体病院学会	2023.9.1
	個別性に応じた外来心臓リハビリテーション効果の検証	丸本　翔馬・木本　直子	日本循環器理学療法学会学術集会	2023.9.1
	NPWTを使用する褥瘡治療への工夫 ～褥瘡周囲への土台形成を試みて～	南部真里恵	第25回日本褥瘡学会学術集会	2023.9.2
	腹膜透析を希望した独居高齢患者への支援～入院前から退院、そして訪問看護師との連携～	西出　知子・田中　順也	第29回日本腹膜透析医学会総会	2023.10.1
	情報通信技術を活用した腹膜透析患者への循環型支援～訪問看護ステーションとの連携～	田中　順也	第29回日本腹膜透析医学会総会	2023.10.1
	化学療法センターにおける診察前問診テンプレート改訂と多職種連携基準の導入への取り組み	太田　美樹	日本がんチーム医療研究会　第32回研究集会	2023.10.14
	AYA世代の婦人科がん患者への支援	渡部利香子・濱口　佳子	大阪府看護学会	2023.12.2
	治療方針の自己決定ができなくなった患者の家族への代理意思決定支援	泉森　由羽・古谷　　緑	第11回大阪府看護学会	2023.12.2
	抗がん剤治療の継続に葛藤があった患者との関わり	房本萌々香・古谷　　緑	第11回大阪府看護学会	2023.12.2
	クリティカル領域における世代の特徴を踏まえた臨床教育プログラムの構築～マズローの視点からの考察～	小林　桐子	第11回大阪府看護学会	2023.12.2
	ICUにおける新人教育の標準化～統一した知識・技術の習得に向けて～	友平　裕美	第11回大阪府看護学会	2023.12.2
	医療用麻薬服用中の外来高齢独居患者のがん疼痛セルフマネジメントへの関わり	河田　尚子	第38回日本がん看護学会学術集会	2024.2.24-2.25
	A病院におけるゲノム医療コーディネーター（CGMC）の活動と今後の課題	古谷　　緑	第38回日本がん看護学会学術集会	2024.2.24-2.25
	肘関節に創外固定術を行った高齢患者のセルフケア向上に向けた看護	郡司　沙季	第37回日本四肢再建・創外固定学術集会	2024.3.23
健診課	人間ドック受診勧奨はがき送付の試み	齊藤　孝子	第64回日本人間ドック学術大会	2023.9.1-9.2
管理センター（疾病予防）	子どもへのがん教育　-予防事業として計画した1年の報告-	濱中　裕子・大倉　大樹 松下　雅俊・花房　俊昭	第28回日本緩和医療学会	2023.6.30-7.1
	保険薬局利用者におけるフレイルに関する現状調査	面谷　幸子・石坂　敏彦 鈴木　利次・鹿嶋　隆行 宮川　道英・初田　泰敏 名徳　倫明	第33回日本医療薬学会年会	2023.11.3-11.5
	地域住民に対する多角的フレイル予防の取り組みと運動機能における傾向	牟礼　直人・東野　　玄 松川　訓久・石坂　敏彦 福井　健司・花房　俊昭	第10回日本サルコペニア・フレイル学会大会	2023.11.4-11.5
	フレイル予防事業から見えた高齢者における支援の在り方	石坂　敏彦	日本がんチーム医療研究会　第33回研究集会	2024.3.16

学術講演（2023年4月～2024年3月）

科　名	演　　題	発　表　者	講演会名及び対象	年　月　日
内血 科液	輸血が必要な高齢者の血液疾患	畑中　一生	堺市医師会主催　在宅医療懇話会/ 堺市医師会会員医師など	2023.5.27
腎臓内科	当院でのADPKD治療の現状	野津　翔輝	当院でのADPKD治療の現状	2023.4.21
	『CKD合併高血圧におけるエンレストの役割』	倭　　成史	『CKD合併高血圧におけるエンレストの役割』	2023.5.17
	『Stop透析移行！Stop CVD！～今からやる事できる事～』	倭　　成史	『Stop透析移行！Stop CVD！～今からやる事できる事～』	2023.5.18
	『心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	倭　　成史	『心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	2023.5.19
	CKD合併高血圧患者の血圧コントロール~エンレストへの期待を込めて~	岩田　幸真	CKD合併高血圧患者の血圧コントロール~エンレストへの期待を込めて~	2023.6.14
	『心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	倭　　成史	『心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	2023.7.7
	導入期加算2のために～熱意の療法選択改革～	岩田　幸真	導入期加算2のために～熱意の療法選択改革～	2023.7.20
	『心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	倭　　成史	『心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	2023.7.27
	堺市立総合医療センターでの腹膜透析の立ち上げと今後の展開	岩田　幸真	堺市立総合医療センターでの腹膜透析の立ち上げと今後の展開	2023.8.17
	CKDの鉄を考える	岩田　幸真	CKDの鉄を考える	2023.8.31
	LOKELMA Autumn Seminar	倭　　成史	LOKELMA Autumn Seminar	2023.10.31
	心腎連関の尿酸治療を考える～病型分類にとどまらない尿中尿酸/クレアチニン比の可能性～	倭　　成史	心腎連関の尿酸治療を考える～病型分類にとどまらない尿中尿酸/クレアチニン比の可能性～	2023.11.29
	「PDやりたいねん」で始めたPD診療	岩田　幸真	「PDやりたいねん」で始めたPD診療	2023.12.10
	「慢性腎臓病診療におけるカリウム管理について考える」	倭　　成史	「慢性腎臓病診療におけるカリウム管理について考える」	2023.12.12
	「ロケルマ～保存期から透析期まで～」	倭　　成史	「ロケルマ～保存期から透析期まで～」	2024.2.22
	『腎生100年時代；心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	倭　　成史	『腎生100年時代；心腎連関を意識した慢性腎臓病治療』	2024.2.28
	腹膜透析拡大中の当院での取り組み～過去から現在、未来に向けて～	岩田　幸真	腹膜透析拡大中の当院での取り組み～過去から現在、未来に向けて～	2024.2.29
代内糖 謝分尿 内泌病 科・・	これからの現場に求められるACP～内科外来での実践から見えてくること～	藤澤　智巳	堺市医師会内科医会学術講演会 堺市および大阪府の内科医会所属の医師＆医療スタッフ	2023.8.22
	かかりつけ医として知っておきたい糖尿病治療薬のﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞと関わり方のコツ	藤澤　智巳	大阪糖尿病アカデミー　大阪府南部の医師	2024.3.13
消化器内科	中等症・重症のUC治療戦略	澁川　成弘	MOCHIDA UC治療Forum～オンボー発売記念講演会～	2023.7.27
	好酸球性腸炎によると思われる回腸狭窄のため治療に難渋している一例	高橋　俊介	第14回南大阪消化器疾患何でも相談会	2023.9.7
	潰瘍性大腸炎の１例	澁川　成弘	南大阪リンヴォックUC Expert Meeting	2023.9.29
	潰瘍性大腸炎の新薬について	澁川　成弘	堺市医師会内科医会消化器談話会	2023.10.1
	消化管関連感染症	合原　　彩	大阪胃研究会レクチャー	2024.1.10
脳神経内科	パーキンソン病の在宅療養（市民公開講座）	藤村　晴俊	堺市難病支援センター	2023.5.17
	地域で神経難病を支える会 in 南大阪～レビー小体型認知症～	藤村　晴俊（総合司会）	フェニーチェ堺	2023.8.9
	ALSの自然経過とTDP-43病理	藤村　晴俊	堺市役所　会議室	2024.3.1
小児科	先天性血友病の診断・治療、エミシズマフのリスクベネフィット	岡村　隆行	Hemophilia Meeting, 医師	2023.5.23
	堺市消防局集中講義 小児科領域	岡村　隆行	堺市消防局集中講義	2023.12.21
消化器外科	一般演題01悪液質・化学療法	西川　和宏	第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会	2023.5.9
	当院における食道癌の治療戦略	川端　良平	食道癌オプジーボWEBライブセミナー	2023.5.30
	①高齢者に対する胃癌化学療法 ②胃癌治療最新情報～手術から薬物療法まで～	川端　良平	Lilly GC web seminar in Osaka	2023.6.8
	胃癌薬物療法のBest practiceについて考える	川端　良平	Gastric Cancer Seminar 2023 in Yamagata	2023.7.5
	虫垂腫瘍のすべて	能浦　真吾	第99回大腸癌研究会	2023.7.7
	急性胆嚢炎１（一般演題086）	宮本　敦史	第78回日本消化器外科学会総会	2023. 7.12-7.14
	進行食道胃接合部癌に対する集学的治療への取り組み	西川　和宏	第78回日本消化器外科学会総会	2023.7.13

科　名	演　　題	発　表　者	講演会名及び対象	年　月　日
消化器外科	噴門側胃切除の郭清と再建	牛丸　裕貴	Gastrointestinal Cancer Meeting in Osaka 2023	2023.7.19
	大腸癌薬物療法におけるLiquid biopsyの役割と薬剤の使い切り戦略	能浦　真吾	第19回南大阪キャンサーチームカンファレンス	2023.7.28
	進行胃癌に対するICI＋ケモの治療経験～外科医からの視点～	牛丸　裕貴	GCワンポイントWEBレクチャー	2023.8.1
	一般演題	宮本　敦史	エドルミズセミナー in South Osaka	2023.8.4
	周術期におけるチーム医療	川端　良平	第32回日本がんチーム医療研究会	2023.10.14
	StageⅡ、Ⅲ食道癌のBest practiceについて考える	川端　良平	食道癌薬物治療セミナー in 南大阪	2023.10.25
	胃癌薬物療法において重要な３つのこと	川端　良平	South Kinki Gastric Cancer Seminar	2023.11.7
	I-Oベースの胃癌1次治療～免疫療法の真価を考える～	川端　良平	がん免疫療法　南大阪消化器がん研究会	2023.11.10
	特別講演	宮本　敦史	堺市医療圏　がんゲノム医療フォーラム	2023.11.13
	下部悪性　適応	能浦　真吾	第36回日本内視鏡外科学会総会	2023.12.7
	食道癌１次治療におけるI-O剤の意義	川端　良平	食道癌WEBライブセミナー	2023.12.18
整形外科	地域で取り組む二次性骨折予防と神経障害性疼痛	大野　一幸	Pain Live Symposium	2023.2
	骨折の基礎知識	川本　匡規	第11回大阪整形外科basic seminar	2023.4
	大腿骨近位部骨折の合併症予防におけるリハビリテーションと神経障害性疼痛	大野　一幸	Orthopedic Surgery Web Seminar	2023.8
	地域で取り組む二次性骨折予防と神経障害性疼痛	大野　一幸	地域連携セミナー	2023.9
脳神経外科	脳卒中関連てんかんにおける臨床経験	梶川隆一郎	脳卒中診療医のためのWebセミナー（開業医）	2023.11.1
皮膚科	当院におけるアトピー性皮膚炎の治療～リンヴォック導入症例を含めて～	笹岡　佑輔	堺__地域連携の会　医師対象	2023.5.25
	アトピー性皮膚炎の治療の実際～最新治療も含めて～	田中　　文	Dermatologist Young Generation Meeting 医師対象	2023.6.6
	乾癬治療の連携について～病病連携から地域連携まで～	田中　　文	Dermatology Bridge Conference　医師対象	2023.9.14
	当院における尋常性乾癬の治療～スキリージ導入症例を含めて～	笹岡　佑輔	Sakaiスキリージ掌蹠膿疱症適応追加インターネットライブセミナー　医師対象	2023.11.16
	高齢者の皮膚悪性腫瘍　当院で経験した症例	田中　　文	第11回南大阪DERMA懇話会　医師対象	2023.11.25
外形科成	ランチョンセミナー３　吸収プレートへの苦手意識を克服するために～注意すべき点と我々が行っている工夫～	門脇　未来	第41回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会	2023. 11.9-11.10
泌尿器科	CRPCにおける化学療法の役割	高山　仁志	CRPC化学療法講演会	2023.5.19
	Urgentな症例における1stラインレジメン選択について	高山　仁志	RCC Webinar	2023.5.25
	進行性腎癌の一次治療戦略	高山　仁志	泌尿器癌薬物治療研究会in 南大阪	2023.6.23
	当科における腎細胞癌の一次治療	高山　仁志	腎細胞癌Webセミナー in 南大阪	2023.9.8
	腎細胞癌における術後補助療法について	岩西　利親	泌尿器癌薬物治療研究会in 南大阪	2023.11.15
	尿路上皮癌周術期に治療戦略	高山　仁志	Uc Adjuvant Web Live Seminar	2023.11.16
	ペンブロリズマブによる腎癌術後補助療法	高山　仁志	腎癌薬物治療講演会in 南大阪	2023.12.8
	腎細胞癌における患者背景から考える至適な薬物選択	高山　仁志	RCC Web Seminar	2023.12.14
眼科	加齢黄斑変性の病態とファリシマブへの期待	沢　　美喜	堺眼科勉強会/眼科医	2023.4.22
	実臨床におけるベオビュ　私はこう使う	沢　　美喜	AMD Expert Meeting in Osaka/眼科医	2023.4.23
	Pachychoroid neovasculopathyの眼底自発蛍光	中川　典彦	第106回阪大眼科同窓会学術講演会	2023.6.4
	ポリープ状脈絡膜血管症に対する初回アフリベルセプト併用光線力学療法の5年成績	中川　典彦	第4回 Sakai Eye seminar	2023.9.29
	堺アイセンター手術室だより	西山　一聖	第4回 Sakai Eye seminar	2023.9.29
	CSC～Pachychoroid neovasculopathy 治療タイミングを逃さない診療ポイント	沢　　美喜	第4回　Sakai Eye Seminar/眼科医	2023.9.29
	AMD治療、この1年を振り返って	沢　　美喜	Ophthalmogy Seminar	2023.11.9
	地域に密着した 市民病院におけるAMD診療	沢　　美喜	Hospital and clinic collaboration in AMD	2023.11.15
	AMD治療の長期マネジメント	沢　　美喜	Retina Short Lecture	2023.12.14
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	鼻科手術におけるキャリア形成について	赤澤　仁司	第20回大阪鼻副鼻腔研究会/医師	2023.6.9
	自発性異嗅症の取扱いについて	赤澤　仁司	Sakai ENT Seminar/医師	2023.12.9
	症例から学ぶおさえておきたい蝶形洞病変への対処法	赤澤　仁司	eNTrance2023-2024内視鏡下鼻副鼻腔手術 第4回『蝶形骨洞手術』/医師	2024.2.5

科　名	演　　題	発　　表　　者	講演会名及び対象	年　月　日
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	嗅覚過敏の実態について	赤澤　仁司	第9回嗅覚冬のセミナー/医師	2024. 3.2-3.3
	好酸球性副鼻腔炎に対する保存加療の回顧～ステロイド治療の今日的役割～	赤澤　仁司	CRSwNP 多様な治療選択肢について考える/医師	2024.3.21
歯科口腔外科	命をつなぐお口のケア　～NSTと口腔ケア～	小倉　孝文	地域NST勉強会　対象：医療介護関係者　WEB講演	2023.10.25
	口腔がんについて　～長引く口内炎？　もしかして“アレ”かも！！～	小倉　孝文	令和5年度歯ッピー健康フェア　堺市歯科医師会・堺市主催　市民公開講座　対象：市民	2023.11.23
	歯科開業医が知っておきたい口腔粘膜疾患	小倉　孝文	大阪府歯科保険医協会　堺・高石・和泉地区総会記念講演 対象：大阪府歯科保険医協会会員	2024.3.30
放射線治療科	明日から使える！緩和ケアのTIPS 放射線治療	中村　亮介	日本緩和医療学会第5回関西支部学術大会	2023.9.2
遺伝診療科	(座長)「大規模ゲノム解析を基盤とした認知症研究」 国立長寿医療研究センター研究所　メディカルゲノムセンター長　尾崎浩一先生講演	階堂三砂子	第2回堺市認知量セミナー，大阪・ハイブリッド	2024.2.3
緩和ケア科	症状緩和のための　できる！使える！　皮下投与	川端　良平	日本緩和医療学会　第5回関西支部学術大会	2023.9.2
	がん治療医が知っておきたい疼痛緩和のポイント	川端　良平	Neuropathic pain Web Seminar for Pain Clinic	2023.10.27
	がん治療におけるリハビリテーションの役割と課題	川端　良平	第32回Osaka Cancer Care Forum	2023.12.8
	患者支援/ACP	川端　良平	第33回日本がんチーム医療研究会	2024.3.16
薬剤科	3次救急病院における現状と課題	山本　圭城	大阪感染制御薬剤師研究会　／医療従事者対象	2023.5.20
	救急・災害医療における薬剤師の役割	大西　敦子	神戸薬科大学同窓会大阪支部　2023年度 第1回学術講演会/薬剤師対象	2023.6.4
	抗がん剤のフォローアップで望むこと	藤井　千賀	令和5年度大阪府病院薬剤師会第15支部6月学術講演会　／病院薬剤師対象	2023.6.15
	免疫チェックポイント阻害剤のIrAEフォローアップで望むこと	小川　直希	令和5年度大阪府病院薬剤師会第15支部6月学術講演会／病院薬剤師対象	2023.6.15
	ポリファーマシーから薬剤適正使用へ～病院の取り組みからわかったこと～	遠藤　晋吾	第6回医療薬学セミナー　～　セルフメディケーションの支援に向けて～　／薬剤師対象	2023.10.14
	腎炎（ネフローゼ症候群）	橋本　貴子	第18回O.H.P（大阪府病院薬剤師会）実務セミナー/病院薬剤師対象	2024.2.18
リハビリテーション技術科	はいかつ講座	馬淵　博之	はいかつ講座　対象：堺市民	2023.6.1
	はいかつ講座	馬淵　博之	はいかつ講座　対象：堺市民	2023.6.7
	はいかつ講座	桂　　智哉	はいかつ講座　対象：堺市民	2023.11.15
放射線技術科	「MR機器：性能評価を中心に」	木村　哲哉	磁気共鳴専門技術者認定試験直前勉強会（Web開催）／磁気共鳴専門技術者認定試験を受験予定の診療放射線技師・臨床検査技師・その他技術者	2023.9.24
臨床検査技術科	大臨技学術部　新設　総合管理部門の展望	佐々木伸也	大臨技　スタートアップセミナー　対象：臨床検査技師	2023.6.10
	ISO15189の新規格について	佐々木伸也	遺伝子病理・検査診断研究会　第11回定期報告会　対象：臨床検査技師	2024.2.3
	当院におけるタスクシフトの現状	佐々木伸也	第7回　大臨技医学検査学会　パネルディスカッション 対象：臨床検査技師	2024.2.11
	当院でのタスクシフトについて（内視鏡業務での取り組み）	橋詰　澄夫	大阪府臨床検査技師会　総合管理部門講演会/臨床検査技師	2024.2.22
	新型コロナウイルス感染症の細胞診への影響	佐々木伸也	第48回大阪府臨床細胞学会　学術集会　要望講演　対象：臨床検査技師	2024.3.2
看護局	2022年度堺ICNネットワークの実践報告 ・堺市ICNネットワークメンバーとディスカッション～5類移行後のCOVID-19対策をどう考えるか～（ZOOM開催）	松田　祥子	堺市看護管理者委員会	2023.5.23
	看護職の立場から実践する行動　変容を導くアプローチの実践	田中　順也	横浜（シンポジウム）医療従事者	2023.6.9
	看護師が行うポリファーマシー対策	田中　順也	横浜（シンポジウム）医療従事者	2023.6.16
	保存的腎臓療法	田中　順也	横浜（ワークショップ）医療従事者	2023.6.17
	手術室看護師が抱える倫理的課題 ～手術室看護師にACPの視点を育むカンファレンス～	三淵　未央	第38回環境感染学会総会	2023.7.21
	独居高齢患者の”今まで通り 家で暮らしたい”を支える支援	田中　順也	岐阜（シンポジウム）医療従事者	2023.7.22

科　名	演　　題	発　表　者	講演会名及び対象	年　月　日
看護局	リンクナースフォローアップ研修「自部署の役割モデルになるには？」 ～ロールモデルとして自部署の感染対策を進めていくための基本的な姿勢や考え方～	松田　祥子	公益社団法人大阪府看護協会　堺支部 政策・企画・看護開発部感染対策担当	2023.8.24
	認定看護管理者として取り組む新たな地域連携の形	澤田　恵美	第27回日本看護管理学会学術集会　インフォメーション・エクスチェンジ５　対象：学会参加者	2023.8.25
	家族支援専門看護師と考える　病状説明の場における家族支援	藤原　真弓	日本家族看護学会　交流集会	2023.9.9
	中小規模病院「2023年度　感染症予防対策を実践・推進できるリンクナース育成研修」	松田　祥子	公益社団法人大阪府看護協会 政策・企画・看護開発部感染対策担当	2023.9.14
	高齢者の療法選択における 意思決定支援を通じた看護師の役割	田中　順也	岡山（シンポジウム）医療従事者	2023.10.8
	腹膜透析外来開設に向けた看護師の役割と課題	田中　順也	大阪（ランチョンセミナー）医療従事者	2023.12.10
	今こそ改めて考える、ストーマの術前ケアの大切さ ～術後に繋がる予防の視点と連携～	南部真里恵	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 ランチョンセミナー　対象：学会参加者	2024.2.9
	適切な腎代替療法選択の実現に 向けて～これまでの歩みと次の一歩～	田中　順也	大阪（スイーツセミナー）医療従事者	2024.3.3
疾病予防管理センター	オトナのやる気スイッチ/カロリー計算で自己分析	田中　順也・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　令和5年度第1回出張健康教室　堺市上下水道局	2023. 5.23-5.25
	糖尿病とは？/糖尿病と運動の関係性/糖尿病と食事管理	福井　健司・牟礼　直人 東野　　玄・小林　竜也	フレイル予防事業　堺ふれようプロジェクト 第4回健康イベント	2023. 5.24-5.28
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	濱中　裕子	がん教育　高石市立高石中学校	2023.7.5
	地域住民におけるフレイルの現状　医療機関だからこそ出来るフレイル予防	石坂　敏彦	令和5年度堺市薬剤師会フレイル事業報告 堺市薬剤会会員	2023.7.19
	夏を乗り切るための運動/季節に合わせた食事の取り方	牟礼　直人・東野　　玄 小林　竜也	フレイル予防事業　堺ふれようプロジェクト 第5回健康イベント	2023. 8.20-8.25
	疑問から臨床研究へ　リサーチクエスチョンに変換	石坂　敏彦	2023年大阪府薬剤師会研修会　大阪府薬剤師会会員	2023.8.27
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	濱中　裕子	がん教育　堺市立光竜寺小学校	2023.9.13
	睡眠と健康の関係/睡眠と腰痛の関係性/いつ食べるか？	田中　順也・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　令和5年度第2回出張健康教室　堺市上下水道局	2023. 9.26-9.28
	生活習慣病予防に向けて	田中　順也・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　出張健康　株式会社シーメック	2023.10.19
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	濱中　裕子	がん教育　帝塚山学院泉ヶ丘中学校	2023.10.20
	生活習慣病予防に向けて	田中　順也・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　出張健康　株式会社明和食品	2023.11.9
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	濱中　裕子	がん教育　大阪府立泉陽高等学校	2023.11.27
	堺市における複合的フレイル予防事業　堺ふれようプロジェクト	石坂　敏彦	岐阜県地域包括・在宅介護支援センター協議会研修会	2023.12.13
	フレイル予防測定結果について/認知症予防のための運動と生活/フレイルと認知症	石坂　敏彦・牟礼　直人 東野　　玄・野村　　惠	フレイル予防事業　堺ふれようプロジェクト 第6回健康イベント	2023. 12.15-12.17
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	濱中　裕子	がん教育　堺市立新金岡東小学校	2023.12.19
	高血圧について	木本　直子・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　出張健康　株式会社シーメック	2023.12.19
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	河田　尚子	がん教育　堺市立八田荘小学校	2024.1.16
	高血圧について	木本　直子・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　出張健康　株式会社明和食品	2024.1.18
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	濱中　裕子	がん教育　堺市立家原寺小学校	2024.1.19
	「がんの正しい知識と予防に向けた生活習慣の意識づけ」	濵口　佳子	がん教育　堺市立新金岡東小学校	2024.1.25
	寒い冬は血圧にご用心！/血圧が高くなる前の対策/運動による高血圧＆メタボ対策	田中　順也・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　令和5年度第3回出張健康教室　堺市上下水道局	2024. 2.6-2.8
	腰痛・肩こり・冷え症について/食生活について	大久保多美子・小林　竜也 牟礼　直人	生活習慣病予防事業　出張健康　株式会社シーメック	2024.3.15
	オーラルフレイルについて/フレイル予防～お薬とフレイル～/肩こり・首こり対策の運動	山﨑　朋子・廣島　涼乃 藤井　一美・牟礼　直人	フレイル予防事業　堺ふれようプロジェクト 第7回健康イベント	2024. 3.27-3.30

院内研究活動（2023年4月～2024年3月）

科　名	演　　題	発　　表　　者	年　月　日
脳神経内科	2023年度　領域別アドバンス研修 第1回　高齢者対応能力向上コース　　認知症ケア研修 「せん妄の病態」	階堂三砂子	2023.8.10
	期間限定動画配信「ミドルエイジ世代に知ってほしい！生涯現役を目指したフレイル・認知症予防について」 「フレイル・認知症の予防策について～中年世代から注意する生活習慣；栄養・睡眠含む」	階堂三砂子	2024. 1.15-2.29 YouTube配信 再生回数892回
泌尿器科	泌尿器科のQQ	村本　泰治	2023.12.26
眼科	眼科救急ここをみて（初期研修医　救急レクチャー）	春藤　卓也	2024.1.9
緩和ケア科	緩和ケア　患者の痛みを多職種チームで考える（がん医療・看護研修）	山本　敏也	2024.2.1
薬剤科	がん薬物療法レクチャー：悪心・嘔吐	柳下祐貴子	2023.9.13
	堺災害医療教育研修センター主催 月例研修会 「ダイアモンドプリンセス号における薬剤師の活動」	大西　敦子	2023.9.28 2023.10.26 2023.11.16 2023.12.21
	がん薬物療法レクチャー：下痢・便秘	遠藤　晋吾	2023.10.11
	がん薬物療法レクチャー：骨髄抑制	藤井　千賀	2023.11.08
	がん薬物療法レクチャー：皮膚障害	鶴島　克将	2023.12.13
	がん薬物療法レクチャー：腎機能障害	小川　直希	2024.1.17
	がん薬物療法レクチャー特別編：大腸がん術後CapeOX療法 病院薬剤師による患者指導と副作用マネジメント	遠藤　晋吾	2024.3.13
放射線科技術	IVRにおける被ばく線量低減への取り組み	吉村　浩亮	2023.10.24
看護局	コロナ禍の面会制限における取り組み～リモート面会の効果と限界～	西　　美恵・村上　夏代 高林登志子・金山　千明	2023.6.28
	危機を転機にかえる～重症COVID-19 病床　20床を経験して～	南　　恵・谷口　孝江	2023.6.28
	治療方針の自己決定ができなくなった患者の家族への代理意思決定支援 キーワード：がん看護、代理意思決定、コロナ禍の面会制限	泉森　由羽・古谷　　緑 初田　　学・西　　美恵	2023.8.5
	抗がん剤治療の継続に葛藤があった患者との関わり	房本萌々華・古谷　　緑 山下　亜紀・西　　美恵	2023.8.5
	食事摂取が困難な幼児期前期の患児に対する発達支援と母親への関わり	中村　侑古・西村　雅美 野口　智子	2023.8.5
	猫と共存を望む壮年期腹膜透析患者の感染予防行動にむけたセルフケア支援	北川　　薫・田中　順也 時吉佐知子・舟橋　美樹	2023.8.5
	下肢機能を喪失した患者の自律を見出すことができた看護師の関わり	杢三　智美	2023.8.5
	手術室看護師が抱える倫理的課題 ～意思決定支援の視点を育むカンファレンスを通じて～	田中　美波・三淵　未央 井田真由美	2023.8.5
	クリティカル領域における世代の特徴をふまえた臨床教育プログラムの構築 ～マズローの視点からの考察～	小林　桐子・友平　裕美 白山　真愛・中野　利香	2023.8.5
	急変予測スコアの入院患者全員への活用に向けた取り組みと課題 ～リスクマネージャー会での3年間の活動～	村上　夏代・田中　順也 久保　桂子・盛上　尚子 舟橋　美紀・塩賀　朋子	2023.8.5
	救急外来における帰宅支援の取り組み	小川内弘子・米田美代子 日南川喜恵	2024.1.31
	腹膜透析を希望した独居高齢患者への継続支援～透析室看護師の支援～	西出　知子・田中　順也 杉川名保子・山﨑　優子 阿津地博子・野中　莉子 森本まどか・岩田　幸真 倭　　成史	2024.1.31
疾病予防管理センター	令和5年度第1回フレイル予防事業関係者会議　堺ふれようプロジェクト令和4年度事業の振り返りと令和5年度事業計画	石坂　敏彦	2023.7.12
	令和5年度第2回フレイル予防事業関係者会議　堺ふれようプロジェクト効果の見える化　1年間の取り組み	石坂　敏彦	2023.11.22

病　院　年　報　（令和５年度版）

編集・発行　地方独立行政法人　堺市立病院機構
法人本部 法人事務局　総務人事部 総務課

SAKAI